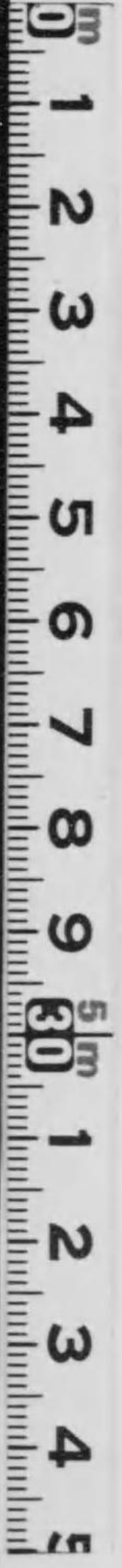


14.2a

109



始



大正三年

神戸市五業概況

344-377口



大正三年

市工業概況

神戸市役所



緒言

先年來本市工業の状態を調査し之れを刊行頒布するに
數回、今又茲に大正三年中の事實を増訂して刊行するに至
れり。惟ふに工業の振否は都市の盛衰に至大の關係を有す
是れ近來各市に於て工業を奨励するもの漸く多きを加ふ
るの傾向ある所以なり。本市の如き、由來貿易港として名を
知らるゝを以て、工業の如きは微々見るべきなきと思惟せ
るもの尠きにあらざるも、今や工産物は年額將に一億萬圓
に達せんこし、尙年々増進して已まざるものあり、本市發展
の急激なる、豈是等に負ふ所なきとせんや。然れども仔細に

其内容を察するに、其大部分は未だ幼稚の域を脱せずして改善すべきもの尙尠なからざるなり。茲に調査の結果を公表し將來の發展に資せんとする、強ち無用の業にあらざるべし。

大正四年十月

神戸市長 鹿島房次郎

例言

- 一、本書は本市工業の状態を表示するを以て目的とし神戸港貨物集散概況と相俟つて本市に於ける集散と需給の關係を知るの便に供せんとす
- 一、本書所載の事項は明治四十二年農商務省令第五十九號工場統計及縣令に基く工場票に依り大正三年一月より同年十二月末日に至る一箇年間の事實及び大正三年十二月末日現在とす
- 一、本書中職工と記せるは職工及徒弟其他作業に従事せるものにして平常就業する一日平均數とす
- 一、本書中工産物は工場票によりて調査せしも更に組合に於ける調査を參酌したるものあり
- 一、工場明細表には就業者五人以上又は原動力を使用するものゝみを輯録し

たり

一、本書の編纂は主として書記則政清吉之に當れり

大正四年十月

神戸市工業概況目次

第一章	總説	一頁
一	沿革	一
二	面積	三
三	人口	三
四	外國貿易	三
五	出入船舶	六
六	陸運	六
七	運輸貨物	七
第二章	工業の現況	一一
一	沿革	一一
二	工場と職工	一七
三	工場と動力	三三
四	石炭	三九
五	工業産物	五二

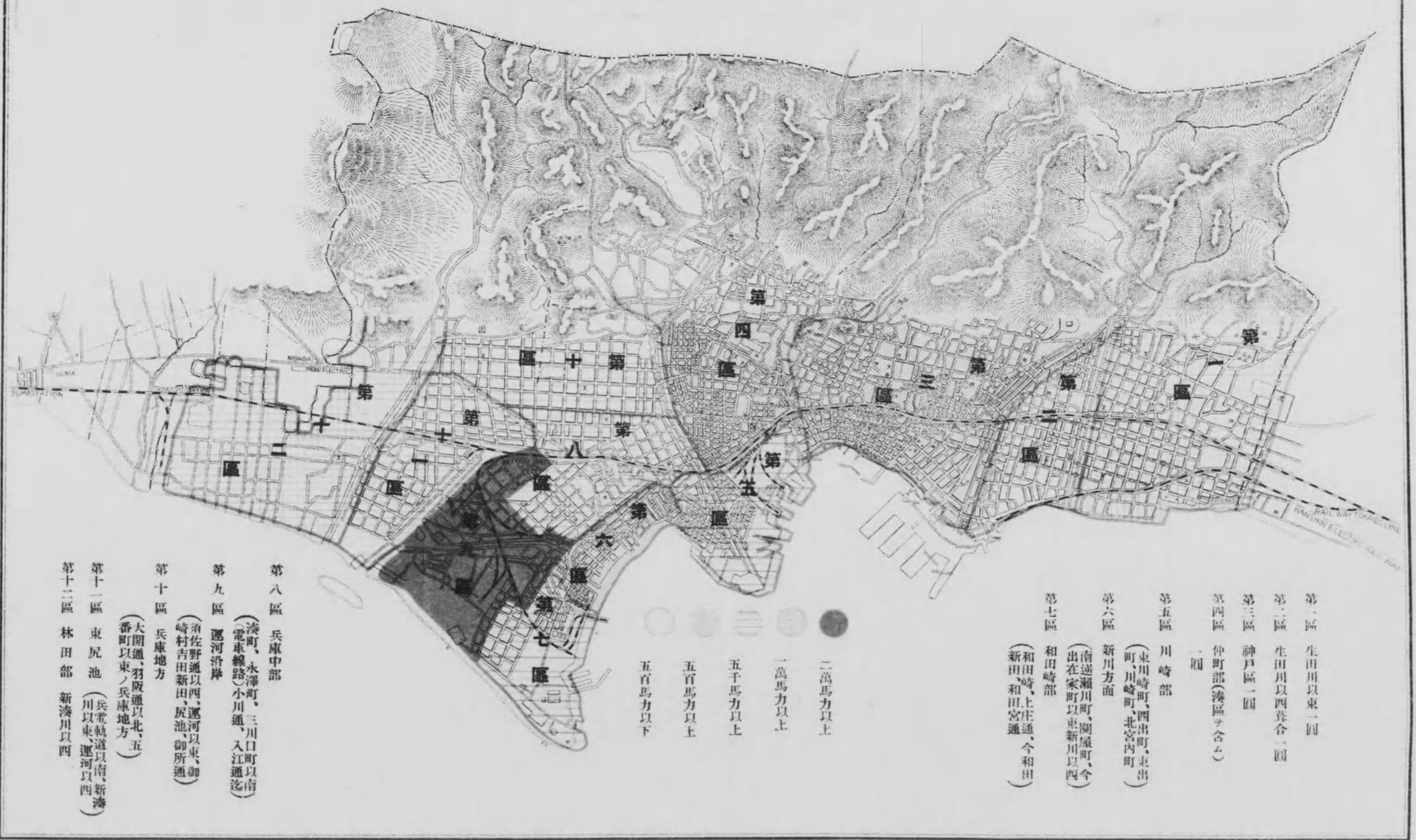
第三章	工場の分布	五九
第四章	工場法實施ノ響影	七一
第五章	將來の大勢	八三
第六章	工業會社	八五
附表	神戸市工場明細表	八九
一	染織工業	八九
二	機械工業	九一
三	化學工業	一〇二
四	飲食物工業	一一二
五	雜工業	一三四
六	特別工業	一六〇
七	官公立工業	一六一
八	工業會社	一六二

目次(終)



- 第八區 兵庫中部
(湊町、永澤町、三川口町以南
(電車線)小川通、入江通迄)
- 第九區 運河沿岸
(須佐野通以西、運河以東、御
崎村吉田新田、尻池、御所通)
- 第十區 兵庫地方
(大開通、羽阪通以北、五
番町以東、兵庫地方)
- 第十一區 東尻池
(兵電軌道以南、新湊
川以東、運河以西)
- 第十二區 林田部 新湊川以西

地域別馬力分布圖



- 第一區 生田川以東一區
- 第二區 生田川以西并合一區
- 第三區 神戸區一區
- 第四區 仲町部(湊區ヲ含ム)一區
- 第五區 川崎部
(東川崎町、西出町、東出町、川崎町、北宮内町)
- 第六區 新川方面
(南逆瀬川町、關屋町、今出在家町以東新川以西)
- 第七區 和田崎部
(和田崎、上庄通、今和田、新田、和田宮通)

- 第八區 兵庫中部
(淡町、永澤町、三川口町以南、電車線路)小川通、入江通迄)
- 第九區 運河沿岸
(須佐野通以西、運河以東、御崎村吉田新田、尻池、御所通)
- 第十區 兵庫地方
(大開通、羽阪通以北、五番町以東)兵庫地方)
- 第十一區 東尻池
(兵電軌道以南、新湊川以東、運河以西)
- 第十二區 林田部 新湊川以西

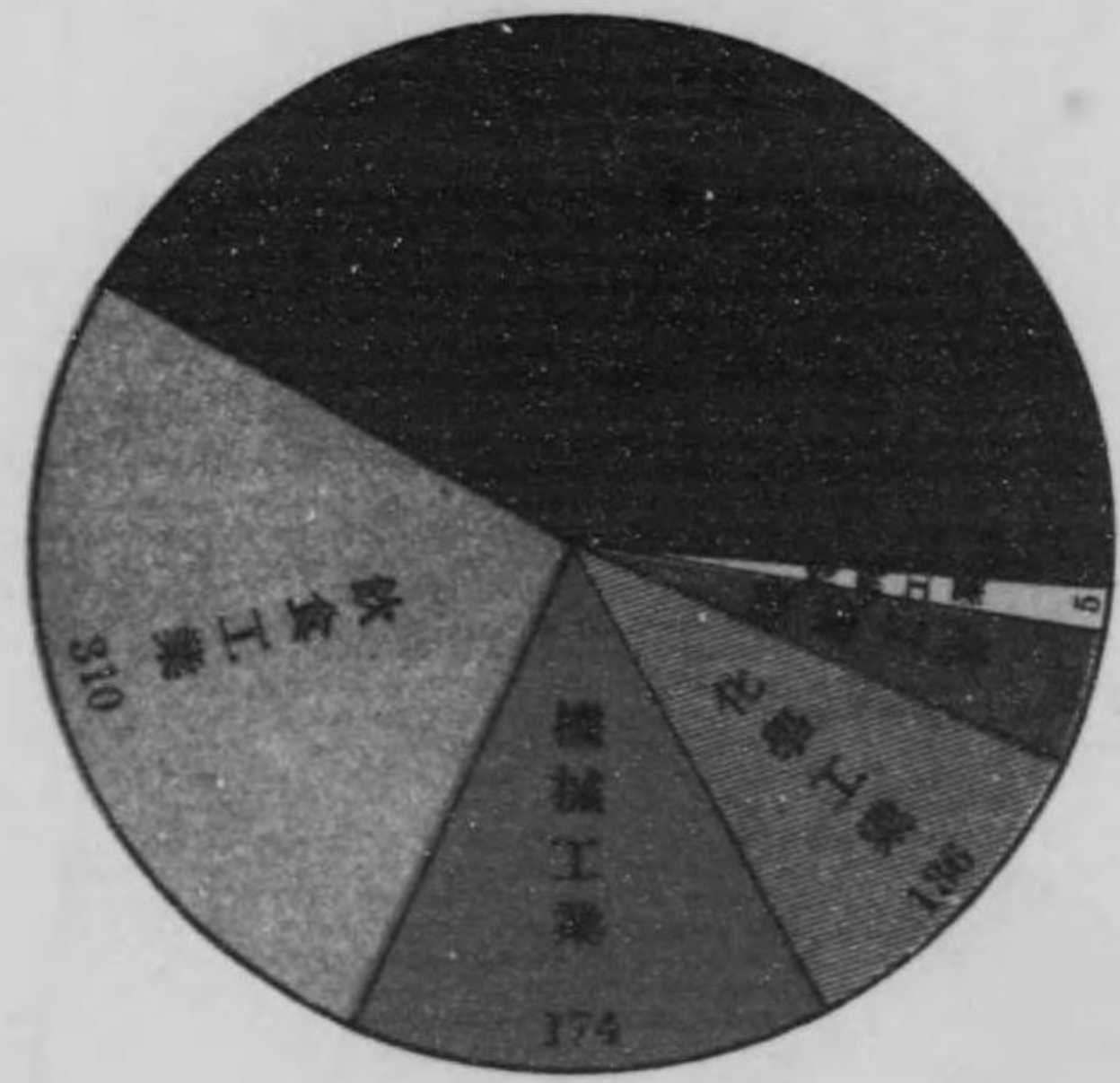
地 域 別 馬 力 分 布 圖



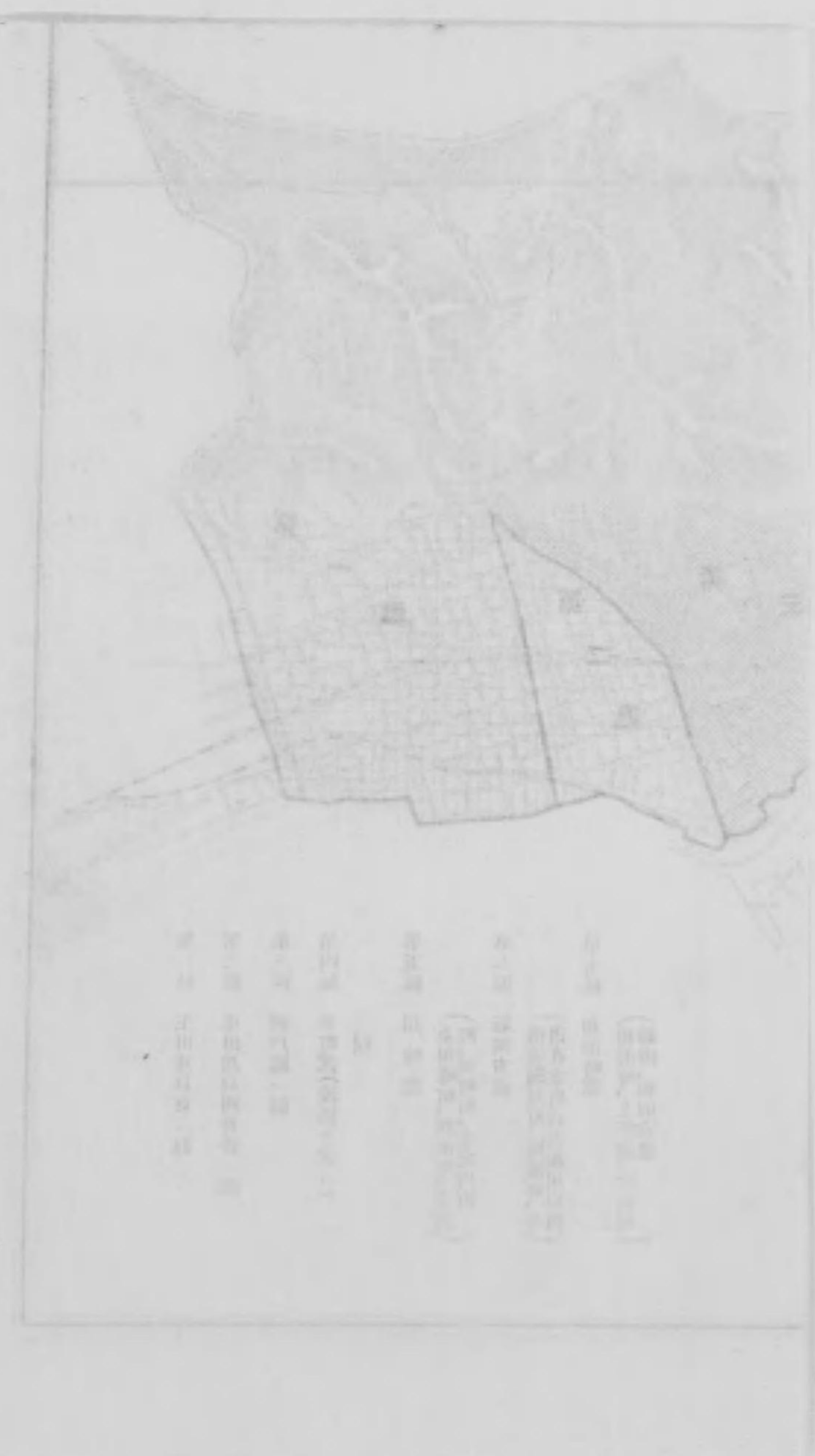
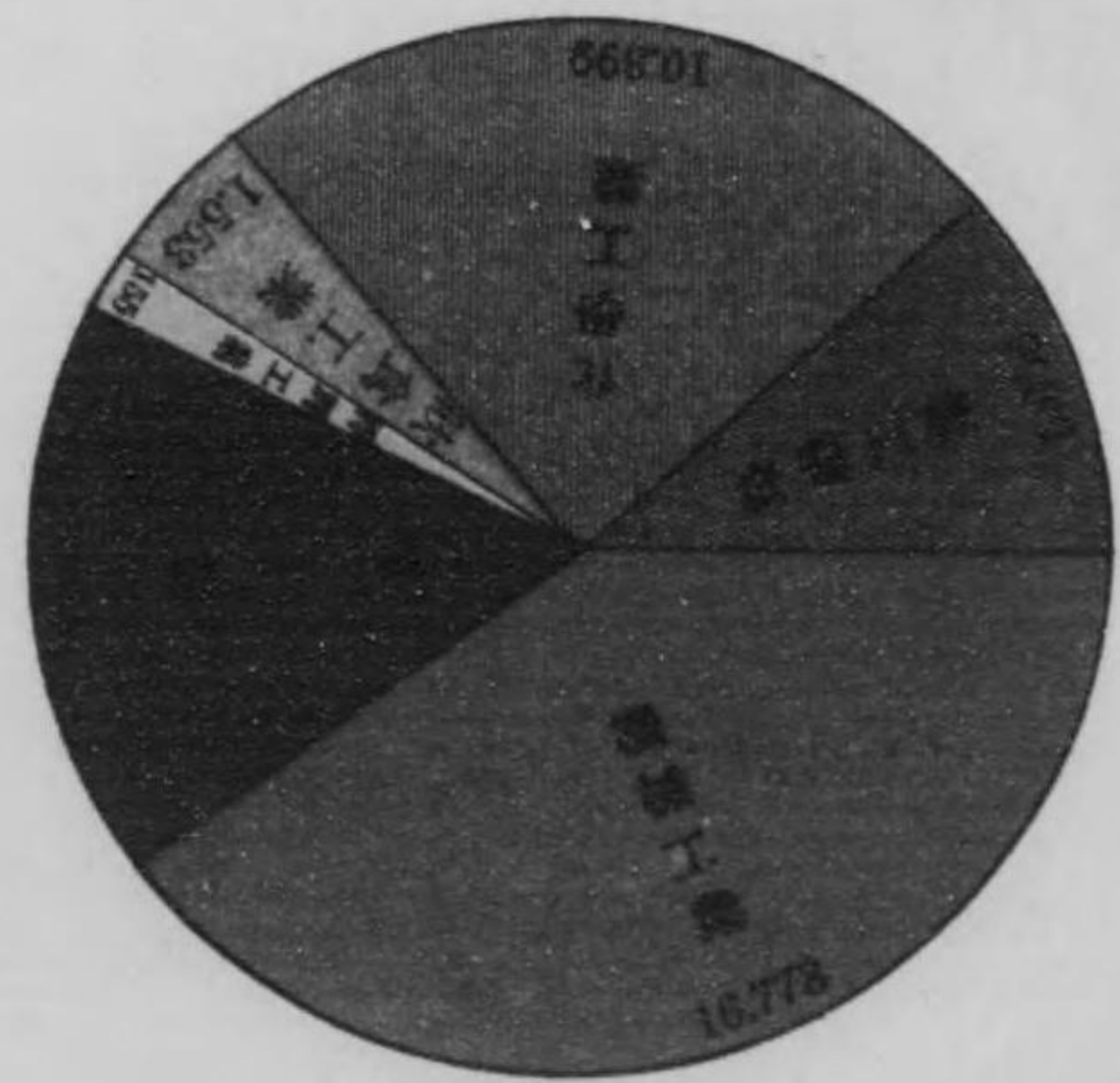
種類別工場及職工

大正三年十二月末日現在

工場



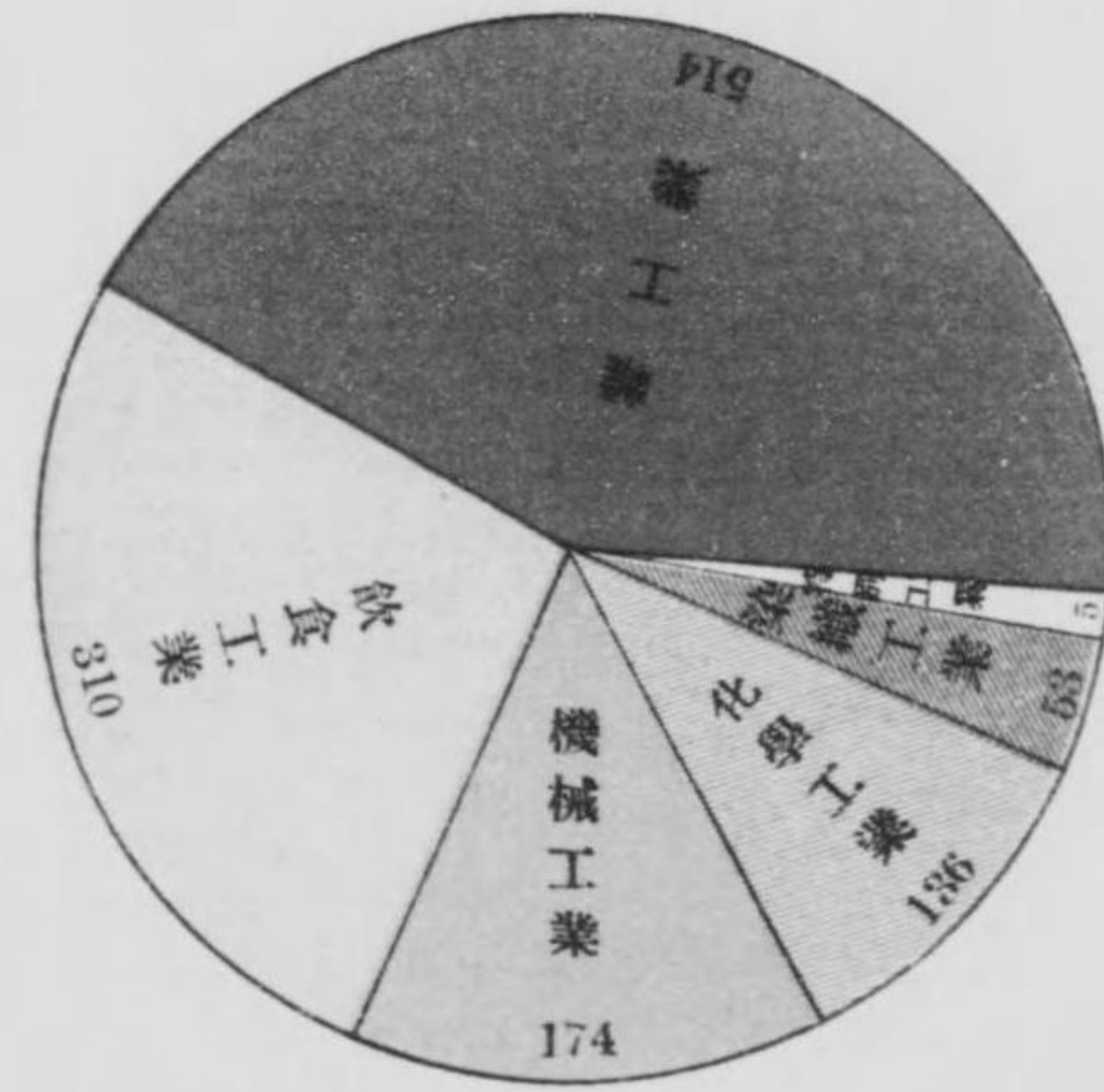
職工



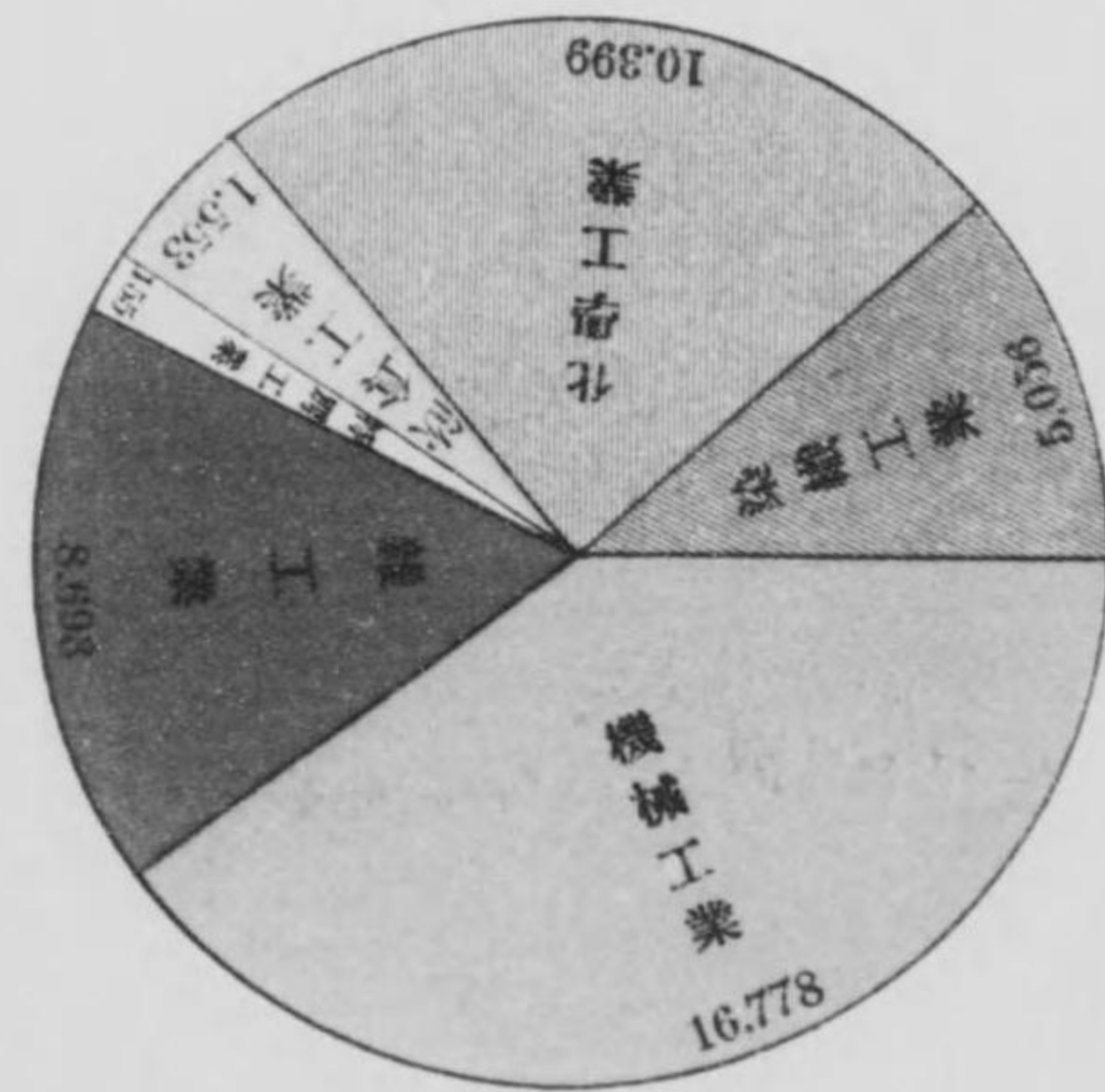
工職及場工別種類

在現日末月二十年三正大

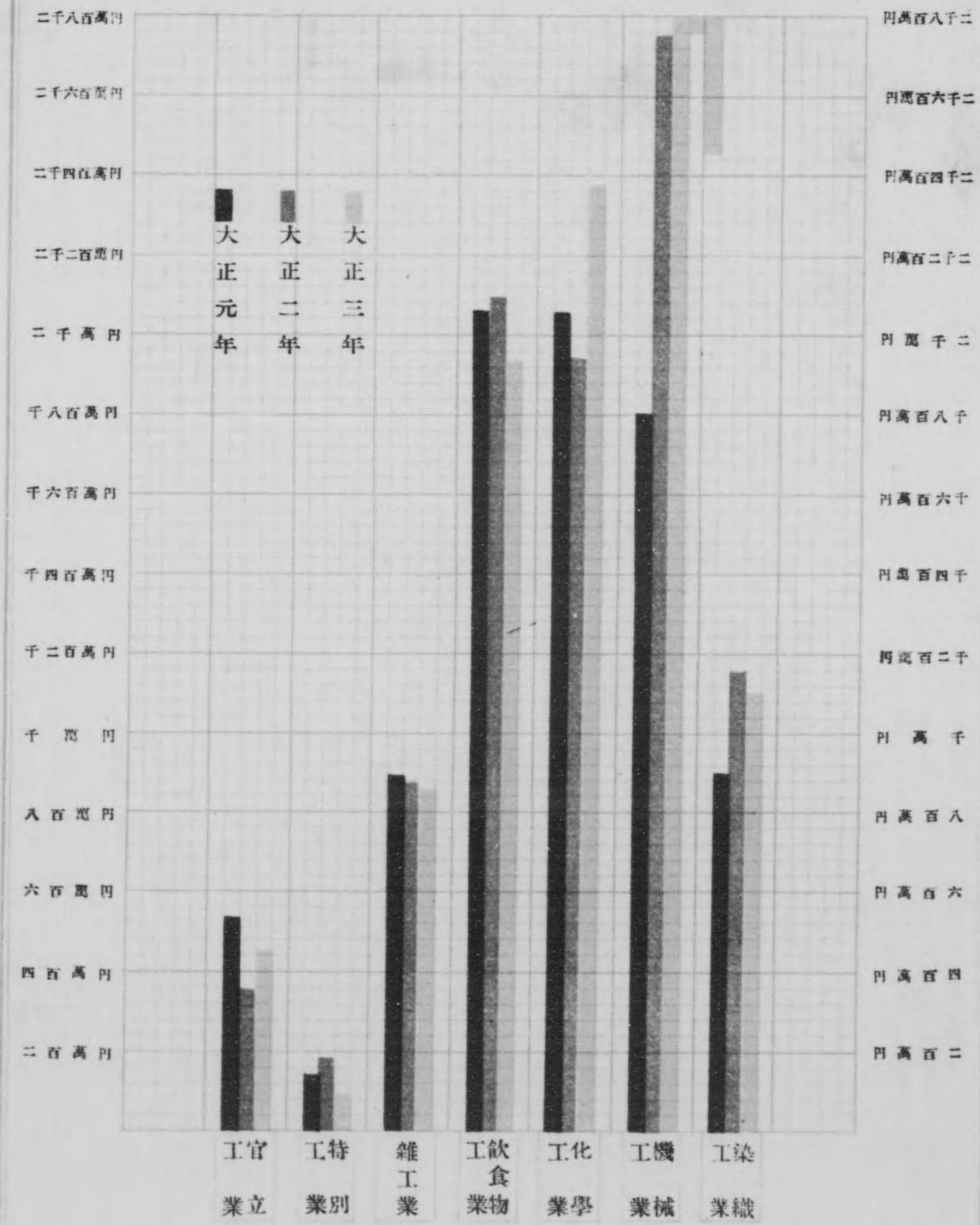
場 工



工 職



表年累額產工別類種



神戸市工業概況

第一章 總 說

我神戸市は北緯三十四度四十一分東經百三十五度十一分に位し北は東洋の避暑地として有名なる六甲連峰の支脈を限り南は風光明媚なる瀬戸内海に臨み東には大阪市を控へ且つ舊都たる京都市に近く西には天然の公園たる須磨舞子に接したる近代發達の大都會とす

一、沿革

神戸市は古來關西の市場として維新前既に發達したる兵庫と維新前迄一寒村たりし神戸との二部より成る兵庫は遠く天平の昔約千八百十年前に於て大輪田泊として當時既に名を知られ後源平時代に兵庫港修築の事あり治承四年約七百三十五年前平清盛に依りて選定せられたる福原の都は即ち兵庫にして遷都後一箇年諸般の設備未だ成らざるに直ちに舊都とはなれり其後兵庫の盛衰は一張一弛



の大勢を免れざりしも豊臣氏大阪城を築きたる以來百貨輻輳の盛を見るに至り爾來國運の進歩に伴ひて益其勢を加へ寶永年間には町數四十四箇町に達し百貨輻輳の巷となり爾來三百年間米穀肥料の集散地として全國の米穀肥料は其大部分を兵庫に於て取引せらるゝ盛況を呈し兵庫に於ける價格の高低は即ち全國に於ける取引の標準として用ひらるゝに至れり

神戸は維新前に在りては中國街道に沿へる走水二ツ茶屋及び神戸の三村落にして戸數僅々千戸に満たざる寒村なりしが慶應三年十二月七日兵庫開港と共に外國人居留地運上所倉庫等を設けらるゝに及び稍市街の觀を呈するに至り明治元年神戸町と改稱し港を神戸港と稱したり明治十一年郡區町村編成發布と共に初めて兵庫と合併して神戸區と稱し同十二年四月神戸市となれり明治二十九年附近の村落を市に編入して以て現今の區域に擴大したり

斯の如く神戸市の古來商業都市として發達したるは位置の適當なると港灣の良好なるに基くものにして維新以來急激に發展したるは全く世運の進歩に伴ふものとす今や神戸港は東洋の關門として内外交通の要衝に當り百貨輻輳し取引の

二

般盛なる亦驚くべきものあり加之築港の事業は陸上設備と防波堤を除き他は殆んど竣工せんとするあり之と同時に海陸の連絡完成するに至らば東洋に於ける貿易港として上海を凌駕する亦遠きにあらざるべし

二、面積

神戸市は東西二里七町餘南北一里餘にして面積二方里三九とす

三、人口

明治二十二年末に於ける人口は十三萬四千餘戸數三萬三千餘に過ぎざりしが大正三年末に於ける人口四十五萬七千百十六人戸數十萬六千四百四十四戸に増加したり

在留外人の數は總て三千九百〇三人にして内支那人最も多く二千八百二十二人を算し英國人五百十人獨逸人百八十六人之に次ぎ北米合衆國人百十二人葡萄牙人六十六人佛蘭西人三十六人印度人三十五人西班牙人二十二人丁抹人二十一人和蘭人十八人及び其他十箇國人あり

四、外國貿易

三

本市の貿易港として異常の發達を遂げたるは地位上海運の便優秀を占めたると陸上の交通亦至らざるなく全国各地との聯絡頗る便利にして原料品及び製産品等物資の集散極めて至便なるに由るものにして今や全國三十六の開港中最も首位を占むるに至れり今其發達の狀勢を見るに明治十一年に於て當港輸出入總額は僅かに壹千貳百萬圓に過ぎざりしもの二十一年には四千貳百萬圓にして三十一年には壹億九千八百萬圓の多きに達せり其後増進の比例は此趨勢を改めず逐年累進して四十一年には實に貳億七千五百萬圓の巨額を算するに至れり今之を貿易港として同時に發達したる横濱港と對比し當港發達の狀況を示さんとす即ち左の如し

神戸、横濱港外國貿易比較表 (單位千圓)

年次	輸 出		輸 入		貿 易		總 額
	神戶港	横濱港	神戶港	横濱港	神戶港	横濱港	
明治十一年	六三三	一五二	六〇七	二四八	一三三	一三三	四〇一
同 十六年	五八五	二六〇	七〇〇	一九三	一三〇	一三〇	四〇一
同 二十一年	一八三	四〇一	二〇七	五九	一七六	一七六	七七〇
同 二十六年	二四九	五二〇	四一九	三〇	一七〇	一七〇	九一四

同 三十一年	六〇一	八〇二	二八二	一一〇	一八八	一八八	二九三
同 三十六年	九〇五	一四六	一五三	二〇八	二〇八	二〇八	二七四
同 四十一年	八二一	一九〇	一九〇	一五八	二七五	二七五	三〇九
同 四十二年	一〇〇	二〇	一八	一〇〇	二六八	二六八	三六二
同 四十三年	一三二	三三	三〇	一五	三三	三三	三九
同 四十四年	二〇	三八	二七	一八	二七	二七	三九
大 正 元年	一五〇	一七	一五	二五	二五	二五	三九
同 二年	一七〇	二六	三〇	三三	三三	三三	三九
同 三年	一七五	二六	三六	三三	三六	三六	三九

以上の如く明治十一年に於て當港貿易總額は横濱港の三分の一に達せざりしもの二十一年には半額以上に上り三十一年には横濱港を凌駕すること殆ど七百萬圓を超へたり而して以降迄は年額壹百萬圓を超過したりしも其後四十年迄の間は常に横濱港優勢にして四十一年以降互に上下し大正三年は横濱港の四億四千八百萬圓に比し約百萬圓を超過したる貿易額を見るに至れり然れども輸出に於ては横濱港に及ばざる事遠し之れ本邦輸出品中最も首位を占むる生絲輸出は全然横濱港に於て取扱はるゝに因するものにして輸入は明治二十六年以降遙かに横濱港を超越し輸出入總額は實に全國第一とす

五、出入船舶

大正三年中に於て神戸港に出入したる船舶は二萬九千五百六十九隻にして搭載貨物四百九十七萬八千五百十二噸とす左に明治四十四年以降の出入船舶を表示すべし

出入船舶累年表

年	内國		外國		合計	
	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
明治四十四年	二七五三	四六七七六	二五〇四	五七四三〇	一四二五七	一〇四二〇六
大正元年	二九七五	四九三六七	二四四八	五五九六三	一四四二二	一〇六四三〇
	二六三三	四八三二七	二六七〇	六三九六七	一四二九二	一〇三三〇八
同二年	二七四九	五〇三三〇	二五七	六二五七〇	一四二六六	一〇三〇九八
	二六九八	四九二三八	二八五	七一〇一五	一四五五二	一〇三三三六
同三年	二八三九	五二六二四	二六六	六七八三四	一四五〇五	一〇四四八
	二八〇四	五二〇一九	二七五	六六七七〇	一四七二九	一〇六七〇八
同四年	二八三三	五二〇三九	二七九	六六八二五	一四七九〇	一〇九八八六

六、陸運

陸上交通及び運輸の機關たる鐵道は東は東海道線西するものは山陽線の基點に

して山陰線との連絡は西は姫路東は神崎に於て聯絡の便あり而して市内には既に延長八哩三十六鎖の鐵道と七哩五十鎖の市街電氣軌道あり
大正三年度中の鐵道旅客乗降總數は六百九十五萬三千九百三十二人にして貨物の發著噸數百十五萬九千八百五十四噸とす其詳細左の如し

年	旅客		貨物	
	乘車	降車	發送	到著
三	七一九、〇〇四	六七三、六〇二	一〇、一〇六	二二、三七七
神	一、二五四、〇〇〇	一、三〇一、三三三	二三八、九七一	一八八、三四七
兵	九九八、〇〇二	一、〇〇一、七八〇	一一一、六六六	一五〇、一四六
鷹	一六六、二〇一	一六六、八二七	一三、二三七	三三、九〇三
鐘	三七、五二八	三〇、八一七	—	—
和	三〇五、九八三	二九八、八六五	一一五、八五四	一七、二八三
新	—	—	七八、二四七	四八、六〇一
野	—	—	八六、三八一	四四、七三五
計	三、四八〇、七一八	三、四七三、二一四	六五四、四六二	五〇五、三九二
大正二年	三、三四〇、二三三	三、三三五、四一四	五六九、二四七	三六六、七七六
同元年	三、二〇〇、二八二	三、二〇二、七二八	五四二、五七六	三八六、三〇六

七、運輸貨物

八
神戸港に於ける集散貨物の總噸量は五百八十二萬八千九百九十九噸にして到着三百三十萬五千六百十五噸發送二百五十二萬二千四百八十四噸とす之を前年に比するに到着に於て六十三萬五千四百二噸發送に於て四十四萬九千三百噸合計百萬四千七百二噸の大激減を見るに至れり此くの如く輸出入共に著しく遞減したるは下半年に於て歐洲諸國の戰亂に因由し一時輸出入の杜絶と其後船腹の不足等に因て以上の結果を生じたるものとす而して外國貿易に於て其影響最も著しく就中到着に於ては實に五十二萬三千三百九十二噸を減じ沿岸貿易亦九萬六千八百四十七噸陸運に於て一萬五千六百六十三噸を減少せり發送に於ては外國貿易一萬九千二百九十八噸沿岸貿易三十五萬八千七百二十九噸陸運七萬一千二百七十三噸を減少せり之に依りて見るに外國貿易に於て發送は到着に比し其減少の歩合甚しく輕微なるは到着に於ては從來輸入に其供給を仰ぎつゝありたるものは殆ど自給するに至りたるを發送に於ては歐洲戰亂の結果從來歐洲品の専ら需要せられたる市場及び其他本邦商品と輸贏を競ひつゝありたる市場の歐洲品の輸入杜絶に由り其反動として本邦商品に好況を與へたるに基因するものとす然

れども發送に於ても尙前記の如く前年に比し減少したるは一時海上の危險及び爲替關係及船舶の逼迫等に因つて輸出意の如くならざりし結果とす沿岸貿易に於ては外國貿易と正反對に發送は到着に比し其減少の歩合甚大なりとす元來外國貿易殊に輸入品に對する吾神戸港は本邦に於ける殆ど仲次の地位にあるものにして當港に輸入したる物資は之を各地に轉送するものなれば曩に記述したる如く外國貿易の到着に於て著しく減退したる結果延ひて内航荷物の發送に於て大なる減少を誘致したるものとす今其内容に於て觀るに海外輸入品に就ては總てに於て減少したるも其影響の稍大なるものは食料品に於て米の十一萬噸煉乳の六百噸食鹽の六百噸原料品に於て硝酸曹達の三千三百噸原料用製品に於て鹽酸加里の六百噸アニリン染料の千二百噸銑鐵の五萬六千六百噸アンタル形鐵條竿一萬七千七百噸鐵板の一萬六千五百噸葉鐵千八百噸鐵線二千七百噸鐵筒六千四百噸鉛塊千四百噸を減じたるを主なるものにして沿岸貿易の發送に於ては食料品中外國米の一萬四千二百噸稗麥一萬六千七百噸砂糖の三萬八千七百噸食鹽の三千噸海產物九千七百噸原料品に於て燐礦石一萬七千九百噸人造肥料六千九

百噸棉實油粕七千百噸原料用製品染料に於て六百噸鐵材一萬四百噸を減じたるを主因とす然れども麥粉及穀の六萬三千四百噸種粕二千八百噸其他肥料二千五百噸硝石一萬一千四百噸曹達四千五百噸和紙三千六百噸燐寸一萬一千六百噸の増加を見たるは本市工業の戰亂に由り大なる打撃を蒙りたるにも不拘如此現象を呈するに至りたるは工業の實著に發達を遂げつゝあるを證するものにして最も意を強うするに足る左に神戸港最近三箇年間の集散貨物の數量を表示すべし

神戸港集散貨物噸量表 (單位噸)

到著	大正三年		大正二年		大正元年	
	噸數	千分比例	噸數	千分比例	噸數	千分比例
水運	179,936	53.3	226,280	57.5	220,801	51.0
外國貿易	119,956	33.6	179,121	38.6	180,126	40.2
沿岸貿易	59,980	16.7	47,159	11.9	40,675	9.8
陸運	351,633	100.0	366,767	91.3	366,306	82.6
外國貿易	330,565	94.0	349,107	95.2	347,135	94.8
沿岸貿易	21,068	6.0	17,660	4.8	19,171	5.2
計	321,574	100.0	392,467	100.0	401,107	100.0
水運	109,968	34.2	110,626	28.2	100,179	25.0
外國貿易	93,353	29.0	119,251	30.4	101,836	25.4
沿岸貿易	16,615	5.2	9,375	2.4	9,343	2.3
陸運	497,970	153.8	592,247	151.0	551,228	137.5
外國貿易	253,344	77.2	291,764	74.4	256,131	63.9
計	313,936	100.0	371,843	100.0	370,929	100.0
水運	280,426	89.3	333,116	89.8	326,990	88.2
外國貿易	226,066	72.0	253,632	68.2	243,633	65.7
沿岸貿易	54,360	17.3	80,484	21.6	83,357	22.5
陸運	89,510	28.4	98,727	26.6	94,939	25.7
外國貿易	89,510	28.4	98,727	26.6	94,939	25.7
計	313,416	100.0	371,564	100.0	370,868	100.0

合計	大正三年		大正二年		大正元年	
	噸數	千分比例	噸數	千分比例	噸數	千分比例
水運	280,426	89.3	333,116	89.8	326,990	88.2
外國貿易	226,066	72.0	253,632	68.2	243,633	65.7
沿岸貿易	54,360	17.3	80,484	21.6	83,357	22.5
陸運	89,510	28.4	98,727	26.6	94,939	25.7
外國貿易	89,510	28.4	98,727	26.6	94,939	25.7
計	313,416	100.0	371,564	100.0	370,868	100.0

第二章 工業の現況

一、沿革

本市に於ける工業は開港前に於て稍々繁盛なりし兵庫に於て往昔より家内工業として多少存したりしも未だ工場として見るべきもの殆ど存せざりし爾來運々として甚だ振はざりしも慶應三年開港と共に逐年外國貿易の發達に従ひて各種製産工業物々として起り輸出屏風竹器造船燐寸の工場最も早く創設せられ年々逐ふて増加したりしも明治二十三年に於て工産總額漸く百萬圓に過ぎざりし其後次第に増加し明治二十九年には工場數三百十二箇所職工數二萬千餘人の多きに達せり由來外國貿易は著しき趨勢を以て増進し貿易品の製産及び市の膨脹に伴ひ物資の需用漸く増大するに従ひ製産工業の發達著しく年々を逐ふて頗る順調

に増加したり其間日清日露の兩戰役あり北清事件清國革命動亂及びボイコット等商工業上幾多の變遷に遭遇したりしも未だ從來増加の趨勢を枉げず殆ど昇天の勢を以て發達し大正三年末に於て工場數千九百九十二箇所職工數四萬二千六百三十四人原動力一千四百四馬力數七萬五千六百二十八馬力九にして工産額實に九千五百貳拾四萬貳千參百六拾五圓の多きに達し今や本邦輸出入貿易港として一頭地を抽きたる如く製産工業亦其傾向を辿らんとす以下順を逐ふて記述すべし

大正三年中新に創設せられたる工場數は大小百三十二箇所職工數男四百七十二人女六百四十三人合計一千百十五人にして内動力を使用するもの百九箇所原動力百十六馬力にして馬力數三百六馬力半とす

更に本市内に現存する工場數一千百九十二を創立時期に依り區分すれば明治二十年以前の創設に係るもの六十同年以後明治三十年迄のもの百八同年より四十年迄のもの二百九十九其他七百二十四箇所の工場の内創設不明四十八を控除したる残り六百七十六箇所は四十年以後の設立とす今之を表示すれば左の如し

私立工場創始年別表

創立年別	工場數	創立年別	工場數
明治二十年以前	六〇	明治四十一年以後	六七六
同三十年以前	一〇八	不詳	四八
同四十年以前	二九九	計	一、一九二

尙各種類別私立工場を創立時期に分類すれば左の如し

種類別私立工場創立年別表

種 類	種 別			
	明治二十年以前	明治三十年以前	明治四十年以前	明治四十一年以後
染織工業	—	—	—	—
紡績	—	—	—	—
製綿	—	—	—	—
織物	—	—	—	—
染物	—	—	—	—
整理其他加工	—	—	—	—
編物	—	—	—	—
刺繡	—	—	—	—
計	—	—	—	—

雜	水	燻	罐	飴	菓	水	礦	製	精	製	精	釀	飲	小	雜	人	漆	石	ク	護		
產													食	物	造	及	塗	鹼	護			
品	肉	詰	子										業	計	料	料	鹼	鹼	鹼	鹼		
一	四			二			二	二	一		一	六	二			一	一					
二	二			二		一	一	六	一		一	八										
三	四		一	三		一	五	二	六		六	四	五	二	一		一					
六	七	一		五	四	三	一	二	二	六	一	一	三	六	一	二	六	一		一	〇	
	二							八			一	六	一									
二	一	九	一	一	五	一	三	四	〇	八	三	一	二	一	三	六	七	七	一	二	四	〇

一五

樟	製	木	薄	製	煙	雷	燐	製	製	窯	化	小	金	器	諸	車	船	機	小			
腦	茶	蠟	荷	油	火	管	寸	料	紙	業	學	工	屬	機	具	械	輛	舶	業			
計											計	業	業	業	業	業	業	業	業	業		
						一			一	一	二	四	四	一	二		五					
一		一				九		一	五	一	五	七	二	三		三	九					
四	七		二	三		一	五		三	六	五	六	二	七	一	七	七	三	一	三		
一	〇	三		三	一	一	一	二	四	六	九	〇	三	九	七	三	六	六	二	二		
									二	二	二	一							四			
六	七	四	二	六	一	一	三	六	二	〇	〇	一	七	四	三	〇	四	五	一	二	五	三

一四

種類	明治二十年		明治三十年		明治四十年		明治四十一年		不詳	計
	前年	前年	前年	前年	後年	後年	後年			
小計	一三	一六	四九	二二	一一	一一	一一	一一	一一	三〇
雜工業										
印刷及製水										
紙製	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
燐寸軸木										
燐寸小函及木										
竹材	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
桶樽	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
箱類	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
家具	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
木竹莖莖製品	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
皮革製品	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
羽毛製品	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
貝製品										
麻類										
玉石類製品										
口類										
蘭蔴其他數物										
船具	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
雜具	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

種類	特別工業		合計
	電氣	瓦斯	
小計	二五		二五
特別工業			
電氣			
瓦斯			
小計	二五		二五
合計	六〇		六〇

二、工場と職工

本年末現在に於て本市内に現在する工場は一千百九十二箇所にして之に従事する職工徒弟等總ての就業者は四萬二千六百三十四人トス其詳細左ノ如シ

種別	工場		計
	数	男	
私立工場	一、一九二	二、八五三	四、〇四五
官立工場	八	二、四三三	二、五三九
學立工場	一	一五	一六
監獄	一	一、三六八	一、三六九
計	一、二〇二	三〇、六六九	四六、五六四

尙ほ工業の種類別に依り分類するに私立工場中最も多きは雜工業の五百十四に

して之に次ぐを飲食物工業の三百十機械工業の百七十四化學工業の百三十六とす而して就業者の最も多きは機械工業にして一萬六千七百七十八人に次ぐ之を化學工業の一萬三千九十九人雜工業の八千六百九十三人染織工業の五千五百六十八人とす其詳細を示せば左表の如し

種別	工場數		職工數		平均
	男	女	計	職	
紡績	151	224	375	4,836	36
織物	122	277	399	5,213	38
染物	121	333	454	4,737	43
整理其他加工	11	133	144	1,616	8
編物	1	4	5	94	7
刺繡	1	1	2	7	4
小計	388	1,176	1,564	20,566	95
船舶	12	68	80	1,940	78
車輜	15	43	58	2,222	48
諸機械	54	7	61	2,222	15

種別	工場數		職工數		平均
	男	女	計	職	
窯業	20	137	157	602	25
製紙	10	46	56	148	4
製糖	36	182	218	778	9
煙草	1	4	5	21	1
薄製	1	4	5	21	1
木製	1	4	5	21	1
製樟	1	4	5	21	1
護膜	1	4	5	21	1
石	1	4	5	21	1
漆及塗	1	4	5	21	1
人造肥料	1	4	5	21	1
雜小計	136	733	869	3,399	26

明治四十四年	大正元年	大正二年	合計	特別工業		工業																									
				瓦斯	電氣	小計	雜業	船舶	問雜	口	玉石	麻	貝類	羽毛	皮革	木竹	家器	箱類													
五七八	七三〇	八五一	一、一九二	五	二	三	五	一〇	七	六	二	七	五	五	四	五	一	〇	二	三	二	五	〇	一	九	六	七				
一七、九九九	一三、三七六	二二、九七一	二六、八五三	一	五	七	四	三	二	〇	四	五	二	〇	二	四	九	八	七	六	四	七	九	一	一	六	三	三	〇		
一一、六八二	一二、三三四	一三、五五五	一五、七八一	一	一	一	四	三	七	三	四	三	二	九	二	五	九	一	〇	二	一	〇	二	五	五	一	八	二	二	六	
二九、六七九	三五、七一〇	三六、五二六	四二、六三四	一	五	七	八	六	九	三	八	八	七	二	四	四	一	八	二	五	一	六	九	〇	一	一	八	一	一	六	六
五	四	四	三	三	一	二	一	六	八	四	一	七	二	九	五	三	三	三	五	六	二	一	三	六	五	三	六	五	三	五	六

雜	飲食物工業											區別																				
	小計	雜物	水肉	煙詰	罐詰	菓子	水	礦	製粉	精穀	製茶		精糖	釀造																		
八	五	三	二	一	八	一	六	〇	三	一	〇	二	九	一	一	五	一	三	四	〇	二	八	三	一	二							
二	二	〇	六	六	二	二	二	六	五	三	三	六	四	七	五	八	一	八	六	四	三	七	六	一	五	三	〇					
四	八	五	六	七	一	二	三	八	一	七	一	一	〇	六	七	三	四	九	〇	五	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二	二	〇	七	一	八	一	九	三	一	〇	三	六	五	四	七	一	六	四	二	五	九	四	八	六	一	六	五	四	一	一	一	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

更に職工の多少によりて各種工場を分類するに最も多きは就業者四人以下の工場にして總數に對する四割八歩強に當り之に次ぐを五人以上十人未満の工場にして二割一步強とす以下就業者の増加に従ひて工場數は遞減し百人以上の就業者を有するものは百分の四に過ぎず之を細別すれば左の如し

使役職工數別工場表

動力を使用するもの	動力を使用するもの			動力を使用しないもの			計			百分比例		
	大正三年	同二年	元年	大正三年	同二年	元年	大正三年	同二年	元年	大正三年	同二年	元年
四人以下	三三	九	六	二四	一六〇	一〇〇	五八	三九	二九	一〇〇	一〇〇	一〇〇
五人以上十人未満	二二	三	五	一六	一八	二四	二二	二一	一八	一〇〇	一〇〇	一〇〇
十人以上二十人未満	九	五	五	六	五	七	一〇	九	九	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二十人以上三十人未満	四	三	三	一	一	一	五	四	四	一〇〇	一〇〇	一〇〇
三十人以上五十人未満	三	三	三	一	一	一	三	三	三	一〇〇	一〇〇	一〇〇
五十人以上百人未満	三	三	三	一	一	一	三	三	三	一〇〇	一〇〇	一〇〇
百人以上二百人未満	二	二	二	一	一	一	二	二	二	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二百人以上五百人未満	二	二	二	一	一	一	二	二	二	一〇〇	一〇〇	一〇〇
五百人以上千人未満	二	二	二	一	一	一	二	二	二	一〇〇	一〇〇	一〇〇
千人以上	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇	一〇〇	一〇〇
計	七五	三九	三四	四七	四九	四六	一一	八五	七〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

更に之を各種工業に細別するに左表の如く就業者千人以上を有するものは紡績船舶車輛にして五百人以上なるは燐寸、護謨とす而して百人以上五百人以下の就業者を有するものは諸機械窯業、燐寸、製油、樟腦、護謨、人造肥料、精糖、製粉、印刷及製本、紙製品、燐寸、軸木、木竹、莖、製品業、貝卸、麻、真田等とす

職工人員別各種工場表

△印は動力を使用せざるものを示す

業	千人以上		五百人以上千以下		二百人以上五百以下		百人以上二百以下		五十人以上以下		三十人以上以下		二十人以上以下		十人以上以下		五人以下		四人以下		計			
	紡績	製綿	織物	染物	整理其他加工	編物	刺物	小計	紡績	製綿	織物	染物	整理其他加工	編物	刺物	小計	紡績	製綿	織物	染物		整理其他加工	編物	刺物
紡績	一																							
製綿																								
織物																								
染物																								
整理其他加工																								
編物																								
刺物																								
小計																								
計	一																							

製 煙 雷 礮		製 紙 原		製 業		金 屬		器 具		諸 機		車 輛	
油	火	管	寸	料	紙	業	屬	具	械	輛	油	火	管
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
三五〇〇	三八〇〇	三八〇〇	三五〇〇	四三〇〇	三八〇〇	二五〇〇	八〇〇〇	三〇〇〇	七〇〇〇	三五〇〇	七〇〇〇	三四〇〇	八〇〇〇
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
三二〇〇	六〇〇〇	二二〇〇	二七〇〇	四五〇〇	五〇〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	二二〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	七〇〇〇
三〇〇〇	五五〇〇	一五〇〇	二五〇〇	四〇〇〇	二〇〇〇	三三〇〇	二〇〇〇	三五〇〇	二二〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	一六〇〇

船 刺		編 物 組		整 理 其 他 加 工		染 物		織 物		製 綿		紡 績						
船	刺	編	物	組	整	理	其	他	加	工	染	物	織	物	製	綿	紡	績
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
三〇〇〇	九〇〇〇	三〇〇〇	七〇〇〇	二七〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	八〇〇〇	一〇〇〇	二五〇〇	三〇〇〇	九〇〇〇	七〇〇〇	一、三〇〇〇					
七〇〇〇	二〇〇〇	六〇〇〇	二五〇〇	四五〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	四四〇〇	八四〇〇					
六三〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	一五〇〇	四〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	二五〇〇	一八〇〇	三八〇〇					

各種工業に従事する職工の賃金を調査するに左の如し

職業別賃金調査表 (大正三年度)

精製糖	精製茶	精製穀	精製粉	精製水	精製子	精製菓	精製鈴	精製罐	精製爐	精製水
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
二六〇〇	九〇〇〇	三五〇〇	八〇〇〇	三〇〇〇	六二〇〇	三二〇〇	七八〇〇	三〇〇〇	六五〇〇	八〇〇〇
五七〇〇	二六〇〇	九〇〇〇	三五〇〇	八〇〇〇	三〇〇〇	六二〇〇	三二〇〇	七八〇〇	三〇〇〇	六五〇〇
七〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇
七〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇
三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇

薄木製樟	護	ク	石	塗	人	釀
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
一〇〇〇〇	三〇〇〇	八〇〇〇	四〇〇〇	九〇〇〇	二九〇〇	九〇〇〇
一〇〇〇〇	三〇〇〇	八〇〇〇	四〇〇〇	九〇〇〇	二九〇〇	九〇〇〇
七五〇〇	七〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	二〇〇〇	七〇〇〇	二五〇〇
七五〇〇	七〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	二〇〇〇	七〇〇〇	二五〇〇
六〇〇〇	四〇〇〇	二〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇
六〇〇〇	四〇〇〇	二〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇
三〇〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇
三〇〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇

種 類	上		中		下	
	男	女	男	女	男	女
印刷及製本	八〇〇	五〇〇	六〇〇	三〇〇	四〇〇	二五〇
紙製	七〇〇	三〇〇	五〇〇	二〇〇	三〇〇	二五〇
燐寸軸	一、二〇〇	四〇〇	七〇〇	二八〇	三〇〇	二五〇
燐寸小函及木地	一、二〇〇	四〇〇	三〇〇	二八〇	二〇〇	二〇〇
竹材	九〇〇	三〇〇	七〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
箱類	九〇〇	三〇〇	七五〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇
家具	一、〇〇〇	〇	七〇〇	〇	三〇〇	〇
皮革	九〇〇	〇	六〇〇	〇	四〇〇	〇
羽毛製	二〇〇	五〇〇	一八〇	四〇〇	一五〇	二五〇
貝卸	一、〇〇〇	三五〇	二五〇	〇	三〇〇	〇

種 類	上		中		下	
	男	女	男	女	男	女
麻真田	六〇〇	五〇〇	四五〇	三三〇	二八〇	二五〇
玉石	六〇〇	三〇〇	五〇〇	二五〇	四〇〇	二五〇
口	八〇〇	五〇〇	五〇〇	二五〇	三〇〇	二五〇
蘭	四〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇
船	九〇〇	四〇〇	七〇〇	三〇〇	四〇〇	二〇〇

三、工場と動力

動力を使用する工場は七百二十五箇所にして其機械一千四百四臺七萬五千六百八十二馬力九とす之を前年に比すれば工場に於て三百六十五箇所機械五百二十九臺九千六百四十九馬力を増加せり其原動力機の最近四箇年間の内譯を示せば左の如し

汽 機	臺		數		馬 力		數	
	三 年 末 正	二 年 末 正	大 元 年 末 正	明 治 四 十 年 末	三 年 末 正	二 年 末 正	大 元 年 末 正	明 治 四 十 年 末
一六	一〇	一〇	一〇	一〇	一一、九六〇	九、六四三	一二、三九七	一一、六六七

蒸気タービン 空氣壓搾器 瓦斯發動機 石油發動機 發電機 電動機 計	臺		數				馬力		數	
	三年末正	二年末正	元年末正	明治四十年末	三年末正	二年末正	元年末正	明治四十年末	三年末正	二年末正
蒸気タービン	一八		六		一三		一九六九三		一四七六三	
空氣壓搾器	一		二		二		一四〇〇		一四〇〇	
瓦斯發動機	九		七		六		二六三八五		二九三七	
石油發動機	一三		二〇		一四		二七五		五三〇	
發電機	四		五		四		二七九五二		二六二六六	
電動機	四		五		四		八九五七		一〇五四六	
計	一三七七		八三五		六七		七五六二九		六二九八七	

以上に依り之を觀れば各種動力中發電機大部分を占め臺數に於ては總數の三分の一に過ぎざるも馬力は三分の一を超へたり之に次ぐを蒸気タービンにして臺數に於ては七十分の一にして馬力四分の一に當れり汽機亦臺數に於て九分の一に過ぎざるも馬力は六分の一を有す其他電動機瓦斯發動機順次相次げり左に工業の種類別により原動力の明細を示せば次の如し

種類別原動力表

△印は水車にして其馬力は算定せず

染織工業 紡績 製綿 織物 染物 整理 加物 編織 刺繡 小計	機械工業 船舶 車輜 諸機 器具 雜屬 小計	化學工業 窯業	汽機		蒸気タービン		瓦斯發動機		石油發動機		發電機		自家發電		計
			數臺	馬力	數臺	馬力	數臺	馬力	數臺	馬力	數臺	馬力	數臺	馬力	
染織工業			四	一五〇〇〇	一	一五〇〇〇	二	一八〇			二	一六五五六			七一四三六
紡績			四	一五〇〇〇	一	一五〇〇〇	二	一八〇			二	一六五五六			七一四三六
製綿															二六〇
織物															二〇
染物															五五
整理															五五
加物															二〇
編織															二〇
刺繡															九八
小計			七	二五〇〇〇	一	一五〇〇〇	二	一八〇			二	一六五五六			七一八二六
機械工業			九	六六〇〇	三	一〇〇三二	二	八〇〇			三	四〇五九			一四九四三六
船舶			九	一五〇〇〇							三	一〇九三二六五			四三三三五
車輜			三	一五〇〇〇							三	一〇七三二八七			四三三三五
諸機			九	二二〇〇							三	一八七七二			六八九八
器具			三	六三〇							三	六四二			六八九八
雜屬			四	三七一							三	三〇			六八〇
小計			二六	一五〇〇〇	三	一〇〇三二	二	八〇〇			三	四〇五九			一三六七七
化學工業															二二九一六
窯業															一七〇
計															一七〇

製紙原料	製紙業	化學工業	小計	雜器金	諸機	車機	船舶	機械工業	小計	刺繡	編物	整理其他ノ加工	染織物	織物	製絲	紡績	染織工業
二五,〇〇〇	七三,〇〇〇	一三,五〇〇	一一,七〇〇	九三,〇〇〇	二七,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一六,四〇〇	八二,二〇〇	四八,七〇〇	一八,三〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	四八,〇〇〇	大正三年
六〇,〇〇〇	一七,〇〇〇	一一,二〇〇	一一,二〇〇	一八,五〇〇	八,五〇〇	二六,九〇〇	一九,四〇〇	六四,〇〇〇	四六,一〇〇	一四,〇〇〇	五,〇〇〇	一四,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	四九,一〇〇	四九,一〇〇	大正二年
七五,〇〇〇	三,〇〇〇	一九,〇〇〇	一九,〇〇〇	五,二〇〇	一三,四〇〇	一九,八〇〇	三三,〇〇〇	一四,二〇〇	四二,〇〇〇	一四,〇〇〇	五,〇〇〇	一四,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	四三,五〇〇	四三,五〇〇	大正元年
六八,八〇〇	七六,〇〇〇	七,六〇〇	七,六〇〇	六,七〇〇	三,〇〇〇	一八,八〇〇	一八,〇〇〇	三九,九〇〇	三六,三〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	三六,二〇〇	三六,二〇〇	明治四十四年
五九,九〇〇	二四,〇〇〇	二四,〇〇〇	二四,〇〇〇	一〇,一〇〇	一,五〇〇	一一,九〇〇	一六,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	三九,二〇〇	三九,二〇〇	明治四十三年

製粉	精穀	精茶	精糖	釀造	飲食物工業	小計	雜業	人造肥料	漆及塗料	石鹼	ク鹼	護謨	樟腦	製藥	木蠟	薄荷	製油	煙火	雷管	燐寸	
二五,三〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	六,〇〇〇	五,〇〇〇	四八,九〇〇	四八,九〇〇	七,九〇〇	一,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	五,〇〇〇	七,二〇〇	九,六〇〇	四,八〇〇	三,一〇〇	二,〇〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇	大正三年
一七,二〇〇	一,八〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三五,〇〇〇	三五,〇〇〇	五,八〇〇	三,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	七,九〇〇	三,八〇〇	二,八〇〇	一,六〇〇	二,〇〇〇	四,六〇〇	四,六〇〇	四,六〇〇	四,六〇〇	大正二年
二四,〇〇〇	二,〇〇〇	五,〇〇〇	二,〇〇〇	一五,〇〇〇	四一,七〇〇	四一,七〇〇	七,五〇〇	一,〇〇〇	二,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	八,三〇〇	二,五〇〇	一,六〇〇	九〇〇	二,〇〇〇	五,三〇〇	五,三〇〇	五,三〇〇	五,三〇〇	大正元年
一四,八〇〇	二,〇〇〇	六,〇〇〇	二,〇〇〇	四,〇〇〇	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	三,一〇〇	一〇,〇〇〇	一,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	六,九〇〇	一,五〇〇	一,〇〇〇	八〇〇	一,〇〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	明治四十四年
二〇,一〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	九,〇〇〇	二九,三〇〇	二九,三〇〇	三,七〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	七,七〇〇	二,二〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	明治四十三年

	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年
礦水	110,000	110,000	50,000	60,000	60,000
水菓子	1,000,000	1,000,000	500,000	600,000	600,000
菓	1,000,000	1,000,000	500,000	600,000	600,000
鉛	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
罐詰	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
燻	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
水産製品	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
雜業	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
小計	9,000,000	9,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
雜工業	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
印刷及製本	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
紙製品	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
燐寸軸木	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
燐寸小函及素地	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
竹材	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
桶	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
箱	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
家具	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
木竹莖製品	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000
皮革製品	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000

官公立工場	合計	特別工業	小計	雜業	船具	蘭廷及其他敷物	口一	玉石介角製品	麻真田	貝卸	羽毛製品
三三〇〇九〇四	四〇〇〇〇〇〇〇	九〇五七一一一	三三六六一三〇	一三三八〇〇〇	七四〇〇〇	六三二九〇	〇	〇	〇	〇	〇
三三三六二六九	三三三六二六九	八〇五七三〇〇	三二七六八七五	一七九六〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一五五八六六三	四四四〇〇七一一	六六五三〇一〇〇	三三三三三三三	一七九六〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	三〇八五九六二五	八三九三〇〇〇〇	一一五三〇五二六五	九一四〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	二五八七七七三〇	四九六八四三〇〇	七〇五九四九〇〇	八四〇〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

市内官公立工場に於ける石炭消費高は二千三百六十萬斤にして前年に比し八十七萬四千斤を増加せり其内容左の如し

	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十四年
榨臘工場	1,107,000斤	84,000斤	1,000,000斤	1,000,000斤
鐵道工場	3,191,000	2,846,269	1,458,663	2,266,277
其他	1,947,000	1	1	2,266,277
計	3,600,900	3,766,269	1,558,663	3,766,277

更に私立工場に於ける燃料消費を見るに動力に使用したる石炭三億六十八萬二千斤コークス五百二十九萬一千斤油類二石五斗にして動力以外に使用したる石炭九千九百三十三萬三千斤コークス七百三十六萬七千斤油類百八石餘とす而して前年に比しコークス及油類の著しく減少したるは明治四十二年十一月農商務省令第五十九號工場統計報告規則に依り調査したる爲め大部分の工場は單に石炭のみの消費を調査したるに素因するものにして這種の燃料にして前年との對照を無意味に了らしめたるは甚だ遺憾とする所なりとす今左に其内容を掲ぐる事とせり

私立工場燃料使用高表

業種	石炭に使用したるもの		其他に使用したるもの	
	石炭	コークス	石炭	コークス
紡績	4,715,250		1,180,110	
製織				
染織	9,500		57,000	
整理其他ノ加工	10,000		15,000	
編物組物				
刺繡				
小計	4,737,850		1,352,110	
機械工業				
船舶	51,000,000		1,355,610	
車輜	1,639,110	5,000,000	94,700	4,800
諸機械	4,586,000	9,585	58,940,500	4,800
器具	2,707,000		107,000	3,375,500
雜金	583,000	6,000	107,000	4,000
小計	7,538,810	5,161,805	3,636,540	7,354,318
化學工業				
窯業			1,215,000	
製紙	7,000,000		107,000	
原料			15,000	

製粉	礦水	菓子	菓蜜	罐詰肉	水産製	雜業計	小工業計	印刷及製本	紙製品	燐寸軸木	燐寸小函及素地	竹材	桶樽	箱類	家具	木竹葛莖製品	皮革製品
25,378,350	3,900,000	2,377,000					4,467,100			49,000		50,000		120,000		10,000	
											1,000,000						
							4,367,750	1,011,000	1,845,000	69,000						61,000	
							4,367,750										
																	78,000

燐寸	雷火	煙油	製蠟	薄荷	木蠟	樟製	護膜	ク膜	石鹼	漆及塗	人造肥	雜業計	小工業計	飲食物工業計	醸造	精糖	精製穀	
100,000		4,011,000	70,000			240,000		716,437	236,100	25,000	666,000	26,000	26,000	1,800	1,200,000	4,000,000	3,048,100	

産地	塊炭 (以下一萬斤に對する相場とす)			
	三月	六月	九月	十二月
三川池	六六・五〇〇	六五・五〇〇	六五・〇〇〇	六六・〇〇〇
田ノ浦	五四・五〇〇	五四・〇〇〇	五五・〇〇〇	五五・〇〇〇
大ノ池	四八・五〇〇	四八・〇〇〇	四九・〇〇〇	四八・〇〇〇
赤池	五〇・〇〇〇	五〇・〇〇〇	五〇・〇〇〇	四八・〇〇〇
明治池	五〇・〇〇〇	五〇・〇〇〇	五〇・〇〇〇	四八・〇〇〇
本洞	四九・三〇〇	四八・二〇〇	四八・〇〇〇	四六・〇〇〇
元山	四九・〇〇〇	四一・〇〇〇	五一・〇〇〇	四〇・〇〇〇
第手	四六・〇〇〇	四四・〇〇〇	四二・〇〇〇	四〇・〇〇〇
餘尺	五四・〇〇〇	五三・〇〇〇	六〇・〇〇〇	四三・五〇〇
忠尺	四八・〇〇〇	四七・〇〇〇	五四・〇〇〇	四二・五〇〇
新地	四二・三〇〇	四六・〇〇〇	四六・〇〇〇	四〇・〇〇〇
大雄	四九・六〇〇	四八・五〇〇	四八・〇〇〇	四九・〇〇〇
芳野	四三・〇〇〇	四二・五〇〇	四二・〇〇〇	四三・〇〇〇
山津	四三・〇〇〇	四二・三〇〇	四二・三〇〇	四三・〇〇〇
店浦	六〇・〇〇〇	五五・〇〇〇	五四・〇〇〇	四九・〇〇〇
満田	四七・二〇〇	四六・〇〇〇	五五・〇〇〇	五四・〇〇〇
金田	四七・二〇〇	四六・〇〇〇	五五・〇〇〇	五四・〇〇〇

因に本市に於ける石炭取引平均相場及び主なる産地よりの運賃等を掲げて参考に資せんとす

大正元年	大正二年	合計	石炭に使用したるもの													
			小計	瓦斯	電氣	特別工業	小計	雑業	船舶	蘭蓬及其他敷物	ロア	製石	玉介甲	麻田	貝鉦	羽毛製品
二七、六六、七二	二六、八八、三〇	三〇〇、六八、三六	九〇、五七、一一	一七、四、三三	一、七、四、三三	二、四、一、九〇	一、一、〇、〇〇	一、九、一、〇〇〇	六、二、一、九〇	一、九、一、〇〇〇	一、九、一、〇〇〇	一、九、一、〇〇〇	一、九、一、〇〇〇	一、九、一、〇〇〇	一、九、一、〇〇〇	一、九、一、〇〇〇
六、四、九、八七	一三、四、一、五八	五、九、一、八五			一、〇、〇、〇〇											
二、四、六、〇	二、七、〇、八	二、五、〇														
一、六、七、〇、四、四〇	一、〇、三、六、四、一、〇九	九、九、三、三、九、九九			九、六、三、四、〇〇	四、八、〇、〇〇	五、三、三、〇〇			三、〇、〇〇						
一、九、〇、八、一、三、三〇	一、一、九、七、六、三、〇〇	七、三、七、一、三三			七、八、〇、〇											
一、三、六、七、三、三三	一、三、七、五、七、五	一〇、七、〇														

運賃は時々變動ありて一定せずと雖も大正三年中の概況左の如し

大ノ浦三	明洞治尺	本山洞尺	元新	第田手	鯉尺	忠尺	新入	大辻	峰地	芳雄	方城	山野	唐津	満浦	赤池	高島	金田	金谷		
四三・七〇〇	三九・五〇〇	三八・〇〇〇	三九・五〇〇	三二・〇〇〇	三三・〇〇〇	四二・〇〇〇	四四・〇〇〇	四二・〇〇〇	四四・〇〇〇	四二・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三二・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	
三九・〇〇〇	三八・〇〇〇	三八・〇〇〇	三八・五〇〇	三五・五〇〇	三六・〇〇〇	四二・五〇〇	四二・五〇〇	四一・〇〇〇	四一・〇〇〇	四一・〇〇〇	三八・〇〇〇	三八・〇〇〇	三二・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇	三三・〇〇〇
三九・〇〇〇	三八・〇〇〇	三八・〇〇〇	三八・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇
三九・〇〇〇	三八・〇〇〇	三八・〇〇〇	三八・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇	三二・〇〇〇

方城	三月	六月	九月	十二月
切込炭	三九・五〇〇	三九・〇〇〇	三九・〇〇〇	三九・〇〇〇
粉	四三・七〇〇	四二・五〇〇	四二・五〇〇	四一・〇〇〇
炭	六〇・五〇〇	五九・五〇〇	六〇・〇〇〇	六〇・〇〇〇
田三川四尺池	四三・七〇〇	四二・五〇〇	四二・五〇〇	四一・〇〇〇
忠高唐山方芳緑高大新鯉第元	五七・〇〇〇	五〇・〇〇〇	五〇・〇〇〇	五〇・〇〇〇
限五	三八・六〇〇	三七・五〇〇	三七・〇〇〇	三七・〇〇〇
尺島津野城雄	四九・〇〇〇	四六・〇〇〇	四六・〇〇〇	四六・〇〇〇
谷辻入田手山	四四・〇〇〇	四一・〇〇〇	四一・〇〇〇	四一・〇〇〇
限二新	三九・五〇〇	三九・〇〇〇	三九・〇〇〇	三九・〇〇〇
尺	四三・七〇〇	四二・五〇〇	四二・五〇〇	四一・〇〇〇

船積運賃 (和船)

一若松より
 一噸に付 壹圓貳拾五錢
 一萬斤に付 七圓九拾錢

一門司より
 一噸に付 壹圓拾五錢
 一萬斤に付 七圓參拾錢

五、工 産 物

本年中市内各私立場場に於て産出したる工産物の價格は九千五百貳拾四萬貳千餘圓にして前年に比し四百八拾九萬七千餘圓を増加せり而して其内容を見るに船舶車輛等の機械工業に於て參百八拾七萬餘圓を増加し製紙、燐寸製油、樟腦護謨、人造肥料等化學工業に於て四百四拾壹萬餘圓を増加したるを重なる素因とす左に明治四十二年以來を表示すべし

明治四十二年 四八、〇五三、三〇九
 大正元年 七八、四一四、五四六
 同 四十三年 五五、五四三、九九九
 同 二年 九〇、三四四、四七四
 同 四十四年 六二、九三六、五六七
 同 三年 九五、二四二、三六五

主要工産物累年比較表

品名	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年
船	二四、五二五、三三六	一〇、八〇六、九七五	一一、〇一四、七五七	九、五八三、六五九	八、〇四七、六一
燐寸	八三、六三三、二	六八、九七五、八	七三、六三三、七	五七、六〇一、七	八、五九三、二八
紡績	七三、二六二、〇	七三、六三三、〇	五七、六八八、六	八、三三〇、三六	七、八四三、二二
製粉	六八、八五二、〇	七九、四七九、〇	七二、八三三、八	六、三九九、九四〇	五、三四七、二四
糖	五、二九六、四	五、六五三、五	六、八六八、七	三、五三三、九〇〇	三、〇〇三、〇八
樟腦	四、九二七、六	四、九三二、四	三、四〇二、一	六、五八八、〇〇〇	三、〇〇三、〇八
精製油	三、七五三、〇	二、八四〇、一	二、六八八、六	二、四七〇、七	一、七二〇、〇九
織物	三、三九七、三	三、三九七、三	四、八三三、〇	八、七〇三、八	八、六八一、〇〇
車輛	三、三三三、三	二、八〇七、三	三、二六八、七	二、八二八、九	一、三三三、四三
人造肥料	三、一九五、〇	二、八三三、六	二、四九七、三	一、八〇三、八	九、七六六、四
護謨	二、〇〇六、五	二、八三三、六	二、四九七、三	九、五〇七、六	九、八九〇、四
諸機	一、七五七、一	三、五七九、一	三、八六九、七	八、七〇三、八	六、五三三、四三
燐寸小函素地	一、一九五、八	一、三二七、四	一、六五三、〇	五、七三二、三	六、九三三、〇
同軸	一、一〇五、五	一、一七五、七	一、七三三、〇	八、八六六、四	七、〇一八、六
菓	一、〇九〇、〇	一、一四九、〇	一、〇九七、一	一、〇七六、五	一、〇一九、七
印刷及製茶	九〇五、三	一、一〇六、一	一、九六八、九	一、〇九六、九	五、六四一、六
製麻	八〇六、二	一、一六四、三	一、二九二、七	一、〇九三、七	五、三三三、二
製茶	七四〇、九	六、四八八、八	一、二九四、八	一、二五三、七	一、二九九、三

木箱 木竹 木竹 葦 製 品	類 蠟	大正三年		大正二年		大正元年		明治四十四年		明治四十三年	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
		七〇八〇〇	六九八〇〇	六九八〇〇	六九八〇〇	六九八〇〇	五四四〇一五	二五〇〇〇〇	七〇八〇〇	六九八〇〇	七〇八〇〇
		六六〇七五	五九五五五	五九五五五	五九五五五	五九五五五	四二二七七	四〇一八八	四〇一八八	四〇一八八	四〇一八八
		六〇八三五	一〇四四九四六	一〇四四九四六	一〇四四九四六	一〇四四九四六	五九四九一六	二七三三四	二七三三四	二七三三四	二七三三四

更に各工業の種類別工産額を擧ぐれば左の如し

工産物價表

染織工業	大正三年		大正二年		大正元年		明治四十四年		明治四十三年	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
紡績	七三六二〇	七三六二〇	七三六二〇	五九四〇	五六七八六六	八二六〇三六	七八四四三三			
織物	六四二六	五九四〇	五九四〇	三六七五二六	三六七五二六	二八八九九四	一三四九九九			
染物	三三九七三七	三六七五二六	三六七五二六	一九六一五	四〇七三三	一六八〇〇	一九五六四			
毛織原料	一八四四	一九六一五	一九六一五							
整理其他ノ加工	一八〇〇	四三六一五	四三六一五							
編物	六七四九									
刺繍	一〇〇〇〇									
小計	一四三三三	一五九〇九	一五九〇九	二七四〇四五	二七四〇四五	二七四〇四五	九一八八二六			
機械工業	二〇九九五二六	二一七四〇四五	二一七四〇四五	八八八八三四一	八八八八三四一	二二〇六〇三				

船舶	大正三年		大正二年		大正元年		明治四十四年		明治四十三年	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
船	二四五一五三六	二〇八六九七	二〇八六九七	二四七六三三	二四七六三三	二四七六三三	九六三三六九	八六〇四七一	八六〇四七一	八六〇四七一
車輻	三三三七〇六	三三三七〇六	三三三七〇六	二八〇七三三	二八〇七三三	二八〇七三三	一八〇二四八五	九三三六四四	九三三六四四	九三三六四四
諸機	一七三三三三	三三九七一	三三九七一	三三九七一	三三九七一	三三九七一	八七二〇七	六四四三三	六四四三三	六四四三三
雜金	一四三三三三	一六六六三	一六六六三	一六六六三	一六六六三	一六六六三	九五六六九	一七三〇〇	一七三〇〇	一七三〇〇
小計	一六六六三	一五九〇九	一五九〇九	二七四〇四五	二七四〇四五	二七四〇四五	二二〇六〇三	一〇三三三	一〇三三三	一〇三三三
化學工業	四四三三〇	四九五三三	四九五三三	一五〇八六八	一五〇八六八	一五〇八六八	二五三三四	一一〇三四	一一〇三四	一一〇三四
窯業	一五五四九	一八六五四	一八六五四	二〇六六八	二〇六六八	二〇六六八	一五七九九	一八三三三	一八三三三	一八三三三
製紙	二二三三〇	二二三三〇	二二三三〇							
製紙原料	二二三三〇	二二三三〇	二二三三〇							
漆器	一三三三〇	二二三三〇	二二三三〇							
燐寸	八三六三三	六六九五五	六六九五五	七三三三三	七三三三三	七三三三三	五七〇一七	八五九二二	八五九二二	八五九二二
煙油	一九四七	二二七〇	二二七〇							
製油	一三〇九	二二七〇	二二七〇							
薄製	三六〇八七	二八五六〇	二八五六〇	四八三三〇	四八三三〇	四八三三〇	八七〇三〇	八六八〇〇	八六八〇〇	八六八〇〇
木製	一〇八五六〇〇	二二〇三九	二二〇三九	一九六八九七	一九六八九七	一九六八九七	一〇六九九六	五六四一六	五六四一六	五六四一六
製蠟	七〇八〇〇	六九八〇〇	六九八〇〇	六九八〇〇	六九八〇〇	六九八〇〇	五四四〇一五	二五〇〇〇〇	二五〇〇〇〇	二五〇〇〇〇
製藥	二八三三三	二〇三三三	二〇三三三	一〇三三三	一〇三三三	一〇三三三	九三九九	四〇三三	四〇三三	四〇三三
樟腦	三三三三三	二二〇三三	二二〇三三	二二〇三三	二二〇三三	二二〇三三	二二〇三三	二二〇三三	二二〇三三	二二〇三三
護膜	二〇六五五	五二〇三三	五二〇三三							
小計	二二六六九	七二七九七	七二七九七	八七一五	八七一五	八七一五	七八一四四	九六八六	九六八六	九六八六

	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年
石鹼	三七八四	三二〇〇	一七五〇	三二〇〇	三三〇〇
漆及塗料	五九三三	二八三六	二四三六	九五〇七	九二八九
人造肥料	三一九五	三九五三	二六六〇	四八三六	九九六〇
雜業計	一八一三	一九三四	二〇五六	一三〇四	一三〇四
飲食物工業	三三三五	一九三四	二〇五六	一三〇四	一三〇四
釀造	四〇六一	八五五〇	六二〇六	七四七三	三三三九
精糖	四九二七	四九五二	三四〇二	六五五八	六五五九
精製茶	七四〇九	六四九八	二九四八	一一九三	一一九九
精製穀類	五二九六	五六三三	六八三六	三五三九	二二〇二
製粉	六八五一	七九四七	七二八三	六五九九	五三三二
水	二四〇六	二八六九	三四八三	二五三六	一八三四
菓子	一四二四	三七〇〇	五五五三	九四五六	七〇八八
菓	一〇九〇	一三三五	一〇七七	一〇六七	一〇九九
鉛	一五九〇	二七八四	一五八一	九八九五	九五〇〇
罐頭	三九五〇	一八四九	六〇〇〇	一六五二	四七六五
水産製品	六八〇三	三六三九	四四九四	五七四五	五一八五
雜業計	二〇八六	二二〇八	三〇六九	一九七三	一六八五
小計	一九五五	二二〇八	三〇六九	一九七三	一六八五

	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年
印刷及製本	九〇五三	一〇六四	一一九二	一〇七三	五三七一
紙製品	二八九〇	四二二一	五三九四	四五一七	三三三三
機軸	一六〇五	一七五七	一七三六	八八六四	七〇二八
機寸小函及素地	一一五八	一三六四	一六五三	五七三二	六九三二
竹材	四八一九	四九五九	四七七一	四九三二	三六九〇
桶	四二五八	一六二四	一八九六	五五九四	一三九二
箱類	六七〇七	五九五三	六三三四	四二二七	四〇二八
家	五四二四	五七四〇	九三三六	五九四七	一三四八
木竹莖製品	六〇八三	一〇四九	六九五九	五九九六	二七七三
皮革製品	四一五三	三三〇〇	六九九〇	五四四〇	三二四四
羽毛製品	二六四三	六四一七	四九七三	五九七〇	四九三四
貝鈕	八六〇六	二八八二	一四六一	八九一〇	一五七六
麻	一〇二〇	一七三三	三〇八〇	一九〇五	一三七〇
玉石介角製品	三三八七	二二五三	二八九〇	一七三九	一〇三三
口	一五九三	二六五〇	七五五〇	八一〇〇	三五〇四
蘭庭其他敷物	二八二九	一〇八三	一五一八	九一五〇	四八五〇
船具	一四三八	一三八一	二〇五九	九九七四	九二七五
雜業計	八七九一	八七九二	九〇二二	六〇四八	四六四七
小計	八七九一	八七九二	九〇二二	六〇四八	四六四七

特別工業	官公立工場工産額表				
	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年
電氣	三、四〇六、五	一、四一四、六九	一、〇三三、七	九、五三三、〇	七、九三三、五
瓦斯	四、七三三、九	四、四二二、八	二、八二七、〇	二、五九二、五	三、〇二六、五
小計	八、一四〇、四	五、八三六、五	三、八六〇、七	一二、一二五、五	一、〇四〇、〇
合計	九、五二四、三、五	九、〇三三、四、七	六、四四二、四、六	六、二九三、六、七	五、五四三、九、九

官公立工場に於ける製産額は四百五拾六萬貳千餘圓にして前年に比し九拾六萬參千餘圓を増加せり其内容左の如し

樟腦 鐵道用車 其他器具 印刷器 其他 其 監獄製 計	官公立工場工産額表				
	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年
樟腦	二、四八七、七九	八、四〇九、四四	一、五五三、三〇	一、五五三、三〇	一、五五三、三〇
鐵道用車	一、九〇一、〇八	三、三三三、三六	三、三三三、三六	三、三三三、三六	三、三三三、三六
其他器具	七、一五、四	四、七、〇	四、一、三	四、一、三	四、一、三
印刷器	七、八五、七	二、六九、二五	四、五七、二六	四、五七、二六	四、五七、二六
其他	九、四二、九	二、六九、二五	四、五七、二六	四、五七、二六	四、五七、二六
其	九、四二、九	二、六九、二五	四、五七、二六	四、五七、二六	四、五七、二六
監獄製	四、五七、二六	三、九二、〇一	五、二八、八三	五、二八、八三	五、二八、八三
計	四、五七、二六	三、九二、〇一	五、二八、八三	五、二八、八三	五、二八、八三

第三章 工場 の 分布

本市東西の兩端に於て工場敷地として最も好適したる耕地今尙數百町歩ありて漸次工場敷地として變換せられつゝあり殊に西部に於ては大正元年以來各種工場の設置さるゝもの日に多きを加へつゝあり元來本市は何れの地方に於ても海岸に接し水運の便最も良好なるのみならず鐵道及び國道幹線は其中央を貫通し支線亦縱横して水陸の連絡極めて便なりとす加之西部に於ては目下耕地整理法の下に道路を開設し市内及び附近停車場並に海岸との聯絡を企畫し既に其大半を完成せり之に依て物資の集散並に交通上多大の至便たるのみならず従つて工場敷地として最も格好のもの多數を存し而かも工業固定資本として最重要なる敷地價額は頗る低廉にして一坪約五圓乃至拾圓位の程度にあり
本市内に現存せる大小工場一千百有餘の所在地は何れの方面に最も多きか其種類別如何は本市工業發達の状態を示すものなれば今工場分布の狀況を示さんとす今假りに市内を大別して十二區とせり即ち左の如し

- 第一區 生田川以東 一圓
- 第二區 生田川以西葺合區 一圓
- 第三區 神戸區
- 第四區 仲町部(湊區を含む) 一圓
- 第五區 川崎部 東川崎、相生町、元町七丁目、西出町、東出町、北宮内町、川崎町
佐比江町
- 第六區 新川方面 南逆瀬川町、關屋町、今出在家町以東、新川以西
- 第七區 和田崎部 和田崎町、上庄通、今和田新田、和田宮通
- 第八區 兵庫中部 湊町、永澤町、三川口以南、小川通、入江通迄
- 第九區 運河沿岸 須佐野通以西、運河兩岸及同以東、御崎村吉田新田、御藏通
- 第十區 兵庫地方 大開通、羽坂通以北、五番町以東、兵庫地方
- 第十一區 東尻池 鐵道以南、新湊川以東、運河西岸以西
- 第十二區 林田部 新湊川以西

以上の區別により工場數及職工の分配を見るに左の如し

		地域別私立工場並職工數				一工場平均職工數
		工場數	男	女	計	
生田川以東	生田川以西葺合部	六三	一七三六	一、一〇八	二、八四四	三〇・八
神戶部	仲町部	一五九	一、〇九三	五九	一一五二	一九・八
新川方面	川崎部	四	一〇、五三	一一	一〇、六四	一〇・五
和田崎部	兵庫中部	一〇	三、三三	三	三、三六	三三・六
兵庫地方	兵庫地方	一〇	三、三三	三	三、三六	三三・六
運河沿岸	運河沿岸	一	四、一〇	一	四、一〇	四一・〇
兵庫地方	兵庫地方	一	四、一〇	一	四、一〇	四一・〇
東尻池	東尻池	一	四、一〇	一	四、一〇	四一・〇
林田部	林田部	一	四、一〇	一	四、一〇	四一・〇
計	計	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五
大正二年	大正二年	八五	三、三九七	一、三、五五五	四、七五二	四二・九
大正元年	大正元年	七〇	三、三三六	一、一、三三三	四、四六九	四八・九
明治四十四年	明治四十四年	五七	一、七九七	一、二、六八三	三、〇六〇	五三・三

以上に依れば工場數の最も多きは神戸部にして仲町部、兵庫中部、生田川以西葺合部順次に次げり而して最も少きは和田崎部、林田部とす然れども之を職工數よ

諸機	器具	金小	化學工業	製紙業	製紙原料	燐寸	雷火	煙油	製糖	木荷	製蠟	梓薬	護膜	石鹼	漆及塗料	人造肥料
		一四六二五		一一二五		一一二五								六三三		
		二七五		一一一		五								三二二		
		一八九四二		〇												
		一六一一三												六		
		一〇三														
		六二一														
		二七九八八														
		九一四														
		九四一五														
		一〇一二六														
		三三														
七	一	三	一	七	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	一	三	一	七	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一

		地域別各種私立工場表												
		生田川以西	生田川以東	神戶部	仲町部	川崎部	新川方面	和田部	兵庫中部	運河沿地	兵庫庫	東尻池	林田部	計
染織工業	紡織													
	製絲													
	織物													
	染物													
	整理其他ノ加工													
	編物													
	刺繍													
	小工業													
	機械工業													
	船舶													
	車輛													
	計													
		一												
		三		九										
		三		二		一	三	四		六				
		一		六				一	三				二	
		二	六			二								
		一	二	三										
		二		四						一	三			
		一	三			二								
		一				二								
		五	三	五			一			三	二			一

り観察するときは川崎部最も多く運河沿岸、兵庫中部、生田川以西、荻合部之に次ぐ更に一工場平均數より之を見るときは和田崎部の二百七十二人を最多とし川崎部の百五十六人運河沿岸の百三十八人夫れに次ぎ最も少きは新川方面及び神戸部の九人とす今工業の地域別現在數を表示すれば左の如し

小計	瓦斯	電氣	特別工業	小計	雜船	蘭廷其他數物	口一	玉石介角製品	麻真田	貝製品	羽毛製品	皮革製品	木竹莖製品	家箱	箱類	桶	竹材	機寸小函及素地	機寸軸木				
二	一	一	六	五	七	一	八	六	一	三	一	一	四										
			七	五	二			二	三	二	五	二	二							一			
			一	三	四			一	二		九	八	八	三	一								
			七	八	二			八		一	五	一	五	二	二					一			
			一	四	二															一			
			一	四	二															一			
			二	一																			
			八	六				一	一	五	一	二	二	三	九	二				八	二		
一	一	三	七	一	三			一				一	七							一	四	七	
			三	四	二			一	〇	一					三						二		
			三	五	一																一	四	九
二	一	一																					
五	一	三	五	四	一	七	六	二	七	五	五	四	五	一	〇	二	三	五	〇	三	五	〇	三

紙印刷製	紙刷及製	紙製	雜小計	雜水產	水燻	罐	鉛	菜	水	礦	製	精	製	精	釀	飲食物工業	小計				
一	一	六	一									一	三			二	三				
二	三	三	一					二	一			一	三			二	七				
五	九	四					一	三	一	六		三	二				八	七			
五	〇	八	二	七			一	一	四	一	四	一	五			三	六				
一	三	五	一										三				二				
		二	九	四	二								一	九	一		二	二			
		四											四				三				
二	九	四	二	三				二		二	三	三				二	一	五			
		二	一										二	六			一	四			
一	三	三						一		一	二	六					一	六			
		九											九					七			
		二	五										七					五			
一	六	三	〇	三	二	九	一	一	五	二	二	四	一	〇	二	八	三	一	二	一	二

生田川	以東	西豐合部	神戶部	仲町部	川崎部	新方面	川和	田兵	庫運	河兵	庫東	林	計
合	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年
三	五	七	六	七	六	七	六	七	六	七	六	七	六
二	三	四	三	四	三	四	三	四	三	四	三	四	三
一	二	三	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
〇	一	二	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇

尙各地域に別ちたる原動力を示せば左の如し

地域別私立工場動力表 本表中△印ハ水車×印ハ空氣

地域別	汽機		蒸氣機		石油機		發電機		自家發電		電力供給		計
	數	馬力	數	馬力	數	馬力	數	馬力	數	馬力	數	馬力	
生田川	三	二九八五	二	四二二五	一	一六三〇	一	六三三九	一	六三七	一	四九	三三九二
以東	一〇	五四〇〇	一	一〇	一	二〇〇	一	三〇〇	一	八三	一	七	一六七五
西豐合部	六	九四〇〇	一	八〇一八	一	二二〇〇	一	一五二五	一	七五	一	三	一三〇〇
神戶部	四	三九〇〇	一	一〇〇一〇	一	四〇〇	一	三〇	一	八九	一	七	一〇六九
仲町部	一	七〇〇	一	一〇〇	一	六五	一	三〇	一	四三	一	三	七四二
川崎部	一	八〇〇	一	六七〇	一	一六〇	一	四〇二五	一	四三	一	三	一〇六八
新方面	一	一七〇	一	三三〇	一	八〇〇	一	二〇七八	一	二六	一	一	一〇〇〇
和田部	一	一七〇	一	三三〇	一	八〇〇	一	二〇七八	一	二六	一	一	一〇〇〇
兵庫中部	一	一七〇	一	三三〇	一	八〇〇	一	二〇七八	一	二六	一	一	一〇〇〇
計	二七	六三〇〇	一〇	一〇九一五	一	九〇一六	一	六九〇〇	一	二六三九	一	三三	二三八五

運河沿岸	三	六三〇〇	五	五五〇〇	一	一〇九五	一	九〇一六	一	二六三九	一	三三	二三八五
兵庫地方	二	二二〇〇	一	一〇〇〇	一	七〇〇	一	七〇	一	五七	一	五	六二五
東尻池部	一	四〇〇〇	一	九〇〇〇	一	一三〇〇	一	一〇〇	一	三三	一	三	一四八〇
林田部	一	四〇〇〇	一	九〇〇〇	一	一三〇〇	一	一〇〇	一	三三	一	三	一四八〇
計	一四	一六六〇〇	一八	二六三〇〇	一	二六三〇	一	二七五〇	一	一〇〇	一	一	一四三〇
大正二年	一〇三	九六八四	二	一五七八	一	二七三二	一	七〇五二	一	一〇〇	一	一	八七〇
大正元年	一〇三	九六八四	二	一五七八	一	二七三二	一	七〇五二	一	一〇〇	一	一	八七〇
明治四十四年	一〇三	九六八四	二	一五七八	一	二七三二	一	七〇五二	一	一〇〇	一	一	八七〇

地域別原動力使用工場馬力別表 本表中△印ハ水車

生田川	以東	西豐合部	神戶部	仲町部	川崎部	新方面	川和	田兵	庫運	河兵	庫東	林	計
大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年	明治四十四年	大正二年	大正元年
三	五	七	六	七	六	七	六	七	六	七	六	七	六
二	三	四	三	四	三	四	三	四	三	四	三	四	三
一	二	三	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
〇	一	二	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇

大正元年	大正二年	林田部	東尻池部	兵庫地沿岸部	運河沿岸部	兵庫中	五馬力以上		五馬力以下		計
							未滿	滿	未滿	滿	
二〇七	二二二	△ 二〇六	△ 一五二	△ 二五二	△ 二四一	九二	六三	六	三三	一四	二八
四七	四五	六	七	二	四	八	一	二	三	五	二
二〇	三三	三	一	五	二	六	四	一	四	二	二
二	四	一	二	一	四	一	三	九	一	一	三
二八	二七	三	一	六	三	五	二	四	九	八	一
三	三	五	一	一	一	二	一	三	三	五	一
四	六	八	一	一	一	四	一	四	六	八	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	七	八	一	一	一	三	一	七	二	七	一
三二四	三六七	七二五	一六四	五九二	五五〇	一一〇	計				

以上に依り之を見れば最も多くの原動力を有するは運河沿岸にして二萬四千八十一馬力次は林田部の一萬八千三百九十馬力生田川以東の一萬三千八百五十五馬力等之に次がり而して最も少きは兵庫地方の百八十一馬力とす明治四十四年以來著しく變化せるは林田部が四十四年に於て原動力一馬力も有せざりしもの大正元年には一萬六千九十七馬力に上り本年末に於て一萬八千三百九十馬力を計上するに至りたるは生田川以東が四十四年には九千九百八十四馬力なりしもの

の本年末には一萬三千八百五十五馬力を有するに至り以て東西兩端に向つて大工場の創設の趨勢を窺知するに難からざるべし

大正元年	大正二年	林田部	東尻池部	兵庫地沿岸部	運河沿岸部	兵庫中	和田部	新川方面部	川崎部	仲町部	神戸部	生田川以西各部	動力を使用するもの		動力を使用せざるもの		
													五人以上	五人以下	計	計	
二二六	二六二	三九一	二七	二九	四一	六五	一三	三一	三一	三九	四一	五一	四六	九八	九八	三三〇	三六〇
九八	九八	三三四	九	一五	三〇	四四	五	一四	二七	五五	八五	九四	一八	二〇五	二三一	二〇一	二六〇
二〇五	二三一	二二三	五	二四	一八	三五	一	四	七	三一	六八	三〇	一八	二〇五	二三一	二〇一	二六〇
二〇一	二六〇	二四四	一	三〇	六	二八	三	一三	八	四七	八一	三四	一〇	二〇一	二六〇	二〇一	二六〇
四〇五	四九一	四六七	六	五	二四	六三	四	一七	一五	七八	一四九	六四	二八	四〇五	四九一	四〇五	四九一

地域別私立工場表

地域	動力使用有無		4人以下		5人以上 10人以下		10人以上 20人以下		20人以上 50人以下		50人以上 100人以下		100人以上 500人以下		500人以上 1000人以下		1000人以上		計
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	
兵庫中部	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
和田崎部	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
新川方面	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
川崎部	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
仲町部	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
神戸部	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
生田川以西	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
生田川以东	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
計	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有

年	大正元年		大正二年		計	林田部		東尻池部		兵庫地方		運河沿岸	
	有	無	有	無		有	無	有	無	有	無	有	無
大正元年	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
大正二年	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
計	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
大正元年	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
大正二年	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
計	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有

第四章 工場法實施の影響

去明治四十四年に公布せられたる工場法は實施の準備整ひたる趣にて明年より實施せらるべしと云ふ其實施に先ち本市工業に及ぼす影響を調査して當業者の参考に資する亦強ち無用の業にあらざるべし

工場法適用の範圍は之に伴ふ勅令其他の未だ發布せられざるを以て其詳細を知る能はずと雖も先般關係者に諮問せられたる案に基き其大要を調査するに常時十五人以上の職工を使用するものは同法第一條の規定に依り同法の適用を受く即ち本市に於ける千百九十二の工場中之に該當するものは二百七十四工場にて其主なるものは麻真田工場四十三、燐寸工場三十六同小函及木地工場二十、印刷製本工場二十等とす之を表示すれば左の如し

染織工業	紡績	一	製綿	一	整理其他加工	一
機械工業	小計	三				
船舶	船舶	七	車輛	一	諸機械	一一
器具	器具	三	金屬雜	八		
化學工業	小計	三〇				
窯業		九	製紙	四	製紙原料	二

燐寸	三六	雷管	一	製油	二
薄荷	一	樟腦	一	樟腦	六
護謄	八	人造肥料	二	人造肥料	四
小計	七六				
飲食物工業					
精糖	一	製茶	二	精穀	二
製粉	三	礦水	三		二
菓子	一	飴	一		
小計	一五				
雜工業					
印刷及製本	二〇	紙製品	二	燐寸軸木	一八
燐寸小函及木地	二〇	竹材	一	箱類	四
家具	一	木竹蔓莖製品	九	貝類	八
麻真田	四三	ローブ	二	蘭莖其他敷物	九
雜	八				

特別工業
小計 一四五

電氣 三 瓦 斯 二

小計 五

合計 二七四

尙常時十五人以上の職工を使用せざるも事業の性質危険なるもの又は衛生上有害の虞あるものにして五人以上の職工を使用するものは同法第一條の規定に依り工場法の適用を受けざるべからず、而して事業の性質危険なるもの又は衛生上有害の虞あるものにして工場法の適用を必要とする工場は諮問案に依れば毒劇薬、動物剥製、金屬熔融、燐寸、火薬、爆薬、火工品塗料、顔料、セルロイド溶劑を用ふる護謄、脂肪油精製、揮發油を用ふる油脂採收、ボイル油、礦油蒸溜、防水紙布、瓦斯、骸炭、鍍金、貝殼の乾燥、研磨、陶磁器、製綿織物、編物の起毛等の工場とす、本市内に於ける工場にして之に該當すと認めらるゝもの大凡左の四十六工場なり

製綿 二 脂肪油 二 漂白 二

ボイル油	二	鑄造	八	製藥	一
鑄造	二	護謄	一	鍍金	六
クレー石粉	二	陶器	五	塗料	二
硝子	一	粉末肥料	二	骸炭	一
骨粉	一	石灰	一	竹材著色	一
煙火	一	硝子粉	一	テレピン油	一
貝鉤	一				

更に常時十五人以上の職工を使用すと雖も工場法の適用を必要とせざる工場は勅令を以て之を除外せらるゝことゝなれり、而して諮問案に依れば當時三十人未満の職工を使用する菓子、飴、麵麩精穀場、寒天、麵類、清酒、醬油、籠籠、行李、其他竹蔓莖、菓の製品、經木又は麥稈、真田紙製玩具又は紙、棉、布帛を以てする小細工品、形紙、紙函、被服、足袋類、危険なる機械を用ひざる槽、樽、指物、建具等の家具類等の工場は除外さるるものにして、本市場中工場法の適用を受けざる工場は左の三十一箇所にして

菓子 一 木竹蔓莖製品 五 飴 一

箱	蘭莖其他敷物	五	燐寸小函及木地	一二	洋服裁縫	一
箱	類	三	木綿袋	二	家具	一

之を前記二百七十四箇所より控除すれば工場法の適用を受くるは二百四十三箇所となるも更に常時十五人以上の職工を使用せざるも事業の性質危険なるもの又は衛生上有害の虞あるものにして五人以上の職工を使用し工場法を適用せらるゝもの四十六箇所を加ふるときは結局工場法の適用を受くる工場は總數二百八十九箇所にして之を工場總數千九十二箇所に比すれば約二割四歩に當れり工場法適用の第一の制限は就業年齢なりとす即ち十二歳未満のものを使用し得ざるに在り然れども工場法施行の際十歳以上のものを引續き就業せしむる場合竝に輕易なる業務即ち菓子燐寸、刷子又は鈕、釦工場に於ける函詰綴付、包裝又は標紙の貼付、紙函又は燐寸函工場に於ける函貼、印刷、製本工場に於ける折疊、帶封掛、製絲工場の屑物處理等(諮問案に依る)は地方長官の許可を得て十歳以上のものを使用することを得べし

目下十二歳未満の職工を使用せる工場は四十七箇所あり是等は工場法の實施前

より使役せるものなるを以て十歳以上のものは引續き使用することを得べきを以て敢て影響を感せざるべしと雖も試みに其の工場及び職工數を擧示すれば左の如し

刀	衡	車	造	菓	樟	燐	硝	麻	工場數	男	女	計
物	器	輛	船	子	腦	寸	器	田	一	二	一	二
—	—	—	—	—	—	一八	二	—	—	—	—	—
—	—	—	一〇	—	—	三六	三	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	二〇五	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	二四一	三	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

金物	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二
染物	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
印刷	四	三	一	四	一	四	一	四	一	四
燐寸軸木	八	二三	七七	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
燐寸小函	一	三	一	三	一	三	一	三	一	三
箱類	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
家具	一	五	一	五	一	五	一	五	一	五
屏風木地	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
竹製品	二	一	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四
計	四七	九四	三二五	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九

七八

工場法適用の第二の制限は就業時間とす即ち十五歳未満の者及女子をして一日に十五時間以上の就業をなさしむるを得ず但し施行後十五箇年間は業務の種類に依り二時間以内の延長をなすことを得べし其如何なる業務に對して延長する

ことを得るやは目下不明に屬す

第三の制限は夜間労働にして十五歳未満の者及女子をして午後十時より午前四時までは就業せしむるを得ず又施行後十五箇年後は十四歳未満のもの及二十歳未満の女子に就て同様の制限あり但し一時に作業を爲すことを必要とする特種の事由ある業務に就かしむるとき及び夜間の作業を必要とする特種の業務に就かしむるときは此制限を超ゆることを得べし但し此場合に於ける業務は主務大臣の指定に依るものとす

第四に休日及休憩時間に對する制限あり即ち十五歳未満のもの及び女子に對し毎月二回以上の休日を與へざる可らず又午後十時より午前四時に至る間に於て就業せしむる場合は少くとも四回の休日を與ふるを要し又一日の就業時間六時間を超ゆる時は少くとも三十分十時間を超ゆるときは同じく一時間の休憩時間を與ふるを要す

工場法は更に幼者及婦女に對する禁業の制限を設けたり即ち十五歳未満の者及女子をして運轉中の機械若くは動力傳導装置の危険なる部分の掃除、注油、検査若

くは修繕を爲さしめ又は運轉中の機械若くは動力傳導装置に調帶調索の取付け若くは取外しを爲さしむることを得ず、而して是等の業務の内容に關しては(一)原動機電氣機械其他の機械又は動力傳導装置に附屬する勢輪、曲柄、連接桿、聯桿器、啣子桿、發電機のコンミューター、轉子、銳利なる刃物、齒輪、調帶車、車軸、車軸接手又は之に準すべき危険なる部分を其運轉中に掃除、注油、検査又は修繕する業務(二)危険なる方法に依り運轉中の機械又は動力傳導装置に調帶調索の取付け又は取外しを爲す業務(三)汽罐の取扱、四發電機發電機の抵抗器若くは變壓器の取扱又は高壓電線の接續(五)鋸機に木材を送給する業務(六)完全なる柵圍其他の危険豫防装置なき大なる齒輪、調帶車、勢輪、調索又は之に準すべきものに接近して行ふ業務(七)完全なる柵圍其他の危険豫防装置なき車軸道、足場其他之に準すべき場所に於ける業務(諸問案に依る)に就事することを得ざるなり

工場法は更に十五歳未満のものをして毒藥、劇藥、其他有害料品又は爆發性發火性若くは引火性の料品を取扱ふ業務及著しく塵埃、粉末を飛散し又は有害瓦斯を飛散する場所に於ける業務其他危険又は衛生上有害なる場所に於ける業務に就か

しむることを制限せり、即ち(一)原動機、電氣機械其他の機械又は動力傳導装置に附屬する勢輪、曲柄、連接桿、聯桿器、啣子桿、發電機の「コンミューター」轉子、銳利なる刃物、齒輪、調帶車、車軸、車軸接手又は之に準すべき危険なる部分を其の運轉中に掃除、注油、検査又は修繕する業務(二)危険なる方法に依り運轉中の機械又は動力傳導装置に調帶調索の取付け又は取外しを爲す業務(三)汽罐の取扱(四)發電機、發電機の抵抗器若くは變壓器の取扱又は高壓電線の接續(五)鋸機に木材を送給する業務(六)完全なる柵圍其他の危険豫防装置なき大なる齒輪、調帶車、勢輪、調索又は之に準すべきものに接近して行ふ業務(七)完全なる柵圍其他の危険豫防装置なき車軸道、足場其他之に準すべき場所に於ける業務(諸問案に依る)に就業せしむるを得ざるなり、工場法は尙ほ主務大臣の認定を以て以上の制限を十五歳以上の女子にも適用することを得と規定せり

次に第六の制限として病者又は産婦の就業に關する制限を設け(一)精神病(二)肺結核、喉頭結核(三)丹毒、再歸熱、麻疹、流行性腦脊髄膜炎其他之に準すべき急性熱性病(四)癩、微毒性發疹、疥癬(五)急性「トラホーム」膿漏性結膜炎其他之に準すべき傳染性眼病

(六)急性泌尿生殖器病、肋膜炎、心臟病、脚氣、關節炎、腱鞘炎、其他就業の爲め病症増悪するの虞ある疾病に罹れるものをして就業せしむることを得ず、又工業主は傳染性病、其他重大なる疾病に罹りたる者にして其の症候消失したる後、雖も健康の恢復せざる者を就業せしむることを得ず、但し醫師の意見に依り輕易なる業務に就かしむる場合は此の限に在らず、尙ほ工業主は産後五週目を經過せざる者をして就業せしむることを得ず、但し産後三週目を經過したるときは醫師の意見に依り輕易なる業務に就かしむることを得(諮問案)とせり

工場法は更に設備乃至經營に關する制限を設け、工場及び附屬建設物竝に設備が危害を生じ又は衛生風紀其他公益を害する虞ありと認むるときは必要なる事項を工業主に命じ、又は其全部或は一部の使用を停止するの權限を行政官廳に一任せり

災害扶助に關する制限を見るに自己の重大なる過失に依らずして負傷し又は疾病に罹り或は死亡したる時は勅令の定むる處に依り之を扶助せざるべからず之を要するに本市工業と工場法との關係は之を工場數より見れば僅かに二割四

歩に過ぎずと雖も主なる工場は總て適用の範圍に屬するを以て各種の制限の工場主に與ふる影響は敢て尠からざるべし併し今や工場主は徒らに職工を苦役するの却て生産上不利の點尠からざるを自覺し就業時間、夜間労働等は已むを得ざるものを除くの外略工場法の規定せる程度に於て之を實行し且つ災害扶助に關する設備の如きは頗る見るべき施設を爲せるものあり去れば工場法の實施せらるゝも固定資本の活用を妨げ生産費の増加を來すが如き敢て著しき影響なかるべし或は之がために職工の健康を増進し生産能力を増加し熟練なる職工の勤績と共に品質の精良を加へ以て本市工業の發展に裨益あらんことを期待するものなり

第五章 將來の大勢

既往に於ける本市工業は既に記述したる如く駁々として發展し將來に於て如何なる程度迄發達すべきや殆ど豫測すべからざるものあり之れ要するに水陸の便に於て最も優勝の地利を占むるに因るものにして本年下半年期に於ては世界の

戦亂に基き工業界に一大變動を來し殊に原料品を外國に需むるもの及び製品の全部が輸出せらるゝもの等は一時非常の打撃を被りたるがために本年の製産は從來に比して著しく減退せんとしたり然るに結果は之に反し却つて從來に見ざる製産増加を見るに至りたり就中機械工業及び化學工業に於て其傾向甚しかりしは如何に本市工業が斯の種の鞏固なる發達を遂げつゝあるかを窺ふことを得べし

次に工業に要する燃料の供給及び原料竝に製品の輸送即ち集散の便宜に依て將來の發達に大なる關係を有するや論なし然るに本市は既に記述したる如く内外航路の要衝に位し陸上の交通亦至らざるなく交通運輸に最も至便にして燃料亦從て得易く海外よりの注文及輸入取引に於ても亦當港に寄するを最も便なりとせらるゝ如く工業地として恰も天恵を有するものと謂はざるべからず而して本市西部に於ては工場敷地として低廉なる最も適當なるもの數百町歩を存し將來發展の餘地尙ほ綽々たるものあり

第六章 工業會社

工業の發達に伴ひ各分業的工業制を採るに至れるは適材を適所に配置し而して其長所を發揮せしめ各部分の精神的競争心を惹起し短時日に於て比較的多數の商品を製し得ると併せて製品の改良を促進せしむ之れ工業經濟の觀念より因て來る現象に外ならず去れば此の目的を遂行せんには従つて大規模の設備に出でざるべからず故に資本主の集合に依て一團を組織し設備の完成を圖るもの多し之れ工業會社の社會に因て起る結果とす而して本市に於ける工業會社の數は逐年増加し明治四十四年に於て五十五に過ぎざりしもの大正元年には六十九大正二年には七十となり本年は増加して九十八とす而して是等會社組織に由るもの製産は極めて多く市内大小工場の總數一千百九十二に比すれば會社數は僅に其十一分の一に過ぎざるも製産額は資本の豊富なるに従て設備の大なるに依り個人經營のものに比し遙かに多し今會社組織に屬するものゝ投資額を見るに資本金總額は五億參千七拾九萬六千貳百四拾圓にして内拂込濟額九千拾萬四千九

百拾圓積立金參千五拾萬參千四百八拾貳圓社債未償還額壹千貳拾七萬七千參百圓にして投資總額は實に壹億參千貳百八拾參萬五千六百九拾貳圓の巨額に達せり之を前年に對比すれば社數に於て二十八を増し資本金總額に於て四億四千貳百四拾萬九千參百拾圓拂込濟資本金に於て貳千四百拾七萬五千百七拾五圓積立金に於て壹千五百拾萬七千貳百五拾六圓社債現在額に於て貳百八拾七萬七千參百圓を増加したるを以て投資總額に於て四千貳百拾五萬九千七百參拾壹圓を増せり左に其詳細を表示すべし

種類	會社數	資本		
		總額	拂込濟額	積立金
紡績	一	一七、四二七、六五〇	一四、九六六、六三〇	八、三八三、〇七二
製船	二	二、六五〇	二、六五〇	五〇〇
諸機	三	二五、〇一〇、〇〇〇	二、三、八一〇、〇〇〇	二、六六二、〇〇〇
器機	八	四、二、一六八、〇〇〇	一五〇、六〇〇	二〇〇
雜業	一六	四、〇二七、一〇〇	九二、五〇〇	三、〇〇〇
窯業	一	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	—

種類	會社數	總額	拂込濟額	積立金
製紙	一	三、〇〇〇	三、〇〇〇	四五〇
製機	一	七、〇〇〇	七、〇〇〇	—
製木	一	一、六六〇、〇〇〇	一、六六〇、〇〇〇	一六三、九二三
製樟	一	一、〇五〇、〇〇〇	六五五、〇〇〇	一九六、五〇〇
製木	二	三二、五〇〇	二七、五〇〇	—
製藥	一	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	—
製腦	一	二、六六〇、〇〇〇	二、一六〇、〇〇〇	四二六、〇〇〇
製樟	一	一、三〇八、三六〇	八一〇、二六〇	四、〇八五
製石	一	一〇、〇〇〇	九、五九〇	七八七
製塗	一	一〇、〇〇〇	三六、〇〇〇	—
製肥	一	一、八一〇、〇〇〇	一、四三五、〇〇〇	三四〇、〇〇〇
製醱	一	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	—
製製	一	二、五五〇、〇〇〇	二、五五〇、〇〇〇	一六、五〇〇、〇〇〇
製製	二	一六、五〇〇	一六、五〇〇	—
製製	五	五五九、五〇〇	三五四、五〇〇	三三〇
製製	三	二、二〇〇、〇〇〇	一九一五、〇〇〇	六九五、〇〇〇
製製	四	二八二、五〇〇	一三一、五〇〇	三、七〇〇
製製	一	一〇〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	一四〇
製製	一	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	—
製製	一	一二五、〇〇〇	一二二、〇〇〇	—
製製	一	二〇、〇〇〇	一三、〇〇〇	—
製製	一	三四五、〇〇〇	一七五、〇〇〇	五一、八六八

種 類	會社數	總額		積立金	社債
		資本	拂込濟額		
燐寸小函	一	三、四八〇	三、四八〇	—	—
竹材	一	一〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	—	—
箱類	二	一〇九、五〇〇	三〇、〇〇〇	—	—
木竹莖莖製品	一	六〇〇	六〇〇	—	—
貝類	二	八六、〇〇〇	—	—	—
麻田	二	一七、四〇〇	—	—	—
口眞	一	三、〇〇〇	—	—	—
維	一	六四、五〇〇	—	—	—
電氣	一	一四、八五二	—	—	—
瓦	一	四、七五〇	—	—	—
計	九	九八五、三〇〇	九〇、一〇四、九一〇	—	—
大正二年	七〇	八八、三八六、九三〇	六五、九二九、七三五	一五、三九六、二二六	九、三五〇、〇〇〇
同元	六九	七四、四三〇、九三〇	五三、一五一、七三七	一三、九九三、八六九	九、九〇〇、〇〇〇
明治四十四年	五五	五四、五一三、八五〇	四一、三、九六、八三五	一一、二二七、〇三四	一〇、二二〇、〇〇〇

本表中外國法人に屬するもの及大正三年中に設立されたるもの、拂込濟資本額及積立金の不明なるものありて因て之等を仔細に調査するときは投資總額は本表々示のものよりも更に増加するならん

神戸市工業概況終

附表

神戸市工場明細表

一、染織工業

原動力綱中汽ハ汽機、タハ蒸汽タービ
ン、石ハ石油發動機、瓦ハ瓦斯發動機
發ハ發電機、電ハ電動機、他ハ他ヨリ
電力ノ供給ヲ受タルモノ、水ハ日本形
水車、(キ)ハキロワットヲ示ス

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者		種類	原動力
					男	女		
鐘淵紡績株式會社兵庫支店	綿絲、綿布	東尻池村	社長 比日谷平左衛門	明治二十九年十月	七三三	四、二一四	電氣	一、五〇〇、〇〇〇
泉製綿工場製	綿	橋通二丁目	泉 久次郎	明治三十八年三月	二五	二七	他	一〇
原製綿所同	綿	北長狹通七丁目	原 彦二郎	四十五年六月	—	—	他	〇
足立製綿所同	綿	琴緒町三丁目	足立吉太郎	三十六年三月	—	—	他	〇
梶川製綿所同	綿	元町三丁目	梶川新吉	四十五年四月	—	—	他	〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動機	種類 原動機	種類 原動機	種類 原動機
粕谷製綿所	綿	加納町四丁目	粕谷菊次郎	不詳	二	他	一	〇・五	
吉田製綿所	同	磯上通七丁目	吉田泰一郎	明治二十五年	三	他	一	〇・五	
村西製綿所	同	下山手通六丁目	村西磯吉	大正二年四月	二	他	一	〇・五	
野口製綿所	同	御幸通二丁目	野口鶴一	二年七月	二	他	一	〇・五	
日野屋製綿工場	同	同	古結熊三	三年五月	二	他	一	〇・五	
藤田製綿所	同	切戸町	藤田榮一	元年一月	一	他	一	七・五	
合資有本打綿工場	同	小川町九丁目	有本初太郎	三年三月	二	他	一	三・〇	
齋藤製綿所	同	雲井通三丁目	齋藤勘五郎	二年十月	二	他	一	一・〇	
新川製綿所	同	山本通三丁目	新川鹿次	二年八月	一	他	一	一・〇	
守屋製綿所	同	楠町三丁目	守屋宇吉	三年八月	一	他	一	〇・五	
長尾製綿所	同	北長狭通一丁目	長尾吉三郎	明治三十七年九月	二	他	一	一・〇	
有賀織物所	厚司地	北宮内町	有賀梅治	大正二年七月	一	他	一	一	

九〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動機	種類 原動機	種類 原動機
大正染色工場	羽二重染絹布類	磯上通一丁目	岩瀬勇次郎	大正三年十月	四	汽	一	二・五
陣野染物所	洋服、窓掛其他染色	加納町五丁目	陣野義三郎	明治二十八年九月	九	汽	一	一
北子染色工場	輸出羽二重染	中山手通二丁目	北子やす	同 四十年三月	五	汽	一	三・〇
歌谷湯熨斗業	湯熨斗、洗張	北長狭通六丁目	歌谷寅吉	明治四十四年三月	七	他	一	一
藤木洗濯業	洗 濯	松本通二丁目	藤木松之助	同 十五年	一三	他	一	一
榎本洗濯業	同	大井通	榎本清兵衛	同 三十八年七月	三	他	一	一・〇
小林洗濯業	同	中山手通七丁目	小林藤兵衛	同 四十年七月	四	他	一	一
赤井シャツ製造所	メリヤスシャツ	三宮町一丁目	赤井徳二	大正三年六月	三	他	一	二・〇
整理 其他								

二、機械工業

船 舶

九一

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
株式川崎造船所	船舶諸機械	東川崎町二丁目	社長 松方幸次郎	明治二十九年十月	男 二〇五〇 女 六五	汽	六五〇〇
三菱合資會社 神戶造船所	船舶其他諸機械	和田崎町三丁目	社長 杉谷安一	同 三十八年七月	男 二五八七 女 三	汽	一六〇〇
大福造船所	和船	船大工町	山本福三郎	同 三十年三月	男 一五	汽	一〇〇〇
山本造船所	同	東尻池村	山本松治	同 四十三年	男 一四	汽	一〇〇〇
合資會社 宮永鐵工所	同	東出町三丁目	宮永芳藏	同 四十二年六月	男 二四	汽	一〇〇〇
合資會社 森田鐵工所	諸機械	同 一丁目	代表者 森田寅之助	同 四十四年五月	男 三〇	汽	一〇〇〇
住澤鐵工所	小船及ボート	同 三丁目	住澤爲吉	同 三十六年	男 六	汽	一〇〇〇
石原造船所	船舶其他	東川崎町三丁目	石原門次郎	同 四十三年八月	男 一六	汽	一〇〇〇
濱田鐵工所	船舶修繕	西出町	濱田繁次郎	同 四十三年八月	男 一〇	汽	一〇〇〇
藤見造船所	和船修繕	東尻池村	藤見新三郎	同 三十二年一月	男 一三	汽	一〇〇〇
株式會社 川崎造船所 兵庫分工場	機關車、炭水車、客車、貨車、其他諸機械	東尻池村	社長 松方幸次郎	明治四十年七月	男 二、一六 女 三	汽	一、八七三六三 一、八七三六三

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
北川工場	諸車修繕	旭通二丁目	北川謙一	大正二年十月	男 八 女 二	汽	一〇〇
車源荷車製造所	荷車	三川口町二丁目	井澤嘉太郎	明治三十六年四月	男 八	汽	一〇〇
古市自轉車製造所	自轉車	日暮通一丁目	古市嘉代吉	大正二年三月	男 八	汽	一〇〇
林商會	同	元町四丁目	林 林	次明治三十一年十月	男 六 女 六	汽	一〇〇
橋本自轉車修繕所	自轉車修繕	三宮町二丁目	橋本治郎	同 三十二年二月	男 五	汽	一〇〇
桃木滑車製造所	滑車	東出町三丁目	桃木庄太郎	同 十八年二月	男 二	汽	一〇〇
速水滑車製造所	滑車及附屬	同	速水千東	大正元年一月	男 五	汽	一〇〇
谷河商店	車輛部分品	北長狹通五丁目	谷河藤松	明治四十三年十月	男 二	汽	一〇〇
杉本商店	車輛及附屬品	菅原通二丁目	杉本順次郎	大正二年五月	男 四	汽	一〇〇
四井鐵工所	汽罐修繕	西出町	四井喜一郎	明治四十四年	男 三〇	汽	二四〇
稻式農具合資會社	稻摺機、麥摺機	大開通七丁目	社長 稻貫岳大	大正三年五月	男 八	汽	一〇〇
鹽田機械工場	他 機寸機械修繕其他	正慶町	鹽田善六	同 二年一月	男 五	汽	一〇〇
シムエンス、シユツケルト電氣株式會社 神戸工場	配電盤其他附屬品	筒井町	同	明治四十一年四月	男 一六	汽	一〇〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
赤木鐵工所	機械部分品	松本通二丁目	赤木榮三郎	大正元年八月	一	他	一〇
阿部鐵工所	燐寸軸木機械	羽坂通二丁目	阿部勇吉	明治四十二年七月	二	瓦	三五
東鐵工所	鑄物	蘆原通四丁目	東宇市郎	三十九年二月	一六	石	四〇
阿南鐵工所	機械	八幡通三丁目	阿南雄平	三十二年五月	九	他	二〇
寺西鑄造工場	鑄造機械	筒井町	寺西成吉	大正三年四月	三	瓦	四〇
福永鐵工場	船舶機械修理	日暮通四丁目	福永平吉	明治四十一年一月	五	瓦	五〇
藤岡工場	ポンプ其他	磯邊通二丁目	藤岡喜代太	三十一年十月	九	他	一〇
前泉鐵工所	機械修理	雲井通三丁目	前泉徳之介	三十二年八月	九	他	一〇
松本鐵工所	同	八雲通六丁目	松本政治	四十五年三月	四	他	一〇
山崎鐵工所	ポンプ諸機械	一番町一丁目	山崎萬助	大正三年六月	六	他	二〇
山田鐵工所	金物	佐比江町	山田近藏	明治三十七年一月	七	他	三〇
來住鐵工所	製紙機械	中道通四丁目	來住市三	大正二年七月	二	他	〇五
中道鐵工所	燐寸器械修理	荒田町三丁目	中道正三郎	明治四十二年	七	他	〇五
田中工場	電氣版	上橋通二丁目	田中久吉	同 二十四年四月	一	他	〇五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
高尾造船鐵工所	鐵製品	吾妻通三丁目	高尾要介	同 二十年五月	一五五	瓦	三二〇
谷川鐵工所	鉛製造機械	三川口町三丁目	谷川清吉	同 四十三年二月	五	他	二〇
田畑鐵工所	諸機械	四出町	田畑茂	同 四十年十月	三〇	汽	一三〇
吉井鐵工所	同	下澤通二丁目	吉井政市	同 四十年八月	九	他	五〇
山陽工作所	發動機	出在家町	壁谷友太郎	同 四十二年九月	七三	他	五〇
合名會社神戶發動機製作所	諸機械	東出町三丁目	大林幸吉	大正二年一月	三〇	他	五〇
川田鐵工所	同	東尻池町五丁目	川田治郎	吉不明	三	他	〇五
神戶鐵工株式會社	同	須佐野町五丁目	齋藤宗三郎	明治四十三年七月	二六	他	七九〇
合資會社關西工作所	同	梅ヶ香町二丁目	小金國三郎	同 四十五年三月	一四	他	〇五
和田工場	燐寸製造用機械	明和通二丁目	和田万之介	同 四十年四月	五	瓦	二〇
奥座鐵工所	諸機械	東尻池町三丁目	奥座七太郎	同 四十年二月	五	他	一〇
都志鐵工所	同	江川町	都志愈義	同 三十八年一月	五	他	一〇
富永鐵工所	同	正慶町	富永吉三郎	大正二年二月	六	他	一〇
堀鐵工所	同	水木通十丁目	堀吉之助	明治四十一年二月	二	他	二〇
西脇鐵工所	同	東出町二丁目	西脇市松	大正二年五月	七	他	二〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力	原動力 馬力
西谷鐵工所	諸機械	水本通三丁目	西谷藤太郎	明治四十二年一月	一〇	瓦	一〇〇
西田鑄物工場	船舶機械	旭通一丁目	西田馬吉	同 三十年五月	四	瓦	三五
會社 肌勢鐵工所	諸機械	加納町四丁目	肌勢萬吉	大正 三年三月	一三	他	三〇
兵庫鐵工所	同	西出町	四井喜一郎	明治四十年一月	三〇	汽	二四〇
稻葉鍛冶工場	同	旭通二丁目	稻葉丑松	同 四十三年三月	三	他	〇・五
出田鐵工所	同	加納町四丁目	出田豊松	同 三十三年三月	六	他	〇・五
伊勢鐵工所	同	東川崎町二丁目	伊勢市五郎	同 二十六年一月	三七	汽	一八〇
乾鐵工所	同	東尻池町五丁目	乾 寅吉	同 三十五年五月	二四	汽	二五〇
松野鐵工所	諸機械修繕	梅ヶ香町一丁目	松野清吉	大正 元年五月	二	他	〇・五
本田鐵工所	諸機械	相生町五丁目	本多富三郎	明治四十三年五月	五	他	二〇
大松工場	諸機械修繕	東出町二丁目	大松由松	大正 二年四月	二	他	一〇
野村鐵工所	同	永澤町二丁目	野村嘉助	明治四十五年三月	二	他	一〇
安田鐵工所	諸機械	東川崎町五丁目	安田岩太郎	同 三十五年十月	一四	他	三〇
小林鐵工所	同	同 二丁目	小林捨吉	同 三十二年三月	五	他	二〇

器具

網本鐵工所	諸機械附屬品	東出町二丁目	網本嘉市郎	大正 三年五月	三	他	一〇
宮野鐵工所	諸機械修繕	明和通二丁目	宮野平太郎	明治四十三年四月	三	他	二〇
住田鐵工所	同	東出町一丁目	住田清太郎	大正 二年四月	四	他	一〇
紅田鐵工所	同	西出町	紅田久吉	明治四十三年一月	九	他	二〇
姫田鐵工所	器械類	大開通十丁目	姫田政太郎	同 三十五年十月	五	他	一〇
大和製罐所	同	西出町	大和幸吉	同 三十五年五月	七	他	一〇
前田衡器製作所	衡器	湊町一丁目	前田延壽	明治十一年十月	八	他	一〇
今井量器製作所	量器	元町五丁目	今井善兵衛	同 八年九月	九	他	一〇
宮下衡器製作所	衡器	三川口町二丁目	宮下惣左衛門	同 二十七年八月	一五	他	一〇
神戸瓦斯株式會社	瓦斯器具	湊町一丁目	社長 松方幸次郎	大正 元年十月	三〇	瓦	二〇
中田鐵工所	瓦斯コック	八雲通二丁目	中田竹藏	明治四十五年一月	六	他	一〇
北本鐵工場	同	東川崎町七丁目	北本草次郎	同 四十年七月	六	他	一〇
有田鐵工所	同	算所町	有田鶴松	同 三十五年六月	九	他	一〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動機	馬力
日本農具社	農具	菅原通三丁目	社長 藤井忠兵衛	明治四十年八月	五二	汽	四二〇
鈴木鐵工所	打物	西出町	鈴木鐵太郎	三十八年八月	七	汽	一六〇
横山鐵工所	剃刀	松原通四丁目	横山政治郎	三十八年	五	他	一〇〇
藤本鐵工所	打刃物	小川通五丁目	藤本新太郎	四十二年二月	九	汽	五〇

金屬雜品

吉川商店	金網	相生町五丁目	吉川卯兵衛	明治九年一月	五		
妻鹿鐵工所	ナット、バルブ	湊町一丁目	妻鹿龜吉	三十八年十月	五		
藤井鐵工所	ホールト、リベ	小川通三丁目	藤井正吉	二十七年六月	五	他	二〇〇
榊田鐵工所	ホールト、ナット	東出町三丁目	榊田德松	大正二年十月	二	他	〇五
綿田鐵工所	ホールトナット	仲町六丁目	綿田利七郎	明治三十年五月	九	他	三〇
大村鐵工所	ホールト	相生町五丁目	大村松太郎	二十七年五月	三	他	五〇
宮崎鑄造所	物	東出町三丁目	宮崎清八	四十四年五月	三	瓦	五〇
大野鑄造所	同	入江通三丁目	大野勝治	三十七年二月	〇	瓦	四〇

居相鑄造所	鑄物	日暮通六丁目	居相重吉	三十八年一月	二五		五六〇
大川工場	風呂釜	水本通三丁目	大川勘松	四十四年九月	六		
堀井鐵工合資會社	風呂釜、唧筒	雲井通一丁目	堀井熊四郎	大正二年七月	五		
網本鐵工所	鑄物	東出町二丁目	網本常吉	明治三十八年四月	一〇	他	一五
鍋屋眞鍮工場	建築用眞鍮金物	下山手通四丁目	藤田治右衛門	大正二年一月	九	瓦	三〇
藤原鐵工所	眞鍮鑄物	東出町一丁目	藤原芳松	明治四十四年五月	三	他	〇五
田中鐵工所	眞鍮器具	小野柄通八丁目	田中延太郎	三十八年五月	六		
脇本眞鍮工場	同	中山手通一丁目	脇本繁太郎	二十六年四月	二〇	瓦	一〇〇
羽根田鐵工所	同	北長狭通一丁目	羽根田重夫	四十二年八月	五		
宮谷鐵工所	建築用金物	御幸通一丁目	宮谷龜吉	三十八年五月	五		
小林工場	同	加納町四丁目	小林政次	三十年三月	四	他	一五
近藤鐵工所	同	磯上通七丁目	近藤新吉	十七年五月	一	他	二〇
鍛冶清	同	古湊通三丁目	松本清吉	四十年七月	五		
梅澤鐵工所	面窓	御幸通一丁目	梅澤卯三郎	四十二年四月	四	他	一〇
久山鐵工所	建築用金物	中道通四丁目	久山彌三郎	四十年八月	八		

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
高木鐵工所	建築用金物	菅原通三丁目	高木權次郎	明治三十七年四月	男 五	他	
河合鐵工所	同	旭通五丁目	河合太八	同 四十五年三月	男 六	他	
笠原鐵工所	同	大開通二丁目	笠原元吉	同 四十年八月	男 八	他	
三浦製作所	丁番	脇濱町三丁目	三浦廣吉	大正三年十月	男 三	他	
小豆鐵工所	鋸 鉄釘	西出町	小豆庄太郎	安政元年二月	男 三	他	
西本鍍金工場	鍍金	雲井通六丁目	西本政吉	明治四十三年四月	男 四	他	
杉原商會	同	古湊通一丁目	杉原儀三郎	四十一年九月	男 八	他	
藤澤商會	同	神若通六丁目	藤澤巖	同 四十四年五月	男 七	他	
藤原商會	自轉車用品	古湊通一丁目	藤原儀太郎	同 四十一年十月	男 二	他	
松崎工場	自轉車ブレーキ	大開通十丁目	松崎正雄	大正元年八月	男 五	他	
神戸鍍金合資會社	自轉車附屬品	八幡通五丁目	田淵儀兵衛	元年三月	男 五	他	
平野リム製造所	リム	平野桶谷町	原由太郎	明治四十四年三月	男 二	他	
合名大森商會	同	香妻通六丁目	梅宮芳太郎	同 四十五年三月	男 三	他	
岡田塗工場	自轉車附屬品	三宮町二丁目	辻野連造	同 四十五年一月	男 六	他	

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
中井鐵工所	サドル金物	旭通五丁目	中井政吉	同 三十八年三月	男 二	他	
梅富士商會	同	眞砂通二丁目	梅宮政一	大正二年七月	男 二	他	
セイセツト日本工場	同	脇濱町二丁目	エドワード ライセツト	元年九月	男 一	他	
金井工場	自轉車用土除其 他	東川崎町五丁目	金井豐吉	明治二十九年二月	男 六	他	
柳井鐵工所	金	中道通六丁目	柳井音作	同 三十九年四月	男 二	他	
北村鐵工所	同	長田村	北村勇次郎	同 三十五年六月	男 三	他	
都賀鐵工所	鉄力罐、建築用 金物	雲井通五丁目	都賀英治	同 三十八年四月	男 二	他	
野田油槽所	石油罐	野田村	ライオン社 石油株式會社	同 二十六年	男 四	他	
七野製造所	樟腦罐	八幡通四丁目	七野久吉	同 三十九年六月	男 二	他	
大濱工場	手鍵	川崎町	大濱和平	同 四十一年	男 五	他	
富田手鍵工場	同	濱崎通三丁目	富田夕ノ元	同 年	男 八	他	
池尻手鍵工場	同	西出町	池尻鶴松	明治二十八年五月	男 三	他	
岡田工場	轉寫紙	三宮町二丁目	岡田三松	同 三十九年九月	男 六	他	
岡本鐵工合資會社	船具金物	東出町三丁目	岡本友太郎	同 三十八年六月	男 二	汽	
岩本鐵工所	鐵工物	御所通二丁目	岩本勝五郎	大正三年二月	男 二	他	

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動力	種類 原動力
釜床鍛冶工場	樟腦釜蓋	雲井通四丁目	釜床仁三郎	大正二年九月	三		他	一

三、化學工業

窯業

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動力	種類 原動力
鈴木陶磁器製造所	陶磁器	北長狹通三丁目	鈴木金右衛門	明治二十五年四月	一四	三		
陶器釜屋	陶器	同 一丁目	眞野タカ	同 四十二年八月	二			
久下商店	陶器焼付	同 三丁目	久下省三	同 四十年三月	六			
長瀬商店	同	中山手通二丁目	長瀬宗吉	同 三十年二月	六			
土田陶器焼付工場	陶器	同	土田善三郎	同 三十年三月	八			
立野商店	茶器	八幡通五丁目	立野光三	同 四十年六月	一五	三		
井出商店	陶器焼付	三宮町一丁目	井出善太郎	不詳	二七			

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動力	種類 原動力
伊藤陶器製造所	陶器	北長狹通三丁目	伊藤宮次郎	同	三三	五		
石田畫工場	陶器繪付	中山手通一丁目	石田三太郎	大正二年五月	三			
中部商店	花瓶	三宮町三丁目	中部寅之助	明治三十三年三月	一九	七		
合名 窪田商店	珠瑯焼、食器	八雲通一丁目	石川明治	同 四十四年七月	五〇	二	他	一
宮崎硝子製造所	硝子瓶	水木通四丁目	宮崎常吉	同 三十年二月	二五			
松村工場	硝子瓶	日暮通六丁目	松村幸三郎	大正三年九月	九	二		
本郷硝子製造所	硝子瓶	脇濱町三丁目	本郷平三郎	明治三十一年三月	一五	三		
樫野石灰製造所	生石灰	南木町三丁目	樫野恒太郎	同 二十二年二月	三			
岡本コークス製造所	コークス	同 四丁目	岡本俊弘	同 三十六年二月	七		他	一
石田製紙場	塵紙	荒田町三丁目	石田豊市	不詳	二			
長谷川商店	トイシ	菅原通四丁目	長谷川春三	大正二年十月	一〇	四		
大本製紙所	漉直紙	筒井町	大本吉五郎	明治四十年十月	二	六	汽	二
合資 神戶製紙所	同	旭通一丁目	代表者 大島重右衛門	同 四十三年四月	三	一三	汽	二

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動力	種別 原動力
黒川工場	毛紙	奥平野	黒川リ	明治三十年六月	四	六	石	三〇
秋田製紙場	漉直紙	脇濱町三丁目	秋田九八郎	三十四年二月	一七	七	汽	二六〇
須田製紙場	コッペー、ナブ キン漉直紙	菊澤通六丁目	須田清英	四十二年五月	三三	一七	汽	一五〇〇〇
西崎工場	製紙原料	眞砂通二丁目	西崎喜三郎	四十三年	四	一八	汽	一五〇〇〇
合資 社 上山商會		古湊通四丁目	大庭茂	登同 四十三年七月	一	一		
秦燐寸工場	安全燐寸	荒田町一丁目	秦銀兵衛	明治二十七年一月	三三	七六		
日本紙軸燐寸 製造合資會社		水木通四丁目	代表者 淺井嘉藏	同 二十九年二月	六七	一九〇	他	二〇
日本燐寸製造 株式會社		大開通五丁目	社長 直木政之介	同 四十一年一月	八六	四〇六	他	九〇
日本燐寸製造 株式會社		御藏通二丁目	同	同	八五	三二二	他	一五〇〇
日本燐寸製造 株式會社		湊町三丁目	同	同	五五	二八四	他	二五
日本燐寸製造 株式會社		荒田町二丁目	同	同	八七	四六五	他	四九〇〇
日進合名會社		旭通二丁目	代表者 陳源	來同 三十七年十月	五〇	一五〇	他	三五〇〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動力	種別 原動力
鳴行社		筒井町	播磨喜三良	三十七年二月	一六	一六	他	二〇
細目燐寸工場		東尻池村	細目文吉	同 二十八年八月	四	一三	瓦	一〇〇
松原合資會社		松原通三丁目	同	同	六三	二七	瓦	一〇〇
水木合資會社		水木通一丁目	同	同 三十四年一月	七五	二九一	瓦	二五〇
三川合資會社		三川口町三丁目	同	同	六五	二〇六	瓦	一六〇
三川合資會社		琴緒町二丁目	同	同 三十年五月	五二	二〇七	他	七五
三川合資會社		大開通七丁目	同	同 四十五年三月	二九	一一一	他	
益進社		琴緒町五丁目	森嘉一	同 四十二年九月	二八	一三三	他	一〇
神戶燐寸製造所		松原通七丁目	圓尾佐太郎	同 三十八年三月	三三	九二		
米谷燐寸工場		石井村	米谷房吉	同 大正三年一月	三〇	九〇	他	一〇
瀧川葺合工場		雲井通二丁目	瀧川辨三	同 明治二十八年七月	四九	二九五	他	三〇
瀧川湊町工場		湊町四丁目	同	同 十三年六月	六五	二七七	他	二〇
瀧川中道工場		中道通二丁目	同	同 二十五年八月	一〇三	三四〇	瓦	二五〇
瀧川大開工場		大開通三丁目	同	同 三十八年一月	一四〇	二八六	他	四〇
高島燐寸工場		西尻池村	高島朝一	同 大正元年十月	三五	七〇		

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
俵燐寸工場	安全燐寸	水木通七丁目	俵隆三	明治四十三年八月	男 五〇	他	一〇〇
開燐社	同	大開通五丁目	黒原好二	同 三十九年九月	男 二五	他	二〇
山田燐寸工場	同	下澤通四丁目	山田松之助	大正二年一月	男 二	他	三〇
神燐社	同	入江通二丁目	安田淺吉	明治二十七年七月	男 二八	他	八四
公益合資會社	同	雲井通二丁目	井上仁鳳	同 二十八年一月	男 六六	他	一七八
神戶分工場	同	上庄通四丁目	小島種吉	同 四十三年四月	男 三五	他	八〇
小島燐寸第三工場	同	下澤通六丁目	朝日常松	同 四十年	男 二二	他	二〇
朝日燐寸工場	同	五番町八丁目	青木助次郎	大正三年四月	男 三	他	一五
青木燐寸工場	同	駒ヶ林村	榊原榮三郎	明治三十七年九月	男 三一	他	九四
榊原燐寸工場	同	中道通七丁目	三木健吉	同 四十二年五月	男 二〇	他	六八
三木燐寸工場	同	荒田町二丁目	住友忠治	大正元年七月	男 三〇	他	七五
住友燐寸工場	同	須佐野通四丁目	森井樸太郎	明治三十八年十月	男 三一	他	七八
第二日進社	黃燐寸	明治通三丁目	赤松幸太郎	同 三十八年八月	男 二六	他	四五
赤松燐寸製造所	同	湊町三丁目	園田八郎	同 四十四年五月	男 二	他	六
園田燐寸工場	同				男 二	他	六

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
電氣雷管製造所	電氣、雷管	平野梅本町	藤田利恒	明治四十四年三月	男 一	他	一
大坂煙花工場	煙花	夢野村	大坂元市	大正二年十月	男 五	他	四
畑田製油所	テレピン油	五番町七丁目	畑田寅之助	明治三十九年四月	男 九	他	一
合名會社鈴木商店	魚油	御崎村	鈴木よね	同 三十九年	男 一四	他	一〇〇
魚油工場	魚油、肥料	東尻池村	前田邦太郎	同 四十五年四月	男 二〇	他	一〇〇
神戶支店	魚油	同	代表者	同 四十二年三月	男 一〇	他	一〇〇
合資會社吉金商店	魚油	同	吉田金之助	同 四十二年三月	男 一〇	他	一〇〇
工藤商店	同	同	工藤藤吉	同 四十年十月	男 四	他	四〇
神戶株式會社	オイル油	池田村	大西米太郎	同 四十三年四月	男 七	他	六〇
矢澤商店	薄荷、薄荷油	八幡通一丁目	矢澤藤太郎	明治三十六年九月	男 八	他	五〇
合名會社鈴木商店	同	磯上通四丁目	鈴木よね	同 三十七年七月	男 一〇	他	五〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力	馬力
喜多組河内合名會社	晒木蠟、生蠟	磯邊通三丁目	代表者 河田宇十郎	明治三十三年八月	男 四 女 一	汽	二〇
清水恵助商店	同	濱邊通四丁目	清水恵助	同 四十三年十月	男 五 女 一	汽	二〇
日本蠟燭製造所	洋蠟燭	池田村	槌橋末吉	同 四十五年四月	男 三 女 一	他	一〇
網盛蠟燭製造所	パラフィン ローソク	東出町一丁目	網盛幾松	同 四十一年四月	男 二 女 一	他	〇・五
柳田龍腦製造所	龍腦	脇濱町一丁目	柳田富士松	明治四十二年一月	男 四 女 一	他	二〇
上山洗曹達製造所	洗曹達	同 三丁目	上山林吉	同 三十五年二月	男 三 女 一	他	三〇
村上洗曹達製造所	同	二宮町三丁目	村上治郎右衛門	同 三十一年九月	男 四 女 一	石	二〇
藤田工場	満庵	再度筋	藤田清太郎	同 三十二年三月	男 一 女 一	他	一〇
福田工場	同	東尻池町六丁目	福田松之助	大正 二年七月	男 一 女 一	他	一〇
後藤デシン本店	テシン フエクトール	八雲通四丁目	後藤鐵二郎	同 元年八月	男 三 女 一	他	三〇
多田化學製造所	顔料、サプス鹽 化硫黄	上澤通六丁目	多田兵造	明治三十九年三月	男 九 女 一	石	五〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力	馬力
粉未配合所	染料	浪花町	オットライメルス	大正 三年五月	男 二 女 一	他	三〇
秋田化學工業	酸化鐵、硫化安 質母尼	水木通十丁目	秋田作吉	同	男 一 女 一	他	二〇
多田工場	ベンゾールナツ タ	笠松通九丁目	多田兵造	同 三年一月	男 三 女 一	他	二〇
萬俵工場	チフサ油、ライ ト油	和田宮通六丁目	萬俵政次郎	同 三年三月	男 四 女 一	他	〇・五
神戸ルツボ合資會社	黒鉛粉末	再度筋	安田十五	同 三年六月	男 八 女 一	石	一〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力	馬力
株式會社日本商業	精製、樟腦	雲井通五丁目	代表者 西岡貞太郎	明治四十二年一月	男 四 女 一	他	七・五
會社樟腦精製所	同	八雲通六丁目	業務執行社員 落合牛太郎	同 三十三年四月	男 一 女 一	他	七・五
神戶樟腦精製所	同	小野柄通三丁目	代表者 窪田平吉	同 二十四年一月	男 一 女 一	他	二・五
合資會社樟腦精製所	同	神若通五丁目	社員 竹田文吉	同 四十年四月	男 二 女 一	汽	二・五
朝日樟腦精製所	同	八雲通一丁目	鈴木よね	同 三十六年十月	男 一 女 一	汽	二・五
合名會社鈴木商店	再製、樟腦	旭通四丁目	同	同 三十五年四月	男 三 女 一	汽	二・五
合名會社鈴木商店	同	同	同	同	男 一 女 一	汽	二・五
小野柄精製場	同	同	同	同	男 一 女 一	汽	二・五
合資會社河路護謨製造所	護謨製品	日暮通一丁目	河路龜彌	明治四十四年七月	男 五 女 一	汽	五〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
大正護謨工業株式會社	護謨製品	東尻池町三丁目	代表者 奥田七太郎 支那人 エツチ、ケセル	大正元年九月	男 一三 女 一三	汽	八〇
護謨製造會社	同	脇濱町三丁目	高木定右衛門	明治四十五年五月	男 一四 女 一四	汽	二五〇
護謨製造會社	同	東尻池村	遠藤増太郎	大正三年九月	男 二〇 女 二〇	汽	二五〇
合資 阪神護謨商會	同	長田村	大川理吉	同	男 一〇 女 一〇	汽	一五〇
神港護謨製造所	同	筒井町	榎並充造	二年七月	男 五六 女 四	汽	四三〇
内外護謨合資會社	同	菅原通五丁目	山上龜太郎	明治四十五年八月	男 四 女 一	他	三〇
菱屋護謨工場	同	若菜通六丁目	ザイ、エル、 ザイ、ニユーマン	同	男 一三 女 一三	汽	二二〇
自轉車製造會社	同	筒井町	グイ、ビー、 ウキルソン	同	男 一四 女 一四	汽	二二〇
カンロップ護謨株式會社	同	脇濱筒井町	同	四十二年十月	男 一四 女 一四	汽	二二〇
美除クレー製造所	クレー	南逆瀬川町二丁目	美除伊佐雄	明治二十二年七月	男 七 女 一	汽	四〇五
室谷クレー製造所	同	松原通一丁目	室谷藤七	二十年一月	男 一五 女 一	汽	九〇
柏木クレー製造所	同	明和通四丁目	柏木慶藏	三十七年七月	男 三 女 一	汽	四六〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
播磨石鹼製造所	石鹼	東川崎町五丁目	代表者 播磨幸市郎	明治十三年四月	男 八 女 三	他	八〇五
合名 山田石鹼製造所	同	今和田新田	代表者 山田秀太郎	同 三十八年三月	男 四 女 三	汽	四〇
東洋塗料合資會社	塗料	菅原通二丁目	代表者 堀吉次郎	大正三年四月	男 六 女 一	瓦	一〇〇
井上豆粕製造所	大豆粕、同油、菜種油、同粕、其他	東尻池村	井上寅次郎	明治三十八年十月	男 一六 女 三	汽	二五〇
兼松肥料製造所	同	濱邊通三丁目	兼松 馨	大正二年五月	男 六 女 一	他	三〇〇
關東酸曹株式會社	肥料	新在家町	中村一年	元年二月	男 二 女 六	他	三〇〇
兵庫出張所	同	東尻池村	車田賢吉	二年二月	男 三 女 二	瓦	一六〇
合名 山市車田商店	同	同	木全由三郎	明治四十一年一月	男 一 女 一	汽	九〇〇
有馬製肥所	同	御所町一丁目	柴田松三	同 四十四年三月	男 八 女 八	瓦	二五〇
島屋商店	同	住吉通三丁目	島屋勝吉	大正二年五月	男 二 女 七	瓦	一〇〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動	種類 原動	種類 原動	種類 原動
刀根工場	美人糖	下 hands 通四丁目	刀根淺吉	明治四十四年七月	三	七	他	一	一〇	
高木寫真店	寫真	四町	高木庭次郎	三十三年四月	一	一	他	一		
小島寫真店	同	元町三丁目	小島 冽	二十七年二月	五	一	他	一		
今井線香工場	線香	下 hands 通八丁目	今井辰之助	明治元年	二	三	他	一		

四、飲食物工業

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動	種類 原動	種類 原動	種類 原動
合資會社 井商店	味噌	西宮内町	代表者 今井昌介	天文十三年	四	一	他	一	三〇	
堀味噌製造所	同	湊町四丁目	堀 甚太郎	明治三十八年五月	一	一	他	一	一〇	
小澤味噌製造所	同	同 一丁目	小澤喜十郎	三十二年十月	二	一	他	一	一〇	
達磨味噌製造工場	同	仲町通四丁目	吉川 つね	四十三年四月	三	一	他	一	五四〇〇	

製糖		製茶		精穀						
工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原動	種類 原動	種類 原動	種類 原動
臺灣精糖株式會社 神戸工場	精製糖	東尻池村	工場主任 中村 第三	明治四十四年三月	一三五	一二	汽	一六	二三八〇	
矢野味噌製造所	同	上橋通三丁目	矢野 安治	同 四十年十月	二	一	他	一	一〇	
大谷味噌製造所	同	南逆瀬川町二丁目	大谷 安太郎	同 四十一年三月	二	一	他	一	一〇	
中井味噌製造所	同	磯上通七丁目	中井 新吉	不詳	三	一	他	一	一〇	
中尾味噌製造所	同	御幸通二丁目	中尾 駒吉	明治三十五年	二	一	他	一	〇五	
安井ソース製造所	ソース	荒田町三丁目	安井 敬七郎	同 四十年三月	三	九	他	一	〇五	
ヘリヤ商會	再製茶	江戸町	代表者 ヘリヤ 明	明治十四年四月	三五	五五	汽	二二	一三五〇〇	
シ、エツチ、 メエーシー商會	同	京町	フランク、ユウジ ンフアードナルド	同 二十八年五月	二五	五〇	汽	二	二八〇	
五百藏精米所	精米	羽坂通四丁目	五百藏 芳松	大正 二 年十月	一	一	他	一	〇五	
井原精米所	同	入江通三丁目	井原 磯吉	同 二 年三月	一	一	他	一	一〇	

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力	原動力 馬力
煎田精米所	精米	東出町一丁目	煎田吉五郎	大正二年五月	一	他	〇・五
岩崎精米所	同	下澤通四丁目	岩崎鹿次郎	二年七月	一	他	二・〇
井上精米所	同	上澤通五丁目	井上熊太郎	元年十月	一	他	〇・五
泉谷精米所	同	匠町	泉谷文七	元年四月	一	他	五・〇
今岡精米所	同	塚本通四丁目	今岡雄次郎	元年七月	一	他	〇・五
泉谷精米所	同	濱崎通二丁目	泉谷岩吉	明治三十七年三月	三	汽	三・〇
井上精米所	同	下山手通四丁目	井上廣治	大正三年四月	一	他	〇・五
石光精米所	同	三宮町一丁目	石光穎太郎	明治四十二年一月	一	他	一・〇
岩井精米所	同	磯上通五丁目	岩井伊三郎	大正三年二月	一	他	〇・五
岩田商會	同	北長狭通一丁目	岩田夕又	三年六月	一	他	一・〇
伊川精米所	同	加納町四丁目	伊川國松	明治四十三年十月	一	他	一・〇
五百藏精米所	同	荒田町三丁目	五百藏孫市	大正三年三月	一	他	〇・五
春名精米所	同	平野天王谷	春名國太郎	明治四十一年三月	一	水	一
橋本精米所	同	水木通七丁目	橋本米治	大正三年七月	一	他	一・〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力	原動力 馬力
播磨精米所	同	大開通五丁目	播磨山太郎	三年十月	三	他	三・〇
播本精米所	同	澁町一丁目	橋本伊之助	明治四十年三月	一	他	〇・五
長尾精米所	同	東尻池町一丁目	長尾カヲ	大正二年二月	一	他	〇・五
角谷精米所	同	荒田町三丁目	角谷松太郎	不詳	一	他	〇・五
庵原精米所	同	上橋通四丁目	庵原幸吉	明治四十五年二月	一	他	一・〇
栗林精米所	同	塚本通七丁目	栗林政藏	大正元年九月	一	他	〇・五
藤井精米所	同	東出町三丁目	藤井三三	二年三月	一	他	〇・五
稻森精米所	同	北長狭通一丁目	稻森政治郎	五年五月	一	他	〇・五
水井精米所	同	八雲通六丁目	水井伊之助	明治四十二年二月	一	他	〇・五
石本精米所	同	和田宮通三丁目	石本八百造	不詳	一	他	〇・五
下村精米所	同	中山手通一丁目	下村岩吉	明治三十二年九月	一	他	一・〇
山田精米所	同	琴緒町五丁目	山田平太郎	大正三年四月	一	他	一・〇
宮田精米所	同	長田村	宮田長藏	明治四十四年二月	一	石	五・〇
橋本精米所	同	荒田町四丁目	橋本菊太郎	四十五年六月	一	他	二・〇
萩原精米所	同	東雲通四丁目	萩原半吉	四十三年四月	一	他	三・〇

工場名	主要製品	所在地	場工主名	創業年月	就業者	種類	原動力
西本精米所	精米	長田村 出在家	西本初次郎	大正三年三月	一	他	一〇
日本米穀株式会社			澤田清兵衛	明治三十二年一月	八	他	二〇〇〇
西村精米所		大開通七丁目	西村榮吉	不詳	三	他	一〇
細川精米所		中山手通一丁目	細川菊三郎	大正二年九月	一	他	〇・五
堀本精米所		小河通九丁目	堀本清太郎	三年十月	一	他	一・五
堀精米所		古湊通二丁目	堀秀吉	明治四十四年七月	一	他	〇・五
友久精米所		北本町三丁目	友久鹿太郎	大正二年二月	一	他	一〇
土井精米所		中道通五丁目	土井定右衛門	明治四十四年三月	一	他	一〇
德原精米所		永澤町三丁目	德原恒二	大正三年九月	一	他	〇・五
沼田精米所		元町三丁目	沼田久兵衛	三年二月	二	他	〇・五
大崎精米所		平野馬場町	大崎丈之助	明治三十六年四月	一	他	一〇
太田精米所		芦原町六丁目	太田仁	大正二年二月	一	他	一〇
岡田精米所		入江通四丁目	岡田初太郎	二年三月	一	他	〇・五
岡精米所		仲町三丁目	岡嘉市	明治四十一年八月	一	他	一・五

工場名	主要製品	所在地	場工主名	創業年月	就業者	種類	原動力
岡山精米所		雲井通四丁目	岡山音吉	大正三年四月	一	他	一〇
小柳商店		八雲通六丁目	小野安太郎	明治四十年	一	他	〇・五
奥精米所		同 一丁目	奥音吉	大正二年三月	一	他	〇・五
岡本精米所		雲井通七丁目	岡本喜藏	三年六月	一	他	〇・五
大石精米所		楠町四丁目	大石音吉	元年七月	一	他	〇・五
岡川精米所		荒田町二丁目	岡川政吉	明治四十三年三月	一	他	一・五
太田精米所		同 二丁目	太田重吉	大正二年三月	一	他	〇・五
和田精米所		東尻池町一丁目	和田周次郎	三年九月	一	他	〇・五
和田精米所		東出町三丁目	和田三藏	二年二月	一	他	〇・五
龜井精米所		小野柄通五丁目	龜井茂兵衛	三年二月	一	他	一〇
金中精米所		荒田町三丁目	金中留太郎	明治四十一年七月	一	他	三〇
笠田精米所		琴緒町三丁目	笠田豊之助	大正二年一月	一	他	一〇
河本精米所		日暮通四丁目	河本清三	明治四十四年	一	他	一・五
柏原精米所		平野下祇園町	柏原幾之助	大正二年五月	一	他	〇・五
加藤精米所		水木通七丁目	加藤源太郎	同 年三月	一	他	〇・五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
龜井精米所	米	三川口町二丁目	龜井元吉	大正三年七月	一	他	〇・五
柏木精米所		東尻池村北町	柏木嵩同	年三月	一	他	〇・五
川崎精米所		仲道通四丁目	川崎眞次同	年十月	一	他	〇・五
川本精米所		須佐野通二丁目	川本久吉同	二年九月	一	他	〇・五
横井精米所		長田村	横井吉次郎同	年五月	二	瓦	一〇〇
横田精米所		仲道通一丁目	横田三之助同	元年九月	一	他	一〇
吉田精米所		北本町五丁目	吉田傳吉	明治四十五年一月	四	瓦	五〇
吉岡精米所		荒田町三丁目	吉岡貫次	大正二年七月	一	他	一〇
横内精米所		大開通六丁目	横内榮太郎同	三年六月	一	他	二〇
竹林精米所		湊町一丁目	竹林嘉七	明治四十二年七月	一	他	一・五
田中精米所		小河通三丁目	田中彌作	大正二年十月	二	他	一〇
高泉精米所		同 九丁目	高泉道之助同	年二月	三	他	一〇
田中精米所		梅ヶ香町一丁目	田中庄太郎同		一	他	〇・五
玉田精米所		仲道通一丁目	玉田常吉同	三年一月	一	他	〇・五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
高平精米所		御崎村	高平藤次同	元年十月	三	他	一・五
丹田精米所		山本通三丁目	丹田竹治同	年十二月	一	他	一〇
高原精米所		榮町二丁目	高原庸三同	二年十月	一	他	二〇
谷口精米所		池田村	谷口福治	明治四十二年六月	五	他	七〇
田中精米所		平野楠谷町	田中岩太郎同	四十四年七月	五	他	一〇
田中精米工場		荒田町四丁目	田中又吉	大正二年十月	二	他	〇・五
高原精米所		平野天王谷	高原喜之助同		二	水	一
高瀬精米所		磯上通七丁目	高瀬清次郎	明治四十三年二月	一	瓦	二〇
竹内精米所		上橋通三丁目	竹内保次同	四十五年七月	三	他	二〇
土谷精米所		元町一丁目	土谷嘉七同	年五月	一	他	一〇
塚本工場		雲井通七丁目	塚本新八同	年三月	二	他	二〇
塚本精米所		下澤通六丁目	塚本泰二同	四十二年八月	二	他	〇・五
土見精米所		二宮町三丁目	土見民藏	大正三年十月	三	他	〇・五
辻精米所		上澤通四丁目	辻覺一	元年七月	二	他	〇・五
中松精米所		塚本通八丁目	中松岩吉	明治四十年七月	三	他	〇・五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
中島精米所	精米	長田村	中島兵吉	明治四十五年六月	男 1	瓦	5.0
中野精米所	精米	一番町一丁目	中野新太郎	同 三十四年一月	男 7	汽	8.0
長宗精米所	精米	再度筋	長宗四郎	大正二年四月	男 2	他	2.0
中西精米所	精米	荒田町三丁目	中西佐吉	同 三年八月	男 1	他	0.5
中川精米所	精米	仲道通一丁目	中川與八	同 二年一月	男 1	他	1.0
中川精米所	精米	奥平野村	中川武治	明治四十三年五月	男 2	水	1.0
長濱精米所	精米	東尻池町一丁目	長濱千代吉	同 四十二年九月	男 1	他	0.5
田中精米所	精米	荒田町三丁目	田中泰二郎	大正元年三月	男 1	他	1.5
中西精米所	精米	生田町四丁目	中西清四郎	明治四十三年二月	男 1	他	1.0
成尾精米所	精米	北長狭通五丁目	成尾吉松	同 四十五年七月	男 2	他	0.5
室井精米所	精米	平野天王谷	室井幸之助	同 四十年五月	男 3	水	1.0
室山精米所	精米	日暮通一丁目	室山嘉吉	大正二年七月	男 2	他	1.0
魚澄精米所	精米	宮前町	魚澄惣一郎	不詳	男 3	他	1.0
上田精米所	精米	北長狭通二丁目	上田定吉	明治二十七年三月	男 3	他	2.0

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
上田精米所	精米	再度筋	上田平太郎	同 三十三年六月	男 2	他	2.0
上田精米所	精米	島上町	上田万次郎	同 三十九年七月	男 1	他	3.0
上田精米所	精米	塚本通二丁目	上田久太郎	大正元年三月	男 1	他	0.5
打越精米所	精米	平野天王谷	打越鶴太郎	明治三十六年九月	男 3	水	1.0
野田精米所	精米	荒田町四丁目	野田平太郎	大正元年十月	男 1	他	0.5
野村精米所	精米	平野湊山町	野村藤吉	明治四十四年三月	男 1	他	0.5
久元精米所	精米	平野天王谷	久元彌吉	大正三年一月	男 2	水	1.0
熊本精米所	精米	荒田町一丁目	熊本万吉	明治四十四年二月	男 1	他	2.0
柳内精米所	精米	東川崎町四丁目	柳内藤吉	大正二年二月	男 1	他	2.0
天重精米所	精米	平野上祇園町	山根重兵衛	明治二十年三月	男 8	水	1.0
名古屋河合式精米所	精米	荒田町三丁目	山川百次	大正元年三月	男 1	他	0.5
矢頭精米所	精米	大開通六丁目	矢頭治作	明治三十年五月	男 3	汽	6.0
山下精米所	精米	佐比江町	山下兼吉	大正三年三月	男 1	他	1.0
山田精米所	精米	明和通二丁目	山田常藏	同 二年七月	男 1	他	3.0
八木精米所	精米	中山手通一丁目	八木孫右衛門	同	男 1	他	3.0

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原 動力
八木精米所	精米	下 hands 通三丁目 駒ヶ林村	八木周太郎	明治三十一年二月	-	他
松本精米所	同	楠町二丁目	松本常太郎	同 四十五年三月	-	他
前田精米所	同	楠町八丁目	前田作平	大正二年七月	-	他
松井精米所	同	再度筋	松井九郎	治同 元年十月	三	汽
増田精米所	同	下山手通七丁目	増田治郎市	同 三年十月	二	水
松原精米所	同	荒田町三丁目	松原真造	同 三年三月	-	他
松原精米所	同	中道通八丁目	長谷大吉	明治四十五年三月	三	他
豆谷精米所	同	長田村	前田辨吉	天保十年	三	水
前福精米所	同	南本町四丁目	前福	松明治四十四年五月	八	他
松本精米所	同	日暮通五丁目	松本承太郎	大正二年五月	二	他
正井精米所	同	御幸通三丁目	正井民三	同 年五月	-	他
松本精米所	同	琴緒町四丁目	松本由松	明治四十五年三月	-	他
古館精米所	同	古湊通一丁目	古館徳太	同 四十四年七月	-	他

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原 動力
藤本精米所	同	和田宮通三丁目	藤本雄二	大正二年一月	-	他
藤本精米所	同	中山手通七丁目	藤本重三郎	明治四十五年一月	三	水
福田精米所	同	福田	福田しな	大正三年四月	二	他
藤森精米所	同	塚本通六丁目	藤森新太郎	同 二年十月	-	他
藤尾精米所	同	仲道通九丁目	藤尾三次	同 元年五月	-	他
福岡精米所	同	加納町三丁目	福岡清次郎	明治三十年五月	八	瓦
古屋精米所	同	同 四丁目	古屋政治郎	同 三十四年五月	二	他
深山精米所	同	琴緒町二丁目	深山八十松	大正三年三月	-	他
柴藤車	同	平野天王谷	古山芳松	不詳	二	水
肥塚精米所	同	上澤通二丁目	肥塚庄五郎	大正二年三月	-	他
近藤精米所	同	東川崎町七丁目	近藤儀藏	同 二年一月	-	他
古山精米所	同	平野下三條町	古山直七	明治四十一年七月	三	水
精米 經田栗林合資會社	同	塚本通七丁目	栗林政藏	同 四十四年五月	三	他
五熊精米所	同	入江通八丁目	五熊きよ	大正三年三月	-	他
小林精米所	同	東出町二丁目	小林甚之助	同 二年三月	-	他

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
小松精米所	精米	二宮町一丁目	小松萬右衛門	大正三年四月	一	他	〇・五
後藤精米所	同	旭通二丁目	後藤伸太郎	二年四月	二	他	一〇
小松精米所	同	大開通二丁目	小松伊太郎	明治三十八年八月	三	水	六〇
小寺精米所	同	平野町	小寺寛之助	四十四年二月	三	他	一〇
小西精米所	同	再度筋	小西音吉	三十九年十月	二	他	三〇
寺岡精米所	同	小野柄通四丁目	寺岡勘次郎	大正二年九月	一	他	一〇
出口精米所	同	元町二丁目	出口新三郎	明治四十五年三月	一	他	一・五
寺尾精米所	同	塚本通八丁目	寺尾源太郎	三十八年三月	一	他	〇・五
網本精米所	同	大開通二丁目	網本善吉	大正二年八月	二	他	二〇
寺田精米所	同	南逆瀬川町二丁目	寺田貞治	三年十月	二	他	〇・五
朝日米穀合資會社 中央出張所	同	水木通四丁目	中川寅市	二年一月	一	他	一〇
淺沼精米所	同	東出町二丁目	淺沼字吉	年五月	一	他	〇・五
阿部精米所	同	相生町五丁目	阿部幸吉	明治四十五年七月	二	他	〇・五
明石精米所	同	桶町八丁目	明石久吉	大正三年六月	五	他	五〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
坂田精米所	同	三宮町三丁目	坂田菊太郎	年七月	一	他	〇・五
讚田精米所	同	北野町四丁目	讚田龜吉	二年六月	二	他	三〇
里精米所	同	下山手通九丁目	里半藏	年十月	一	他	〇・五
佐々木精米所	同	元町五丁目	佐々木定太郎	明治四十五年二月	一	他	一・五
合資木谷商店	同	下山手通八丁目	木谷周藏	大正二年十月	一三	他	一〇・八〇〇
由井精米所	同	西出町	由井嘉吉	三年三月	一	他	一〇
岸精米所	同	北長狭通一丁目	岸米藏	明治四十五年二月	三	他	三〇
水島精米所	同	榮町六丁目	水島甚之吉	大正三年八月	一	他	一〇
道畑精米所	同	平野天王谷	道畑幸四郎	年九月	二	水	一〇
水谷精米所	同	湊町三丁目	水谷卜夕	年七月	一	他	一〇
清水精米所	同	橋通二丁目	清水豊松	不詳	一	他	五〇
鹽谷精米所	同	再度筋	鹽谷宗吉	大正二年七月	一	水	一〇
水川精米所	同	相生町五丁目	水川菅吉	年九月	一	他	二〇
日吉精米所	同	上庄通三丁目	日吉吉松	三年六月	一	他	一〇
山平精米所	同	荒田町四丁目	山平竹次郎	二年四月	一	他	〇・五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
日方精米所	精米	熊内橋通七丁目	日方彌八郎	明治四十五年五月	一	他	一〇
平瀬精米所	精米	佐比江町	平瀬角程	四十三年八月	一	他	二〇
森岡精米所	精米	再度筋	森岡猪之助	三十四年二月	二	他	二〇
森精米所	精米	同	森信藏	四十四年	二	他	三〇
森精米所	精米	楠町八丁目	森久吉	三十三年三月	三	汽	七〇
森精米所	精米	島上町	森信次郎	大正三年五月	二	他	三〇
森田精米所	精米	榮町二丁目	森田音松	明治四十四年三月	一	他	一・五
森下精米所	精米	雲井通三丁目	森下清市郎	大正二年七月	一	他	〇・五
森下精米所	精米	楠町四丁目	森下芳太郎	元年七月	一	他	〇・五
森西精米所	精米	東川崎町七丁目	森西徹	同	一	他	〇・五
本濱精米所	精米	同	本濱峰吉	年四月	一	他	一・五
菅原精米所	精米	出在家町	菅原清吉	三年五月	一	他	〇・五
鈴木精米所	精米	關屋町	鈴木作兵衛	元年十月	一	他	一〇
砂川精米所	精米	旭通三丁目	砂川貞吉	不詳	一	他	〇・五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
須崎精米所	精米	上橋通四丁目	須崎榮之助	明治四十年四月	二	他	一・五
繼本精米所	精米	東尻池町二丁目	繼本甚那右衛門	大正二年四月	一	他	一〇
福本合資會社	精米	濱崎通四丁目	福本熊次郎	三年十月	六	汽	二〇〇
岸本精米所	精米	一番町一丁目	岸本卯之助	年七月	三	他	一〇〇
下里精米所	精米	雲井通六丁目	下里半藏	年十月	一	他	一〇
島田精米所	精米	御幸通八丁目	島田松太郎	明治四十五年二月	三	他	二〇
福井精米所	精米	小河通九丁目	福井才吉	大正二年三月	一	他	〇・五
福井精米所	精米	算所町	福井磯吉	元年三月	一	他	一〇
山口精米所	精米	上澤通五丁目	山口奎次	同	一	他	一〇
藪田精米所	精米	笠松通二丁目	藪田福三郎	二年一月	一	他	〇・五
山本精米所	精米	再度筋	山本美之助	明治二十七年	二	水	一
榊井精米所	精米	荒田町一丁目	榊井正次	大正二年三月	一	他	一〇
豐田精米所	精米	荻藻通二丁目	豐田嘉三郎	年三月	一	他	〇・五
山本精米所	精米	小野柄通五丁目	山本伊之助	三年五月	二	他	一〇
岩本精米所	精米	大開通五丁目	岩本菊藏	明治四十二年三月	四	水	一

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者		種類	原動力
					男	女		
堺製粉所	米粉及豆粉	塚本通三丁目	堺 信	明治四十年三月	一	一	他	一〇
新居製粉工場	菓子粉	石井村	新居 常藏	大正三年六月	二	一	他	〇・五
株式 増田製粉所	小麦粉	東尻池村	取給役 河野 啓	明治四十年八月	七	四	他	三五・八
前田製粉所	米粉	下澤通四丁目	前田 清太郎	大正元年七月	二	一	他	〇・五
高橋製粉所	同	三川口町一丁目	高橋 重太郎	明治四十年	一	一	他	〇・五
日本製粉株式會社	小麦粉	今出通三丁目	支配人 高橋 重太郎	明治四十年	五	一	他	三〇〇・〇
兵庫工場	同	永澤通四丁目	高橋 重太郎	年十月	二	一	他	一三三・四
石坂製粉所	同	今出在家町三丁目	石坂 芳松	同 十四年二月	四	一	他	〇・五
日本精米製粉株式會社	同	同	社長 田村 新吉	同 二十年十月	四	一	他	一五〇・〇
東洋サイダール會社	ラム子、サイダール	加納町三丁目	代表者 山下 善太郎	大正二年一月	一	一	瓦	二〇
合資會社	ラム子、サイダール	加納町一丁目	代表者 山下 善太郎	明治二十四年六月	六	七	瓦	二〇
本工場タムソン商會	ラム子、サイダール	海邊通一丁目	代表者 セー、ダブリエー	明治二十四年六月	一	一	瓦	二〇
株式 布引礦泉會社	炭酸水	加納町一丁目	取締役 フランクリン 杉田 一貫	同 四十三年五月	一	一	瓦	二〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者		種類	原動力
					男	女		
神戶北野礦泉會社	ラム子、サイダール	中山手通二丁目	代表者 熊太郎	明治四十四年七月	三	二	瓦	四・五
合資會社	同	雲井通八丁目	代表者 和田 伊輔	同 四十三年一月	七	三	瓦	一・五
神戶布引サイダール會社	同	中町六丁目	山崎 友次郎	同 四十五年六月	一	一	他	〇・五
山崎ラム子製造所	同	湊町一丁目	古田 熊治	同 四十三年四月	三	三	瓦	一〇
古田ラム子製造所	同	前町一八	古田 熊治	同 四十五年	三	三	瓦	一〇
十八番礦泉水製造所	礦泉水	三川口町一丁目	アラン、リチャードソン	同 四十四年二月	三	三	他	一〇
神港ラム子製造所	ラム子	下澤通五丁目	明上 マスエ	同 四十二年三月	三	三	石	二〇
明上ラム子製造所	ラム子、サイダール	古湊通三丁目	明上 カツ	同 四十二年四月	三	三	他	二〇
義士ラム子製造工場	ラム子	古湊通三丁目	神 コウ	大正二年四月	三	三	他	一五〇
新村清涼水製造工場	清涼水ラム子	古湊通三丁目	新村 治郎吉	明治四十三年四月	一	一	瓦	二〇
森山商會	ラム子、サイダール	仲町六丁目	森山 重太郎	同 三十七年八月	五	一	瓦	一・五
大正礦泉製造所	清涼水	加納町二丁目	山口 義隆		五	一	瓦	一・五
トイゴ一商會	同	同	同		五	一	瓦	一・五
淺井製水株式會社	水	荒田町四丁目	社長 坪田 十郎	大正三年八月	一	一	汽	二六〇
中尾製水工場	同	入江通七丁目	中尾 峰瀨	同 二年五月	一	一	他	一〇〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
龍紋氷室神戸支店	氷	辨天町	山田啓之助	大正二年一月	男一七	石瓦	二〇六〇〇
菓子							
菊水煎餅本家	煎餅	相生町三丁目	岸本藤吉	明治二十年四月	六		
竹内栗オコシ製造所	栗オコシ	荒田町三丁目	竹内繁吉	同 四十年十月	二	他	一〇
上田工場	菓子	松本通五丁目	上田卯吉	同 四十三年	二	他	〇五
菊花堂	菓子、煎餅	元町五丁目	熊内チサ	同 三十一年三月	六		
榮太樓	生菓子	同 六丁目	三宅信次郎	同 二十三年	五		
龜井堂	瓦煎餅	同	松井佐助	同 二十四年	三		
平田餡製造所	餡	永澤町一丁目	平田太一郎	大正元年十月	五	瓦	四〇
小阪工場	花アラレ	二宮町三丁目	小坂太郎	明治四十五年三月	六	他	一〇
菊水商店	饅頭	多間通三丁目	菊水吉之助	同 元年一月	六		
永井工場	水飴	磯上通五丁目	永井庄太郎	同 四十三年一月	四	他	一四〇〇
眞島製餡所	飴	元町七丁目	眞島又次郎	同 四十四年一月	四		〇五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
合資 荒木精米所	同	下澤通三丁目	岸本利吉	同 四十三年一月	二〇	他	三二〇〇
罐詰							
生田罐詰製造所	罐詰	相生町四丁目	生田爲次郎	明治三十九年二月	三	七	
煙肉							
高橋工場	肉	元町一丁目	高橋清平	明治四十三年十月	五	一他	一〇
水産品							
次橋商店	煮干鯉	野田村	次橋鶴松	明治四十年九月	三	三	
室田工場	同	駒ヶ林村	室田龜吉	同 四十年九月	三	三	
納谷工場	同	同	納谷嘉吉	同	三	三	
蒲鉾							
石田蒲鉾店	蒲鉾	塚本通四丁目	石田榮吉	大正三年五月	二	他	〇五
貝住蒲鉾店	同	川崎町	貝住彌兵衛	文政九年	二	他	〇五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者		種類	原動力
					男	女		
才田豆腐店	豆腐	南仲町	才田捨松	明治十八年三月	—	—	他	〇・五
岡田豆腐店	豆腐	御幸通八丁目	岡田松太郎	同三十七年一月	—	—	他	〇・五
馬場豆腐店	豆腐	古湊通二丁目	馬場政市	大正三年三月	—	—	他	〇・五
濱溜豆腐店	豆腐	東出町二丁目	濱溜豊太郎	明治四十四年二月	—	—	—	〇・五
原田豆腐店	豆腐	松原通二丁目	原田松太郎	大正二年五月	—	—	—	〇・五
濱本豆腐店	豆腐	南本町四丁目	濱本和作	明治四十四年十月	—	—	—	〇・五
吉川工場	鉄	仲町三丁目	吉川兵太郎	同二十五年六月	—	—	—	三〇
横山工場	鉄	神明町	横山百太郎	同三十五年五月	—	—	—	〇・五
福井工場	鉄	船大工町	福井彦三郎	同十年十月	—	—	—	〇・五
寺前工場	鉄	入江通四丁目	寺前菊松	大正二年四月	—	—	—	〇・五
菊川商店	馬糞	東尻池村	菊川平太郎	大正元年八月	—	—	—	一〇
坂田商店	雜	仲町四丁目	坂田安太郎	大正三年三月	—	—	—	〇・五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者		種類	原動力
					男	女		
多賀蒲鉾店	蒲鉾	切戸町	多賀岩吉	明治二十五年三月	—	—	他	一〇
魚住商店	同	多間通七丁目	魚住伊藏	大正三年八月	—	—	—	〇・五
大馬蒲鉾店	同	古湊通三丁目	山内馬吉	同元年二月	—	—	—	〇・五
大佐蒲鉾工場	同	同二丁目	松井楠次郎	明治十五年五月	—	—	—	一〇
後藤蒲鉾店	同	駒ヶ林村	後藤藤吉	同二十五年十月	—	—	—	〇・五
戎商店	同	西仲町	戎政吉	天保十年	—	—	—	一〇
三笠商店	同	湊町一丁目	三笠文造	不詳	—	—	—	一〇
永來商店	刻昆布	羽坂通二丁目	永來勝治	大正二年九月	—	—	—	一〇
中尾商店	鯉節、雜節	古湊通四丁目	中尾辰藏	明治四十一年一月	—	—	—	〇・五
小橋商店	鯉粉末	小野柄通七丁目	小橋善八	同四十四年	—	—	—	〇・五

五、雜工業

印刷及製本

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原	種類 動	種類 實馬力
明進社印刷所	印刷及帳簿	古邊通一丁目	妹尾圭三	明治三十五年二月	二五	一〇	他	一	一〇
井上印刷所	構寸商標	永澤町三丁目	井上由松	四十四年一月	一〇	一	他	一	二〇
伊藤印刷所	印刷及製本	三宮町三丁目	伊藤捨吉	二十八年十月	七	二	他	一	一〇
國光堂	印刷	荒田町三丁目	池部普吉	三十七年四月	五一	一	他	一	五〇
井上印刷所	印刷	北邊瀨川町	井上嘉吉	三十五年九月	七	一	他	一	〇・五
乾印刷所	印刷	三川口町二丁目	平左衛門大正	二年三月	六	一	他	一	〇・五
西山印刷所	印刷	三宮町二丁目	西山鐵太郎	明治三十三年七月	五	一	他	一	〇・五
アサ和歐印刷所	印刷	榮町六丁目	岡部健次郎	四十四年六月	二	一	他	一	一〇
勝谷印刷所	印刷	橋通六丁目	勝谷信二	三十年	四	一	他	一	〇・五
日本構寸製造株式會社 兵庫印刷所	構寸商標	新在家町	直木政之介	四十年十月	三九	一	他	一	五〇
弘明社	印刷	多聞通二丁目	西村岩太郎	三十五年七月	九	二	他	一	一〇

日本貿易新聞社	新聞印刷	榮町六丁目	横山 徳大正	二年四月	九	七	他	一	一〇
布上印刷所	構寸商標	湊町三丁目	布上元 吉明	四十四年五月	一七	一	他	一	三〇
大倉印刷所	印刷	同 四丁目	大倉勇造	四十四年七月	六	一	他	一	一〇
トリア印刷所	印刷、製本	磯上通六丁目	脇田熊次郎	大正二年六月	三	一	他	一	〇・五
神戸新聞社	新聞印刷	榮町六丁目	横山 岩 吉明	三十一年二月	四三	一六	他	二	二六〇
神戸又新日報社	印刷	同	渡邊 尙同	十七年	五九	二	他	三	一三〇
垣岡印刷所	構寸商標	永澤町三丁目	垣岡善吉	三十五年四月	六	一	他	一	一〇
田中印刷所	印刷	羽阪通二丁目	田中護三	四十一年一月	一三	一	他	一	二〇
丹治印刷所	印刷	相生町五丁目	丹治儀一	大正三年四月	四	一	他	一	〇・五
竹中印刷所	印刷	仲町二丁目	竹中 樹 吉明	三十三年三月	六	一	他	一	一〇
竹村印刷所	印刷	東川崎町六丁目	竹村 潔同	三十八年八月	八	三	他	一	一〇
田邊印刷所	商標印刷	湊町一丁目	田邊 雄同	二十八年七月	六	一	他	一	〇・五
明輝社	印刷	三宮町一丁目	辻 岩 雄同	二十一年二月	五七	一六	他	二	二四〇
中村印刷所	印刷	塚本通二丁目	中村 徳藏同	三十五年九月	五	一	他	一	一〇
内外新聞通信所	印刷	榮町六丁目	檜本思計也	大正元年九月	九	二	他	四	三〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
上山共進社	熨斗商標	湊町四丁目	上山與作	明治四十四年一月	男 三〇	他	三〇
久保田印刷所	同	同	久保田幾助	大正元年三月	男 六	他	二〇
山浦印刷所	同	永澤町二丁目	山浦 樵	明治四十四年一月	男 五	他	一〇
松岡印刷所	同	四出町	松岡昇藏	四十三年一月	男 四	他	一〇
小松號印刷所	同	北長狭通三丁目	松村克己	同 四十年二月	男 一六	瓦	一〇
松井印刷所	同	花隈町	松井梅藏	大正元年七月	男 七	他	〇・五
神戸經濟日報社	同	仲道通二丁目	福島莊吉	明治四十一年五月	男 七	他	一〇
福山商標印刷所	熨斗商標	三川口町二丁目	福山 豐吉	同 年一月	男 一四	他	二〇
平野活版所	同	元町六丁目	船橋善之助	三十三年一月	男 五	他	〇・五
福島印刷所	同	同	福島福太郎	大正三年七月	男 二	他	〇・五
福音印刷合資會社	印刷、製本	吾妻通三丁目	菅間徳次郎	明治三十七年八月	男 一〇〇	他	八〇
神戶支店	同	同	同	同	男 四	他	〇・五
小林印刷所	熨斗商標	小野柄通一丁目	小林 二キ	同 四十五年三月	男 九	他	二〇
小國印刷所	同	橋通一丁目	小國治三郎	同 四十一年三月	男 八	他	一〇
小寺製本所	製本、印刷	北長狭通八丁目	小寺治良吉	同 二十五年二月	男 二〇	他	一〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
兒玉歐文活版所	印刷製本	元町一丁目	兒玉彦四郎	同 十八年七月	男 二六	他	一一〇
後藤製版所	同	三宮町一丁目	後藤銀治郎	同 四十五年三月	男 一八	他	一〇
淺井印刷所	同	塚本通七丁目	淺井通	大正三年七月	男 二	他	〇・五
佐藤商標印刷所	熨斗商標	三川口町三丁目	佐藤九八郎	同 二年七月	男 七	他	一〇
岸本印刷所	同	大開通二丁目	岸本 吉	同 明治四十年六月	男 一三	他	三〇
開明社印刷所	同	下澤通四丁目	木村房五郎	同 三十六年八月	男 七	他	一〇
光村印刷株式會社	印刷製本	再度筋	森本銀治郎	同 四十二年五月	男 一〇八	他	三二五
綠印刷所	同	宮内町	綠 晋太郎	大正元年十月	男 四	他	〇・五
柴田印刷所	熨斗商標	下山手通九丁目	柴田 保	同 明治四十二年十月	男 二九	他	三〇
合名會社	同	相生町四丁目	愛須藤太郎	同 三十六年一月	男 二四	他	三〇
森井印刷所	熨斗商標	須佐野通四丁目	森井 隆	同 四十四年三月	男 四	他	〇・五
兵庫實業新報社	同	大開通二丁目	森本和一郎	同 六年五月	男 九	他	一〇
成文舎	同	北長狭通八丁目	關 余吉郎	同 三十八年十月	男 五	他	〇・五
兵庫日報社	同	永澤町一丁目	菅沼 マス	同 三十年一月	男 一六	他	三〇
白井印刷所	同	松本通三丁目	白井朝市	同 四十一年十月	男 六	他	〇・五

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
大木印刷所	印刷	佐比江町	大木強次郎	明治四十三年五月	男 一三 女 三	他	一〇
阪神印刷合資会社	印刷製本	八幡通五丁目	長谷清太郎	大正三年八月	男 一三 女 一	他	〇・五
神戸開國堂	印刷製本	加納町四丁目	笹岡貞太郎	明治十九年十月	男 三〇 女 一	他	五八〇〇
大前紙函工場	紙 函	楠町一丁目	大前定太郎	明治四十四年	男 二 女 二	他	一
和野紙函製造所	紙 函	多間通四丁目	和田順治	同 四十二年	男 四 女 一	他	一
佐野紙函製造所	紙 函	元町三丁目	佐野儀一	同 三十九年五月	男 五 女 二	他	一
政木紙函製造所	紙 函	大間通二丁目	政木林太郎	同 四十年九月	男 二 女 三	他	一
神戸防水紙布製造所	防水紙布	同 九丁目	池田久米	同 四十一年三月	男 一 女 二	他	一
西羽屏風工場	屏風、紙管	二宮町四丁目	西羽與一郎	同 三十二年二月	男 七 女 九	他	一
古澤屏風工場	屏風	北長狭通二丁目	古澤善次郎	同 四十三年七月	男 六 女 一	他	一
合名中井商店	同	三宮町一丁目	中井政吉	同 三十四年二月	男 一三 女 一	他	一
西村屏風工場	同	仲町三丁目	西村市次郎	同 三十五年五月	男 六 女 一	他	一

秦 工場	屏風其他	中山手通七丁目	秦 重三郎
同	同	同	同 四十三年六月

北海林業株式会社	燐寸軸木	菅原通二丁目	社長 柴田友藏	明治四十一年五月	男 二八 女 九〇	汽	一〇〇
同	同	梅ヶ香町二丁目	同	同 三十八年五月	男 二六 女 八八	他	二〇〇
豊田製軸所	同	明和通二丁目	豊田信二	大正二年四月	男 八 女 三三	他	七五
大塚製軸工場	同	小河通六丁目	大塚芳次	明治四十三年四月	男 一三 女 二〇	他	五〇
大正合資会社	同	東尻池町五丁目	山崎榮次郎	大正二年二月	男 三〇 女 一四五	汽	二五〇
中村製軸所	同	松原通六丁目	中村芳次郎	明治四十年一月	男 八 女 三五	他	五〇
合名中村商店	同	和田山通二丁目	中村真次郎	同 四十三年七月	男 三〇 女 一一	他	二〇〇
宇野製軸所	同	松原通三丁目	宇野大太郎	同 二十四年七月	男 一三 女 二一	他	五〇
今福製軸所	同	明治通二丁目	今福淺吉	同 三十九年一月	男 一三 女 一八	他	一七〇
平井製軸所	同	東尻池町三丁目	平井信次郎	大正元年九月	男 二四 女 七三	他	一五〇
合名會社工業組	同	同	竹内圓次郎	明治三十七年八月	男 四三 女 九七	他	一三五
高野製軸所	同	正慶町	高野太三郎	同 四十四年一月	男 一一 女 四四	他	一〇〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原	動力 馬力
湯淺製軸所	燐寸軸木	東尻池町四丁目	湯淺 仁平	明治四十年五月	二〇	六	他	二〇〇
宮下合名會社製軸部		御崎村	宮下治之助	三十三年六月	二五	八	他	
鹽田製軸所		正殿町	鹽田 善六	三十七年十月	二〇	五〇	他	一四〇
平井製軸所		東尻池町三丁目	平井信次郎	三十三年二月	一四	四五	他	一五〇
鹽田製軸所		同	鹽田小三郎	大正二年四月	一三	三六	他	一〇〇
川本製軸所		同	川本喜代松	明治三十三年十月	三一	二二	他	七・五
燐寸小函及木地								
小川小函製造所	燐寸小函	小野柄通一丁目	小川由三郎	明治四十一年四月	五		他	
高岡小函製造所		湊町二丁目	高岡 虎吉	二十三年七月	一三		他	
田中小函製造所		小川通一丁目	田中清次郎	二十九年七月	五		他	
谷澤小函工場		大開通七丁目	谷澤 さめ	三十六年六月	二〇	六	他	
睦好小函製造所		御藏通一丁目	睦好 幸吉	三十二年八月	一八		他	
林小函工場		湊町一丁目	林 マス	三十六年五月	六		他	

織田小函工場	同	荒田町三丁目	織田 雅敬	三十六年五月	四		他	
生島小函工場	同	小川通六丁目	生島 菊太郎	二十四年九月	二〇		他	
原田小函工場	同	三川口町一丁目	原田 寅藏	二十二年二月	一三		他	
原井小函工場	同	大開通二丁目	原井 龜吉	年三月	三〇	五	他	
小林製所及燐寸素地		明和通三丁目	小林 久吉	四十三年三月	三〇		他	〇・五
江口小函工場	同	塚本通五丁目	江口 源三郎	三十年一月	三五		他	三〇
赤松小函工場	同	芦原通四丁目	赤松 喜太郎	大正二年七月	三八		他	一〇
木原小函工場	同	三川口町二丁目	木原 慶太郎	明治十八年六月	八		他	
清 功 舎	同	松原通四丁目	南 利七	大正三年三月	一		他	〇・五
平田小函製造所	同	仲道通八丁目	平田 キ夕	明治四十一年十月	四		他	〇・五
吉川小函製造所	同	松原通三丁目	吉川 金藏	二十八年十月	三三		他	一〇
寺尾製所及素地	同	同 四丁目	寺尾 庄太郎	三十四年四月	一六	三	他	
真鍮合資會社小函部	同	塚本通六丁目	瀧川 儀作	四十年二月	五〇	二七	他	一〇
森本小函製造所	同	南道瀬川町二丁目	森本 安松	二十四年四月	一五		他	一〇
小山小函素地製造所	小函素地	菅原通三丁目	小山 元次	大正元年七月	一五		他	二〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類	原動力
福井小南素地製造所	小南素地	和田山通一丁目	福井吉太郎	明治四十五年四月	二〇		他	〇・五
泉谷小南素地製造所	同	仲道通五丁目	泉谷政吉	四十一年二月	九		他	
山本小南素地製造所	同	芦原通三丁目	山本久太郎	四十五年四月	四五		他	
安國小南素地製造所	同	明和通三丁目	安國兵吉	四十三年五月	一六		他	
塚本小南素地製造所	同	須佐野通五丁目	塚本太吉	四十一年六月	二〇		他	
日盛合名會社	同	東尻池町四丁目	高井米太郎	四十五年四月	七		他	
小南素地製造所	同	明和通一丁目	山名虎五郎	年七月	一七		他	
山名小南素地製造所	同	芦原通四丁目	小山喜代藏	四十四年七月	二八		他	
小山小南素地製造所	同							
神戶製竹株式會社	竹材	脇濱町三丁目	吉田平兵衛	明治四十四年五月	四		他	〇・五
長田製竹所	同	住吉通一丁目	長田大介	十二年三月	五〇		他	二〇・五
岩田製竹所	同	脇濱町三丁目	岩田徳次郎	四十一年五月	四		他	
齋藤式人造	人造黒竹	同	齋藤儀四郎	三十五年五月	一		他	

神戶製樽合資會社		木製バケツ、桶		代表者		六		
工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類	原動力
西田噸箱製造所	噸箱	大開通二丁目	西田鶴松	明治二十三年四月	一一		他	二〇
西海噸箱製造所	同	松原通二丁目	西海藤市	大正二年七月	九		他	
瀧川外函工場	同	下澤通二丁目	瀧川辨三	明治二十六年四月	一六		他	
高田外函工場	同	羽阪通二丁目	高田源次郎	三十四年三月	五		他	
今津外函工場	同	荒田町二丁目	今津藤吉	三十七年十月	六		他	
西川外函工場	同	下山手通八丁目	西川虎太郎	三十二年三月	一〇		他	一〇
後藤外函工場	同	大開通一丁目	後藤巳之助	三十九年七月	一〇		他	一〇
薩摩外函工場	同	御幸通八丁目	薩摩孫平	四十年一月	二五		他	
宮部外函工場	同	大開通十丁目	宮部民三郎	四十三年一月	六		他	
奧製函挽材所	製函、製材	八幡通四丁目	奧元次郎	年二月	四		他	
神戶木工株式會社	茶箱、茶袋	磯邊通一丁目	今井善右衛門	三十六年四月	一五		他	五〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力
柏谷輸出函工場	輸出包装箱	濱邊通二丁目	柏谷藤松	大正三年六月	七	他
高島製函工場	木箱	北長狭通六丁目	高島伊之助	明治四十五年二月	五	他
阪本輸出箱工場	包装箱	磯上通三丁目	阪本太三郎	大正三年六月	三	他
定平箱製造所	同	脇濱町三丁目	定平信藏	明治三十六年六月	一三	汽
前川箱製造所	同	北長狭通四丁目	前川松太郎	三十年七月	五	一
前田箱製造所	同	同三丁目	前田音藏	三十六年七月	六	一
米谷箱製造所	同	雪井通七丁目	米谷龜太郎	四十四年一月	七	一
唄箱製造所	同	三宮町一丁目	唄彌三郎	三十七年七月	五	一
中野箱製造所	同	同	中野福三郎	四十年三月	五	一
上田箱製造所	同	同	上田徳松	三十四年五月	六	一
上田箱製造所	同	同二丁目	上田泰三	二十七年三月	五	一
清水箱製造所	同	同三丁目	清水留吉	不詳	一	一
山田折箱製造所	折箱	大開通一丁目	山田熊吉	明治二十五年	六	一

木竹莖莖製品		工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原動力
山田屏風木地製造所	屏風木地	小川工場	筍	仲町三丁目	小川利助	明治四十四年四月	二	一
福山屏風木地製造所	同	長田工場	家具	同	長田定治	三十一年九月	五	一
青柳屏風木地製造所	同	室井工場	戸棚	小野柄通六丁目	室井新太郎	三十四年三月	二	一
		真木工場	單筍テーパー	加納町二丁目	真木新藏	三十九年二月	八	瓦
		成瀬工場	同	同五丁目	成瀬菊太郎	二十年四月	七	他
		福井工場	建築具	中山手通一丁目	福井辰之助	不詳	四	一
		菊本工場	同	荒田町三丁目	菊本善作	同	九	一
		富士工場	西洋家具	戸場町	富士市松	明治二十三年五月	六	一
		清水工場	單筍	入江通二丁目	清水久太郎	二十八年	一五	一
		溝淵工場	机、椅子	下山手通四丁目	溝淵シナ	十一年三月	一〇	一
山田屏風木地製造所	屏風木地	山田政楠	同	同	同	明治三十四年三月	二	瓦
福山屏風木地製造所	同	福山福松	同	同	同	三十三年七月	六	一
青柳屏風木地製造所	同	青柳萬次郎	同	同	同	四十三年五月	三	一

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	従業員数	種類	資本額
十文字屏風木地	屏風木地	二宮町一丁目	十文字龜太郎	大正三年六月	二	他	五〇〇
前枝製材所	建築木材	雲井通五丁目	前枝正夫	元年十月	二	他	一〇〇
山下製材工場	同	御所通一丁目	土屋音吉	元年十月	三	汽	一〇〇
阪野製材工場	同	住吉通三丁目	阪野兵吉	二年三月	四	他	一〇〇
間瀬製材工場	同	新在家町一丁目	間瀬要太郎	三年九月	三	他	一五〇
西田製材工場	同	松原通一丁目	西田仙吉	年七月	一	他	五〇
横山製材工場	同	布引通四丁目	横山榮吉	明治四十一年九月	六	他	一〇〇
横山製材工場	同	吾妻通三丁目	横山榮吉	大正三年五月	六	他	二〇
高野製材工場	同	東尻池村	高野喜之助	二年七月	四	他	一〇〇
喜多製材工場	同	同	喜多嘉七	年九月	四	他	一三五
宮下合名會社	製材、製函	御崎村	宮下治之助	明治三十三年六月	二七	瓦	一〇二〇
白崎製材工場	建築用材	同	白崎米吉	四十三年	八	瓦	一五〇〇
島製材工場	同	新在家町	島米吉	大正三年七月	四	他	一六〇
喜多製材工場	下駄材	小河通二丁目	喜多元藏	元年十月	一	他	二〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	従業員数	種類	資本額
松本製材工場	同	塚本通二丁目	松本多賀治	明治三十九年七月	七	他	一・五
生駒製材工場	同	大開通四丁目	生駒千之丞	四十四年二月	七	他	一・五
船越製材工場	同	同 五丁目	船越兵太郎	四十五年六月	六	他	三〇
浦上製材工場	同	入江通三丁目	浦上茂八	四十年二月	一〇	他	一
梶井竹細工所	籠	琴緒町四丁目	梶井武平	四十一年四月	二	他	一
吉田製簾所	同	磯上通三丁目	吉田平兵衛	二十三年八月	三	他	一
製簾商會	同	須佐野通五丁目	中澤利介	三十三年一月	五	他	一
八木製簾所	同	北本町四丁目	八木君平	二十年一月	一	他	一
丸山製簾所	同	琴緒町三丁目	丸山松次郎	三十八年三月	一	他	一
北野製簾所	同	御幸通八丁目	北野圓次郎	十八年二月	二	他	一
合資信盛組	經木モール經木	三宮町一丁目	代表者 赤木佐金	大正二年二月	七	他	一
清風會	經木籠	中山手通八丁目	管理人 北藤重太郎	明治四十三年九月	三	他	一
八木鳳尾竹工場	竹洋傘柄及ステ	北本町四丁目	井上幾太郎	大正二年九月	三	他	一
山崎商店	洋傘柄	松本通二丁目	山崎瓢右衛門	年七月	六	他	一
今福製梓所	燐寸製造用梓	正慶町	今福淺吉	元年六月	二	他	一〇〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原 助	馬力
河合製棒所	燧寸製造用棒	濱崎通二丁目	河合繁造	明治三十五年五月	三〇	瓦	一三〇
堀中工場	呑口	堀中五丁目	堀中伊十郎	二十四年五月	五		
脇野製柄工場	柄	東川崎町四丁目	脇野彌三郎	十年三月	七	瓦	七〇
長尾揉物工場	揉物	北長狹通二丁目	長尾	京同 四十五年一月	三	他	〇・五
久米工場	模	東出町三丁目	久米照吉	同 二十八年六月	五		
岸田製靴所	靴	相生町二丁目	岸田長之介	明治三十八年六月	六		
平野製靴所	靴	元町二丁目	平野永太郎	同 三十一年四月	一三		
株本製靴所	靴	相生町四丁目	株本淺吉	同 二十九年	五		
圓尾刷子製造所	刷子	湊町一丁目	圓尾定吉	明治二十七年	五	他	一〇
吉田刷子製造所	刷子	桶通四丁目	吉田運太郎	同 三十六年四月	五	他	一〇

貝 卸

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男 女	種類 原 助	馬力
合資 神戶卸製造所	貝 卸	旗塚通四丁目	代表者 岡本虎之助	大正三年七月	三二	他	三〇
大野貝卸製造所	貝 卸	生田町二丁目	大野竹松	明治四十四年十月	六七	他	三〇
五百藏貝卸製造所	貝 卸	同 一丁目	五百藏平吉	大正二年七月	五		
今井貝卸製造所	貝 卸	熊内橋通四丁目	今井貫一	同 年四月	三〇	他	二〇
合資 永井商會	貝 卸	三番町一丁目	代表者 永井儀三郎	明治四十四年七月	二四	瓦	一〇〇
尾田貝卸製造所	貝 卸	日暮通四丁目	尾田北一	不詳	二五	他	〇・五
大槻貝卸製造所	貝 卸	脇濱町三丁目	大槻龜藏	同	二	他	二〇
川越貝卸製造所	貝 卸	旗塚通五丁目	川越治三郎	明治四十四年五月	二〇	他	二〇
岸田貝卸製造所	貝 卸	熊内町	岸田重次	同 四十二年	一五		
石井麻真田工場	麻 真田	磯上通六丁目	石井十七吉	大正元年八月	一	他	三〇
春名麻真田工場	麻 真田	入江通八丁目	春名寛一	明治四十五年五月	一	他	一〇
西村麻真田工場	麻 真田	磯上通五丁目	西村與吉	大正二年七月	一	他	一〇
油谷麻真田工場	麻 真田	奥平野村	油谷末次郎	同 元年八月	一	他	一〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者 男	就業者 女	種類 原	種類 實馬力
天羽麻真田工場	麻真田	中道通八丁目	天羽源太郎	大正三年七月	—	二〇	他	—
佐藤麻真田工場		東雲通二丁目	佐藤留吉	—	—	三九	—	—
櫻井麻真田工場		仲道通八丁目	櫻井虎之助	元年十月	—	三三	他	—
齋藤麻真田工場		脇濱町三丁目	齋藤利兵衛	明治四十五年一月	—	一八	他	—
岸田製紐工業所		荒田町三丁目	岸田文藏	大正三年二月	—	三三	他	—
原井麻真田製造所		大開通三丁目	原井龜吉	不詳	—	三五	—	—
藤澤麻真田製造所		加納町五丁目	藤澤逸太郎	大正元年九月	—	一五	他	—
藤江麻真田製造所		松本通五丁目	藤江竹吉	二年六月	—	八	他	—
小林商會		八雲通三丁目	小川三代次	—	—	四八	他	—
合名五盟社		濱邊通二丁目	山田甚一	明治四十五年五月	—	二六	瓦	—
近藤麻真田工場		東雲通二丁目	近藤源三郎	大正三年八月	—	二九	他	—
小西麻真田工場		仲道通四丁目	小西善三郎	—	—	二〇	他	—
近藤麻真田工場		水木通一丁目	近藤貞次郎	元年三月	—	二五	他	—
關根麻真田工場		日暮通六丁目	關根濱吉	—	—	一七	他	—

森原麻真田工場		濱邊通三丁目	森原一郎	明治四十四年十月	—	九五	瓦	—
三志工場		御幸通二丁目	南新吉	大正三年七月	—	二三	他	—
水野麻真田工場		磯邊通四丁目	水野源太郎	元年九月	—	三〇	他	—
三宅組		加納町六丁目	三宅右一	明治四十四年一月	—	八五	瓦	—
美馬麻真田工場		荒田町四丁目	美馬幸吉	大正三年六月	—	三〇	他	—
宮島麻真田工場		同	宮島正一	—	—	一八	他	—
尾崎麻真田工場		三川口町三丁目	尾崎千賀八	—	—	二九	他	—
陰山麻真田工場		磯邊通四丁目	田裏虎太郎	—	—	三〇	他	—
梶原麻真田工場		仲道通八丁目	梶原爲次郎	元年八月	—	三七	他	—
岡島麻真田工場		松本通五丁目	岡島十七八	—	—	五七	他	—
太田麻真田工場		荒田町三丁目	太田龜吉	明治四十五年五月	—	二八	他	—
親友舍		同四丁目	仲古谷仲造	大正三年一月	—	二五	他	—
仲古谷麻真田工場		同	仲古谷房吉	—	—	二〇	他	—
中前麻真田工場		仲道通六丁目	中前萬助	—	—	三五	他	—
中村麻真田工場		水木通十丁目	中村定一	—	—	二三	他	—

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
上田麻真田工場	麻真田	三川口町三丁目	上田萬次郎	明治四十三年八月	九〇	他	三〇
上原麻真田工場	同	南本町三丁目	上原松太郎	大正三年三月	三三	他	一〇
真鍋麻真田工場	同	荒田町三丁目	真鍋伊助	元年十月	三五	他	二〇
中村麻真田工場	同	琴緒町五丁目	塚原榮太郎	三年十月	三五	他	二〇
中川麻真田工場	同	三宮町一丁目	中川志磨	明治四十五年七月	四四	他	二〇
中尾麻真田工場	同	北本町四丁目	中尾忠光	不詳	二〇	他	一〇
武田麻真田工場	同	濱崎通三丁目	武田太平	大正元年十二月	二九	他	三〇
田裏麻真田工場	同	八幡通四丁目	田裏虎太郎	二年七月	九五	他	三〇
岡部工場	同	同 五丁目	高淵幾太郎	三年一月	二五	他	一〇
玉置麻真田工場	同	若菜通六丁目	玉置由次郎	二年六月	一八	他	二〇
武田麻真田工場	同	大開通三丁目	武田德藏	同 年七月	三六	他	一〇
美濃部石材引割所	石材	一番町一丁目	美濃部甚平	大正三年一月	三	他	二〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
長谷川工場	大理石加工	日暮通五丁目	長谷川鐵五郎	明治四十四年四月	六	他	一
清水工場	同	羽阪通四丁目	清水傳七	同 四十五年四月	一	他	一
田中工場	玉簾	北長狭通三丁目	田中由松	同 三十七年一月	一	他	一
喜多二製綱所	マニラロープ	吉田新田	喜多妙明	明治三十八年三月	四	他	一
伊澤製綱所	同	東尻池村	伊澤萬吉	同 四十二年一月	六	他	二
東京製綱株式會社	同	入江通五丁目	主任 山田進	同 二十九年一月	三六	他	一
河原商會	アスマストロー	東川崎町三丁目	河原幸吉	同 二十一年八月	三	瓦	一
嘉山製綱所	マニラロープ	吉田新田	嘉山助次郎	同 二十一年八月	三	瓦	一
鈴木商店	同	元町四丁目	鈴木清九郎	元祿年間	八	他	一
末廣商店	同	下山手通七丁目	末廣七郎	左衛門明治三十四年十月	五	他	一
三熊商店	同	東尻池町五丁目	三好重吉	同 四十五年六月	七	他	一
結城商店	同	北長狭通六丁目	結城久吉	同	五	他	一
蘭荏其他敷物							

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
冠商店	登	仲町通三丁目	眞期末次郎	明治十七年五月	六		
長谷中工場	クレックス	二宮町四丁目	長谷中悦三郎	大正三年二月	三三	他	〇五
林工場	同	八雲通三丁目	林與八郎	二年一月	一七		
森山工場	同	吾妻通五丁目	森山芳次郎	年五月	二〇		
末廣荏製造所	末廣荏	神若通五丁目	尾形壽吉	年九月	五		
岡田織物工場	クレックス	同 四丁目	岡田儀八	明治三十九年七月	二五	他	一七〇五
西村工場	蘭編敷物	奥平野村	西村正次	大正三年十月	一		
池田捺染工場	花荏捺染	生田町四丁目	池田吉次郎	明治四十年二月	一〇		
原捺染工場	同	磯上通三丁目	原卷次	同 三十九年二月	一		
丸三組石森工場	同	同 四丁目	石森茂兵衛	大正元年十月	八		二〇
藤原捺染工場	同	日暮通六丁目	藤原浪次郎	年七月	五		
梶兄弟商會	同	琴緒町五丁目	梶貫岳	二年五月	五		
花荏捺染工場	同	磯邊通三丁目	平林彌吉	同 元年三月	六		
白木捺染工場	同	御幸通二丁目	白木淺吉	明治四十五年四月	三		

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
大杉捺染工場	同	濱邊通二丁目	大杉橋松	同 四十四年八月	三		
岡田捺染工場	同	旭通三丁目	岡田儀八	同 三十九年六月	五		
山上捺染工場	同	若菜通六丁目	山上龜太郎	同 三十八年一月	二	汽	六〇
苗村捺染工場	同	磯邊通三丁目	苗村徳次	同 三十一年五月	二	汽	〇五
坪田捺染工場	同	磯上通一丁目	坪田松太郎	同 四十四年一月	五		
多井捺染工場	同	旗塚通六丁目	多井退助	同 年九月	一〇	汽	二〇
喜多二製帆所	帆	匠町	喜多 妙	明治二十五年四月	一		
阪井商店	船	東出町一丁目	阪井幸太郎	大正二年四月	二	他	一〇
稻葉製帆所	帆	同 三丁目	稻葉安吉	明治二十年二月	五		
加藤製帆所	同	西出町	加藤十郎	同 三十六年九月	二		
笹川洋服店	洋	下山手通五丁目	笹川美知雄	明治三十九年	五		
田川洋服店	同	中山手通四丁目	田川安治	同 三十二年七月	六		

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
島谷洋服店	洋服	元町三丁目	島谷勝治郎	明治三十九年五月	五		
林洋服店	洋服	榮町六丁目	林 夕マ	同 三十一年二月	七		
服部洋服店	洋服	北長狭通二丁目	服部辰次郎	不詳	六		
長谷川洋服店	洋服	元町六丁目	長谷川利吉	明治三十年十月	一〇		
橋本洋服店	洋服	榮町四丁目	橋本楠治	同 四十二年八月	五		
來田洋服店	洋服	北長狭通四丁目	來田寅藏	同 二十九年七月	二		
佐治洋服店	洋服	相生町三丁目	佐治順治	同 年六月	六		
松原洋服店	洋服	北長狭通三丁目	松原小太郎	同 三十九年七月	六		
和泰號洋服店	洋服	三宮町三丁目	和 泰 號	同 三十八年五月	八		
金子洋服店	洋服	元町五丁目	金子安太郎	同 四十三年四月	六		
島崎洋服店	洋服	同 二丁目	島崎虎吉	同 三十六年	六		
宮北洋服店	洋服	多間通三丁目	宮北辨三郎	大正 二年十月	五		
木村組洋服店	洋服	同 五丁目	木村敏治	明治三十五年二月	六		
鈴木洋服店	洋服	元町五丁目	鈴木貞吉	同 三十年一月	三		

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
全益號洋服店	洋服	榮町二丁目	全益號周春生	同 十九年四月	八		
關根洋服店	洋服	北長狭通六丁目	關根龜次	同 三十年	五		
生記號洋服店	洋服	榮町二丁目	生記號張祖鈞	同 二十年	一三		
森本洋服店	洋服	多間通四丁目	森本米吉	同 二十九年十月	一〇		
森本洋服店	洋服	同	森本福太郎	同	九		
柴田洋服店	洋服	元町四丁目	柴田勇輝	同 二十三年三月	九		
柴田洋服店	洋服	同 三丁目	柴田音吉	同 十六年	二七		
赤羽洋服店	洋服	下山手通二丁目	赤羽是一	同 三十三年	六		
湯川工場	絹生	北長狭通一丁目	湯川清太郎	同 四十四年	五		
島本工場	巾	荒田町三丁目	島本清七	同 三十八年	六		
合資石川商店	巾	魚棚町	石川喜八郎	同 四十一年一月	一三		
浦木工場	手巾	濱町一丁目	浦木弘	同 二十九年九月	一		
鈴木製袋所	袋	東尻池村	鈴木貞吉	同 四十年七月	三		
阪東式調帶合資會社	木綿調帶	明和通三丁目	榎並充造	同 三十九年四月	六九		
木多調帶製造所	調帶	西出町	木多半之介	同 四十四年七月	一六		

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
日光社	石綿製品	松本通六丁目	小林ごみ	明治四十年七月	三	他	一〇
大野社	同	夢野村	大野理市	大正二年一月	二	他	一〇
堤ナヤン引製造所	防水布	五番町七丁目	堤兵藏	明治三十七年二月	四	他	一〇
何谷商店	裏	御幸通八丁目	何谷岩吉	同 三十五年十月	五	他	一〇
永井商店	同	西宮内町	永井涼造	同 四十二年	五	他	一〇
網安商店	打	河邊通四丁目	網安助大	正 三年三月	二	他	一〇
伊勢工場	同	菅原通三丁目	伊勢節吉	同 年七月	二	他	一〇
赤松商店	摺硝子	中道通五丁目	赤松喜代松	同 二年七月	一	他	一〇
三共煉炭工場	煉炭	東尻池村	代表者 肥塚新之助	明治四十五年五月	一	他	一〇
荒木炭團製造所	炭團	旭通二丁目	荒木倉藏	同 四十年四月	一	他	一〇
有坪炭團製造所	同	下澤通二丁目	有坪定吉	同 四十五年十月	一	他	一〇
阪口炭團製造所	同	中山手通七丁目	阪口爲次郎	大正元年十月	一	他	一〇
石戸炭團製造所	同	石井村	石戸ヒサ	同 年九月	二	他	一〇
伊勢商店	經濟炭	菅原通二丁目	伊勢節吉	明治四十五年七月	二	他	一〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
薄岩炭團製造所	炭團	平野下祇園町	薄岩楠松	同 二十九年十月	三	他	一〇
高石炭團製造所	同	同	高石虎治郎	同 三十七年	一	他	一〇
横山資炭製造所	乾餾炭	香妻通三丁目	横山榮吉	大正三年六月	五	他	一〇
大塚工場	炭團	上澤通三丁目	大塚喜助	明治四十二年十月	三	他	一〇
川島炭團製造所	同	仲道通九丁目	川島定松	大正二年七月	一	他	一〇
鹽津商店	經濟炭	一番町一丁目	鹽津庄右衛門	同 年六月	一	他	一〇
共同製炭商會	煉炭	中山手通七丁目	由井伊之介	同	三	他	一〇
岡石粉製造所	石粉	東尻池町八丁目	岡 豊次郎	同 元年七月	七	他	一〇
鹽谷石粉製造所	同	平野天王谷	鹽谷宗太郎	明治四十三年一月	四	水	一〇
西岡商店	硝子粉	五番町八丁目	西岡新藏	大正三年七月	一	他	一〇
野田粉末所	硝子粉、滿庵、安賀母尼粉末	東尻池町六丁目	野田庄平	同 年四月	一	他	一〇
福田粉末所	硝子粉	同	福田松之助	同 年五月	一	他	一〇
松本商店	絲屑	濱邊通三丁目	松本好太郎	明治四十四年十月	一	瓦	一〇
豐原絲屑加工所	同	同	豐原芳藏	大正二年三月	一	瓦	一〇
芥川商店	防磨糊	平野上祇園町	芥川伊左衛門	同 元年十月	二	他	一〇

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
池本商店	糊	今出通一丁目	池本源造	大正二年二月	男 二 女 二	他	〇・五
三宅工場	花菱信玄袋	二宮町二丁目	三宅吟一	明治四十三年九月	男 三 女 三	他	〇・五
井上工場	ユールター容器	吾妻通二丁目	井上信治	同 三十九年三月	男 三 女 三	他	〇・五
合資 本田製帽所	帽子形入	加納町四丁目	本田久次郎	大正二年四月	男 二 女 二	他	〇・五

六、特別工業

電 氣

工場名	主要製品	所在地	工場主名	創業年月	就業者	種類	原動力
神戶電氣株式會社	電 氣	東尻池村	社長 内村直俊	明治四十三年四月	男 三 女 三	他	二・〇〇
運河電氣株式會社	電 氣	東尻池村	同	同	男 三 女 三	他	二・〇〇
神戶電氣株式會社	同	鷹濱町二丁目	同	同 四十二年一月	男 二 女 二	他	二・〇〇
神合電氣株式會社	同	鷹濱町二丁目	同	同 四十二年一月	男 二 女 二	他	二・〇〇
神川電氣株式會社	同	西尻池村	同	同 四十五年九月	男 二 女 二	他	二・〇〇
西神戶瓦斯株式會社	瓦斯、コークス	西尻池村	社長 松方幸次郎	大正二年四月	男 三 女 三	他	二・〇〇
神戶瓦斯株式會社	同	同	同	同	男 三 女 三	他	二・〇〇
神合瓦斯株式會社	同	同	同	同	男 三 女 三	他	二・〇〇

七、官公立工業

工場名	主要製品	所在地	就業者	種類	原動力
神戶市役所	コンクリート	北野町一丁目	男 九 女 一	他	五・〇
神野工務所	樟 腦	雲井通四丁目	男 五 女 一	他	二・〇
臺灣總督府專賣局	鐵道用品	野田村	男 一三 女 四	他	一・〇
鐵道院鷹取工場	鐵道用品	野田村	男 一三 女 四	他	一・〇
鐵道院神戶工場	同	東川崎町	男 九 女 二	他	一・〇
鐵道院兵庫印刷所	印 刷	濱崎通	男 四 女 三	他	一・〇
兵庫縣廳印刷部	同	中山手通四丁目	男 一 女 一	他	一・〇
神戶市役所印刷所	同	橋 通	男 一 女 一	他	一・〇
神戶市役所湊川工場	水道用具	大井通	男 一 女 一	他	一・〇
兵庫縣立工業學校	定規其他	大開通八丁目	男 一 女 一	他	一・〇
神戶監獄	雜 品	石井村	男 一三 女 六	他	一・〇

八、工業會社

會社名稱	主要製品	所在地	創立年月	總額	本額	積立金	社債	社長又ハ代表者
鐘淵紡績株式會社	綿絲綿布	東尻池村	明治二十七年五月	一七四七六〇〇	一四六六六三〇	八六三〇七五〇	三〇〇〇〇〇	武藤山治
兵庫支店	製綿	元町四丁目	同 四十三年十月	一五〇〇〇	一五〇〇〇	五〇〇	—	古結熊三
會社日野屋薄團店	製綿	小河通九丁目	大正三年三月	一、二五〇	一、二五〇	—	—	齋藤善太
會社有本打綿商會	製綿	東川崎町二丁目	明治二十九年十月	一〇〇〇〇〇〇〇	八八〇〇〇〇〇	三、三〇〇〇〇〇〇	三、三〇〇〇〇〇〇	松方幸次郎
株式川崎造船所	船	和田崎町三丁目	同 三十八年七月	一五〇〇〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇〇〇	—	—	杉谷安一
三菱合資會社	造船	東出町三丁目	同 四十二年六月	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	—	—	宮永芳藏
會社宮永鐵工所	同	同 二丁目	同 四十四年五月	一五〇〇〇	—	—	—	森田寅之助
會社森田鐵工所	船舶諸機械	東川崎町三丁目	同 同 年八月	一〇〇〇	一〇〇〇	—	—	石原門治郎
會社石原造船所	同	元町五丁目	大正三年五月	一、一〇〇〇	九六〇〇〇	—	—	村上關藏
株式農具合名會社	穀摺機	筒井町	明治四十一年四月	三〇〇〇〇〇〇〇	?	—	—	エツチドワレ ンクハン
株式農具株式會社	配電盤	東出町三丁目	大正二年一月	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	—	—	大林幸吉
神戶電氣株式會社	發動機	須佐野通五丁目	同 年七月	一、一〇〇〇〇	一、一〇〇〇〇	一〇〇	—	吉村五郎
合名會社	機械	梅ヶ香町二丁目	明治四十五年三月	一〇〇〇〇	一〇〇〇	—	—	木全由三郎

會社名稱	主要製品	所在地	創立年月	總額	本額	積立金	社債	社長又ハ代表者
會社肌勢鐵工所	同	加納町四丁目	大正三年三月	一五〇〇〇	—	—	—	肌勢萬吉
株式會社	農具	菅原通三丁目	明治四十年八月	一、五〇〇〇〇	九三〇〇〇	—	—	藤井忠兵衛
株式會社	風呂釜	雲井通一丁目	大正二年七月	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	堀井熊次郎
株式會社	同	八幡通五丁目	元年九月	一、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	田淵儀兵衛
神戶鍍金合資會社	鍍金	北本町六丁目	明治四十五年四月	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	—	—	梅宮芳太郎
合名會社	リム	眞砂通二丁目	大正二年九月	一〇〇〇〇	五〇〇〇	—	—	梅宮政一
合名會社	サドル	野田村	明治二十六年	三〇〇〇〇〇〇〇	?	—	—	テイ、テイ、 ウエスコット
株式會社	石油罐	東出町二丁目	同 四十三年六月	一、一〇〇〇	一、一〇〇〇	—	—	岡本友太郎
株式會社	同	八雲通一丁目	同 四十四年七月	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	—	—	石川明治
會社窪田商店	磁器鐵器	八雲通一丁目	同 四十四年七月	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	—	—	大島重右衛門
會社	紙	堀通一丁目	同 四十三年三月	三、〇〇〇	三、〇〇〇	—	—	大庭茂登
會社	紙	古海通四丁目	同 年七月	七、〇〇〇	七、〇〇〇	—	—	淺井嘉藏
會社	紙	水木通四丁目	同 二十八年七月	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	—	—	直木政之介
株式會社	同	荒田町二丁目	同 四十年一月	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	—	—	陳源來
株式會社	同	堀通二丁目	同 三十八年十月	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	—	—	瀧川儀作
株式會社	同	水木通一丁目	同 三十年七月	四〇〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇〇	—	—	—

會社名稱	主要製品	所在地	創立年月	資本金	拂込額	積立金	社債	社長又ハ代表者
公益分會社	燐寸	雲井通二丁目	明治四十五年	100,000	100,000	—	—	井上仁風
合名鈴木商店	魚油、樟腦、薄荷	榮町三丁目	同 三十五年十月	500,000	500,000	100,000	—	鈴木よれ
神戶魚油株式會社	魚油及肥料	東尻池村	同 四十四年五月	1,000,000	635,000	195,700	—	前田邦太郎
合資吉金商店	魚油	同	大正三年七月	50,000	?	—	—	吉田金之助
神戶式會社	ホイル油	池田村	明治四十三年三月	100,000	20,000	3,800	—	大西米太郎
喜多組河内合名會社	蠟	磯邊通三丁目	同 二十七年六月	11,500	11,500	—	—	河内陽一
合資日本蠟燭製造所	洋蠟燭	池田村	同 四十四年八月	10,000	15,000	—	—	隨橋末吉
神戶ルッホ合資會社	燭	再度筋	大正三年六月	10,000	10,000	—	—	安田十五
株式會社日本商業	精製樟腦	雲井通五丁目	明治四十二年一月	1,000,000	1,500,000	425,000	—	安田善三郎
合資神戶樟腦精製所	同	八雲通六丁目	同 三十五年四月	40,000	40,000	1,000	—	落合牛太郎
合資神戶樟腦精製所	同	小野柄通三丁目	同 四十四年三月	70,000	70,000	—	—	窪田平吉
合資神戶樟腦精製所	同	神若通五丁目	同 四十四年四月	50,000	50,000	—	—	竹田文吉
合資朝日樟腦精製所	同	日暮通一丁目	同 四十四年七月	10,000	10,000	3,000	—	川瀬宗隆
合資河路護謨製造所	護謨製品	東尻池町三丁目	大正二年五月	50,000	18,500	1,065	—	黒田龜吉

會社名稱	主要製品	所在地	創立年月	資本金	拂込額	積立金	社債	社長又ハ代表者
合資阪神護謨商會	同	東尻池村	明治四十五年五月	10,000	?	—	—	高木定右衛門
合資淺川護謨製造所	同	長田村	大正三年九月	10,000	10,000	—	—	増田丑之助
内外護謨合資會社	同	菅原通五丁目	同 二年七月	110,000	30,000	—	—	榎並充造
プロミヤゲリヤ自轉車製造株式會社	自轉車	筒井町	明治四十四年八月	25,200	25,200	—	—	グーエル ビニューマン
極東株式會社	同	同	同 四十二年十月	7,000	4,800	—	—	ウヰルソン
合資山田石鹼製造所	石鹼	今和田新田	同 三十八年三月	10,000	9,500	六七	—	山田常七
東洋塗料合資會社	漆塗料	菅原通二丁目	大正三年四月	110,000	36,000	—	—	堀吉次郎
合資兼松商店	肥料	海岸通三丁目	同 二年五月	300,000	200,000	11,000	—	兼松馨
關東酸曹株式會社	同	新在家町	同 元年十二月	1,500,000	1,135,000	302,000	—	田中榮八郎
合名山市車田商店	同	新町	同 二年十月	10,000	10,000	—	—	車田賢吉
合資カワシ作會社	味噌	四宮内町	同 三年七月	10,000	10,000	—	—	今井昌介
合資今井商店	同	東尻池村	明治三十三年十月	2,500,000	1,635,000	347,300	—	中村第三
合資ヘリヤ商會	茶	京町	同 十四年	15,000	15,000	—	—	フランク、ユ アイナルド
合資小川商店	同	南逆瀬川町一丁目	大正三年二月	1,500	1,000	—	—	小川恒太郎
日本米穀株式會社	米	鍛冶屋町	明治二十年三月	500,000	300,000	—	—	澤田清兵衛

會社名稱	主要製品	所在地	創立年月	總額	本額	拂込額	積立金	社債	社長又ハ 代表者
鯉田製林合資會社	精米	塚本通七丁目	明治四十四年五月	11000	11000	11000	100		鯉田千代松
朝日米穀合資會社	同	水木通四丁目	大正三年十月	11500	11500	11500			中川寅市
合資木谷商店	同	下山手通八丁目	同 二年十月	50000	50000	50000	300		木谷周藏
福本合資會社	精麥	濱崎通四丁目	同 三年十月	5000	?	?			福本熊次郎
株式增田製粉所	麥粉	東尻池村	明治四十一年五月	500000	500000	500000	150000		中村房次郎
日本製粉株式會社	同	今出通三丁目	同 四十年四月	1550000	1165000	1165000	485000		中野真三郎
兵庫支店	同	今出在家町三丁目	同 二十年九月	150000	150000	150000	50000		田村新吉
株式會社	麥粉、精米	加納町三丁目	大正二年一月	15000	?	?			山下善太郎
東洋サイヤ合資會社	礦泉	西町	明治四十三年四月	250000	150000	150000	3700		石井清
株式會社	同	中山手通一丁目	同 四十四年五月	3000	3000	3000			野村丑松
神戶北野礦泉合資會社	同	雲井通八丁目	同 四十三年一月	3500	3500	3500			和田伊輔
神戶布引サイヤ合資會社	同	荒田町四丁目	大正三年八月	100000	80000	80000	100		坪田十郎
淺井製水株式會社	水	下澤通二丁目	明治四十三年七月	5000	5000	5000	30		岸木利吉
合資荒木精米所	給	吾妻通三丁目	同 三十七年八月	70000	70000	70000	11000		菅谷徳次郎
神戶印刷合資會社	印刷								

會社名稱	主要製品	所在地	創立年月	總額	本額	拂込額	積立金	社債	社長又ハ 代表者
光村印刷株式會社	同	再度筋	明治四十二年四月	50000	50000	50000	1800		森本銀治郎
合名秀文社	同	相生町四丁目	同 三十八年九月	11000	11000	11000			愛須藤太郎
阪神印刷合資會社	同	八幡通五丁目	大正三年八月	3000	?	?			長谷清太郎
合名中井商店	屏風	三宮町一丁目	明治三十四年二月	10000	10000	10000			中井政吉
北海林業株式會社	軸木	東尻池町四丁目	同 四十一年五月	110000	50000	50000	1000		柴田友藏
大正合資會社	同	同 五丁目	大正元年五月	10000	?	?			山崎榮次郎
合名中村商店	同	和田山通二丁目	明治四十三年七月	10000	10000	10000	400		中村真次郎
合名工業組	同	湊町三丁目	同 年九月	5000	5000	5000			竹内圓次郎
宮下合名會社	軸木、製函	關屋町	同 三十八年五月	100000	100000	100000	50000		宮下治之介
日盛合名會社	燧寸小函	東尻池町四丁目	同 四十五年四月	3400	3400	3400			高井米太郎
神戶製竹株式會社	竹材	臨濱町三丁目	同 四十四年五月	100000	50000	50000	200		村上森造
神戶製櫛合資會社	木製バックス桶櫛	小河通五丁目	大正三年五月	9500	?	?			安田圭治
神戶木工株式會社	箱	磯邊通一丁目	明治三十六年四月	100000	30000	30000	550		今井善右衛門
合資盛組	經木モール	三宮町一丁目	大正二年二月	600	600	600			板谷重太
合資神戶鉦製造所	鉦	旗塚通四丁目	同 三年七月	6000	6000	6000			岡本虎之助

會社名稱	主要製品	所在地	創立年月	資本額	準備金	積立金	社債	社長又ハ代表者
會社永井商店	貝 釦	三番町一丁目	大正二年一月	8,000	8,000	—	—	永井儀三郎
會社五盟社	麻 真 田	濱邊通二丁目	三年六月	2,000	?	—	—	山田甚一
會社三宅組	同	加納町六丁目	明治四十五年一月	15,000	15,000	—	—	三宅右一
東京製綱株式會社	口 卜	入江通五丁目	同	30,000,000	1,745,000	860,000	—	山 田 進
會社丸善洋服店	洋 服	戶場町	同	3,000	3,000	—	—	鎌尾善太郎
會社石川商店	麥 粉 袋	魚棚町	大正二年一月	3,500	3,500	500	—	石川喜八郎
阪東式調帶合資會社	木綿調帶	明和通三丁目	明治三十九年四月	50,000	50,000	15,000	—	榎並充造
會社本田製帽所	帽子形入	加納町四丁目	大正二年四月	1,000	500	—	—	本田久次郎
會社三共煉炭工場	煉 炭	東尻池村	明治四十五年五月	5,000	5,000	50	—	松田新太郎
會社木村組洋服店	洋 服	元町六丁目	同	2,000	1,000	475	—	木村敏次
神戶電氣株式會社	電 氣	湊町一丁目	大正二年五月	148,500	115,700	4,500	—	内村直俊
神戶瓦斯株式會社	瓦斯其他	相生町五丁目	明治三十一年七月	475,000	232,500	16,400	—	松方幸次郎

神 戶 市 役 所

大正四年十二月十日印刷
大正四年十二月十五日發行

神戶市再度筋三十四番屋敷

印刷人 **松村宗太郎**

神戶市再度筋三十四番屋敷

印刷所 **光村印刷株式會社**

頁數 行數
 一行 總噸量はノ下五百八十二萬八千九百九十九噸
 二行 到著ノ下三百三十萬五千六百十五噸
 同 發送ノ下二百五十二萬二千四百八十四噸
 三行 到著に於てノ下六十三萬五千四百二噸
 同 發送に於てはノ下四十四萬九千三百噸
 同 合計ノ下百八萬四千七百二噸
 八行 陸運に於てノ下一萬五千六百六十三噸
 九行 陸運ノ下七萬一千二百七十三噸

〇訂 正
 誤 正

十頁 神戸港集散貨物噸量表ハ左記ノ通り訂正ス
 神戸港集散貨物噸量表 (單位噸)

計 合	送 發	著 到	大 正 三 年		大 正 一 年	
			噸 數	千 分 比 例	噸 數	千 分 比 例
水 運 外國貿易 沿岸貿易 陸 運 (鐵道)	水 運 外國貿易 沿岸貿易 陸 運 (鐵道)	水 運 外國貿易 沿岸貿易 陸 運 (鐵道)	一七五,四三六	五三	二二六,二八〇	五九
			二九四,五五四	三三	一一九,一四二	三二
陸 運 (鐵道)	陸 運 (鐵道)	陸 運 (鐵道)	四八,四六六	一四	五〇,五六三	一四
			三三,八六八	一〇	四〇,九八四	一〇
計	計	計	二一〇,九六八	四〇	一七〇,二八六	三九
			九三,五三三	三三	一一九,二五二	三二
水 運 外國貿易 沿岸貿易	水 運 外國貿易 沿岸貿易	水 運 外國貿易 沿岸貿易	二八五,〇四六	四六	三三三,三二六	四六
			二二八,〇八六	三三	二五三,三六三	三三
陸 運 (鐵道)	陸 運 (鐵道)	陸 運 (鐵道)	一一五,二〇九	一八	一一五,二五九	一八
			六二,九七三	一〇	七三,五〇七	一〇
計	計	計	四〇〇,二五五	六四	四四八,一三六	六四

142a
109

終